

一般会計

主要な施策の成果

予算科目	01議会費	01議会費	01議会費	03議会広報事業		
細事業名	01 議会広報事業			決算書	P.66	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
2,054千円	2,151千円	97千円	95.4%	2,870千円		
目的	定例会ごとにその会期中の審議内容及び議決事項を中心とした広報誌を編集し、発行することで、市議会の活動状況を市民に周知し、開かれた議会づくりを推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○広報委員会 21回 費用弁償 ※広報委員8人 38千円</p> <p>○議会広報誌 4回発行 (21,800部) 印刷製本費 1,993千円 議会だより第36号 (5月発行 24ページ) 第37号 (8月発行 20ページ) 第38号 (11月発行 20ページ) 第39号 (2月発行 20ページ)</p> <p>○議会広報研修会 (8人参加、於：京都市) 23千円 費用弁償、有料道路通行料</p>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○市民に開かれた議会づくりのための広報づくりを目標に編集し、議会の活動状況を市民に分かりやすく伝えた。</p> <p>○今後も市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付け、一層の内容の充実を図っていく。</p>					
事業所管課	議会事務局/議会総務課					

予算科目	01議会費	01議会費	01議会費	04議員活動・議会渉外活動事業																																
細事業名	01 議員活動・議会渉外活動事業			決算書	P.66																															
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																
4,183千円	4,466千円	283千円	93.6%	4,388千円																																
目的	委員会、視察、研修、議会報告会等を行い、市民に開かれた議会を目指すとともに、議員の政策形成能力並びに議会の審議機能の充実向上を図る。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○会議の状況 ※参集のための費用弁償 711千円 本会議 (定例会23日 臨時会4 議会運営委員会 (28回) 常任委員会 (3委員会81回) 特別委員会 (5委員会38回、分科会延28回) 全員協議会 (7回)</p> <p>○審議の状況 市長提出議案188件、議員提出議案9件</p> <p>○行政視察 2,426千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員会名</th> <th>期間等</th> <th>視察先</th> <th>視察事項</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務 常任委員会</td> <td>11/12 ~14</td> <td>新潟県三条市 新潟県阿賀野市 新潟県糸魚川市</td> <td>業務の繁閑に対応するための併任辞令発令の取り組み 事務事業評価による職員自らの改革 職員による「内部監査制度」の取り組み</td> <td>431千円</td> </tr> <tr> <td>文教厚生 常任委員会</td> <td>11/6 ~7</td> <td>秋田県藤里町 秋田県社協 秋田県秋田市</td> <td>生活困窮者支援の取り組み 小中一貫教育・学力向上の取り組み</td> <td>551千円</td> </tr> <tr> <td>産業建設 常任委員会</td> <td>11/12 ~14</td> <td>鳥取県鳥取市 島根県海士町 島根県出雲市</td> <td>山陰海岸ジオパークの取り組み 島まるごとブランド化の取り組み CAS利用による高付加価値商品の販売効果 バイオマス資源活用の状況</td> <td>484千円</td> </tr> <tr> <td>基地対策調査 特別委員会</td> <td>4/11 ~12</td> <td>青森県つがる市</td> <td>TPY-2レーダーにかかる米軍車力通信所現地視察 つがる市の対応等の調査及び地域住民との懇談</td> <td>916千円</td> </tr> <tr> <td>政務活動費等 調査特別委員会</td> <td>11/1</td> <td>綾部市 舞鶴市</td> <td>政務活動費の現状</td> <td>44千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市民と議会の懇談会 (24会場、市民311人参加) 112千円 ○参考人実費弁償 (18人) 25千円 ○議長交際費 62千円 ○議員研修会 (1回開催) 154千円 ○正副議長会議、議員派遣費 (費用弁償、有料道路通行料ほか) 693千円 ○視察受入 (50団体、372人) ○各種団体との意見交換会 (3団体)</p>						委員会名	期間等	視察先	視察事項	決算額	総務 常任委員会	11/12 ~14	新潟県三条市 新潟県阿賀野市 新潟県糸魚川市	業務の繁閑に対応するための併任辞令発令の取り組み 事務事業評価による職員自らの改革 職員による「内部監査制度」の取り組み	431千円	文教厚生 常任委員会	11/6 ~7	秋田県藤里町 秋田県社協 秋田県秋田市	生活困窮者支援の取り組み 小中一貫教育・学力向上の取り組み	551千円	産業建設 常任委員会	11/12 ~14	鳥取県鳥取市 島根県海士町 島根県出雲市	山陰海岸ジオパークの取り組み 島まるごとブランド化の取り組み CAS利用による高付加価値商品の販売効果 バイオマス資源活用の状況	484千円	基地対策調査 特別委員会	4/11 ~12	青森県つがる市	TPY-2レーダーにかかる米軍車力通信所現地視察 つがる市の対応等の調査及び地域住民との懇談	916千円	政務活動費等 調査特別委員会	11/1	綾部市 舞鶴市	政務活動費の現状	44千円
委員会名	期間等	視察先	視察事項	決算額																																
総務 常任委員会	11/12 ~14	新潟県三条市 新潟県阿賀野市 新潟県糸魚川市	業務の繁閑に対応するための併任辞令発令の取り組み 事務事業評価による職員自らの改革 職員による「内部監査制度」の取り組み	431千円																																
文教厚生 常任委員会	11/6 ~7	秋田県藤里町 秋田県社協 秋田県秋田市	生活困窮者支援の取り組み 小中一貫教育・学力向上の取り組み	551千円																																
産業建設 常任委員会	11/12 ~14	鳥取県鳥取市 島根県海士町 島根県出雲市	山陰海岸ジオパークの取り組み 島まるごとブランド化の取り組み CAS利用による高付加価値商品の販売効果 バイオマス資源活用の状況	484千円																																
基地対策調査 特別委員会	4/11 ~12	青森県つがる市	TPY-2レーダーにかかる米軍車力通信所現地視察 つがる市の対応等の調査及び地域住民との懇談	916千円																																
政務活動費等 調査特別委員会	11/1	綾部市 舞鶴市	政務活動費の現状	44千円																																
主な財源																																				
評価・課題等	<p>○委員会における参考人招致や各種団体との意見交換会、市民と議会の懇談会などにより、市民への説明責任を積極的に果たすとともに、市民の意見を政策に反映することができた。また、議会活性化特別委員会で、さらなる議会の活性化に向けさまざまな検討を行った。</p> <p>○議会基本条例の理念に基づき、政策提言等の活動を充実させる必要がある。</p>																																			
事業所管課	議会事務局/議会総務課																																			

予算科目	01議会費	01議会費	01議会費	50議会一般経費	
細事業名	01 議会一般経費			決算書	P.68
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
13,074千円	13,311千円	237千円	98.2%	20,276千円	
目的	議会中継、会議録の調製、議会ホームページの内容の充実により、議会の透明性を図る。また、事務局職員としての調査・政策立案・法制能力の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○映像配信システム(委託料1,524千円、専用回線使用料52千円) 1,576千円 ○会議録検索システム委託料 4,694千円 ○会議録作成委託料 4,169千円 <ul style="list-style-type: none"> 定例会・臨時会 2,224千円、委員会等 1,945千円 ○印刷製本等 654千円 <ul style="list-style-type: none"> 一般質問のおしらせ 520千円(印刷代263千円、新聞折込手数料257千円) 議会誌 120冊 103千円、議長名刺 8千円、封筒 23千円 ○市議会議長会等にかかる負担金 745千円 ○事務局職員随行等旅費 545千円 ○事務局職員研修旅費 163千円 ○その他 528千円 <ul style="list-style-type: none"> 新聞購読料(京都・朝日・毎日・読売・産経・自治日報) 203千円 図書 250千円、来客用お茶代 15千円、その他消耗品等 60千円 				
主な財源					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○議会中継映像配信システムの編集、録画配信等を外部委託することに加え、昨年度会議録検索システムを導入したことにより、安定的かつ継続的に市民への情報提供ができた。 ○市民に開かれた議会を目指し、本会議・委員会等の会議録の調製、議会ホームページの充実、「一般質問のお知らせ」の新聞折込みなど、積極的な情報発信ができた。 ○各種研修会に参加し、議会事務局機能の充実強化を図ることができた。 				
事業所管課	議会事務局/議会総務課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	03秘書・渉外事務	
細事業名	01 秘書事務			決算書	P.70
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4,234千円	4,441千円	207千円	95.3%	4,364千円	
目的	市長及び副市長の秘書業務を適正かつ円滑に行い、市政の円滑な運営を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市長及び副市長の秘書業務を遂行するため、出張旅費、市長会負担金等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費(市長及び副市長、職員出張旅費) 1,847千円 ○需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料) 765千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費(事務用品、雑誌等) 111千円 燃料費(公用車2台分) 535千円 食糧費(来客用お茶等) 9千円 修繕料(公用車2台分) 110千円 ○役務費(手数料、保険料) 145千円 <ul style="list-style-type: none"> 着付け等手数料(13回分) 65千円 ETCカード発行手数料(2枚分) 1千円 自動車損害保険料 79千円 ○使用料及び賃借料(自動車借上料、有料道路通行料) 282千円 <ul style="list-style-type: none"> 自動車借上料(3回分) 10千円 有料道路通行料(ETC通行料) 272千円 ○負担金、補助金及び交付金(各市長会、研修会負担金) 1,195千円 <ul style="list-style-type: none"> 各種研修参加負担金 30千円 全国市長会負担金 357千円 近畿市長会負担金 150千円 京都府市長会負担金 628千円 全国青年市長会負担金 30千円 				
主な財源					
評価・課題等	市長及び副市長の秘書業務を適正かつ円滑に行うことで、市政の円滑な運営に資することができた。				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	03秘書・渉外事務
細事業名	02 渉外事務			決算書 P.70
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,375千円	1,571千円	196千円	87.5%	1,606千円
目的	市長及び副市長の渉外業務を適正かつ円滑に行い、市政の円滑な運営を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市長及び副市長の渉外業務を遂行するため、慶弔、賀詞交歓会等にかかる経費を支出した。			
	○ 交際費（市長交際費、弔慰金）		1,315 千円	
	市長交際費（各種祝金等84件）	575 千円		
	弔慰金（22件）	740 千円		
○ 需用費（事務用品費、食糧費）		48 千円		
消耗品費（金封、賀詞交歓会物品等）	37 千円			
食糧費（賀詞交歓会飲み物代）	11 千円			
○ 役務費		12 千円		
通信運搬費	12 千円			
主な財源				
評価・課題等	市長及び副市長の渉外業務を適正かつ円滑に行うことで、市政の円滑な運営に資することができた。			
事業所管課	秘書広報広聴課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	04人事給与事務						
細事業名	01 人事給与事務			決算書 P.72						
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
2,869千円	2,917千円	48千円	98.3%	2,268千円						
目的	職員の人事管理及び給与事務を適正に行う。									
主要な事務・事業及び成果の概要	適正な人事管理及び人事・給与事務を行うため、必要な事務経費を支出した。また、職員採用試験を実施して、合計21人を採用した。									
	○職員採用試験									
		職 種								
		一般事務	土木技術		保健師		保育士・幼稚園教諭	消 防	臨床心理士	計
			1回目	2回目	1回目	2回目				
	応募者数	107人	4人	4人	1人	3人	34人	17人	1人	171人
	第一次受験者数	96人	3人	4人	1人	3人	34人	13人	0人	154人
	第二次受験者数	29人	2人	1人	1人	3人	15人	7人	0人	54人
	採用者数	12人	0人	1人	0人	1人	5人	2人	0人	21人
	※土木技術及び保健師の2回目は、同一日に筆記試験、作文試験、面接試験を実施。									
○職員採用経費				391千円						
・職員採用案内チラシ（用紙代、新聞折込手数料）				217千円						
・職員採用試験採点委託料				174千円						
○一般事務経費				2,460千円						
・職員旅費				63千円						
・参考図書、事務用消耗品、タイムカード				248千円						
・給与明細書（20,000枚、臨時職員用12,000枚）				397千円						
・給与人事システムサポート負担金				871千円						
・公舎借上料				881千円						
○審議会・委員会経費				18千円						
・公務災害補償認定委員会（認定審査1件）				18千円						
主な財源	諸収入 公舎使用料負担金			385千円						
評価・課題等	○職員への給与支払や人員管理等について、適正な事業執行をすることができた。 ○今後も、定員適正化計画に基づいた職員採用を進めるとともに、人事給与制度に対応したシステムの活用により、効率的に適正な事務を執行していく。									
事業所管課	企画総務部／人事課									

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	05職員研修事務
細事業名	01 職員研修会事務			決算書 P.72
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,630千円	1,730千円	100千円	94.2%	1,930千円

目的 「職員人材育成基本方針」及び「職員研修計画」に基づき、職務の遂行に必要な知識・技能等を習得させる研修を実施し、質の高い行政サービスを提供する。

主要な事務・事業及び成果の概要	○研修経費	1,601千円																																																																										
	・集合研修 822千円	・派遣研修 779千円																																																																										
	市役所等で職員を集めて行う研修	研修機関等へ職員を派遣して行う研修																																																																										
	<table border="1"> <tr><th>研修内容</th><th>延べ人数</th></tr> <tr><td>新規採用職員研修</td><td>127人</td></tr> <tr><td>勤務評定者研修</td><td>12人</td></tr> <tr><td>法令実務（eラーニング）</td><td>7人</td></tr> <tr><td>メンタルヘルス研修</td><td>35人</td></tr> <tr><td>コンプライアンス研修</td><td>32人</td></tr> <tr><td>ゲートキーパー養成研修</td><td>848人</td></tr> <tr><td>人権研修</td><td>46人</td></tr> <tr><td>ハラスメント研修</td><td>55人</td></tr> <tr><td>ドメスティック・バイオレンス研修</td><td>7人</td></tr> <tr><td>傾聴講座</td><td>1人</td></tr> <tr><td>中東（パレスチナ）理解講座</td><td>22人</td></tr> <tr><td>安全運転研修</td><td>41人</td></tr> <tr><td>指導の受け方研修</td><td>20人</td></tr> <tr><td>源泉徴収事務研修</td><td>37人</td></tr> <tr><td>京丹後市職員政策力養成学校</td><td>311人</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,601人</td></tr> </table>	研修内容	延べ人数	新規採用職員研修	127人	勤務評定者研修	12人	法令実務（eラーニング）	7人	メンタルヘルス研修	35人	コンプライアンス研修	32人	ゲートキーパー養成研修	848人	人権研修	46人	ハラスメント研修	55人	ドメスティック・バイオレンス研修	7人	傾聴講座	1人	中東（パレスチナ）理解講座	22人	安全運転研修	41人	指導の受け方研修	20人	源泉徴収事務研修	37人	京丹後市職員政策力養成学校	311人	計	1,601人	<table border="1"> <tr><th>研修内容</th><th>延べ人数</th></tr> <tr><td>法制執務（基礎）</td><td>9人</td></tr> <tr><td>法制執務（応用）</td><td>1人</td></tr> <tr><td>自治体訴訟研修</td><td>3人</td></tr> <tr><td>問題解決研修</td><td>1人</td></tr> <tr><td>メンタルヘルスケア研修</td><td>3人</td></tr> <tr><td>ファシリテーション研修</td><td>1人</td></tr> <tr><td>コーチング研修</td><td>1人</td></tr> <tr><td>クレーム対応研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>新規採用職員研修</td><td>8人</td></tr> <tr><td>新任係長研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>チーム型政策研究プログラム</td><td>1人</td></tr> <tr><td>研修事務担当者研修</td><td>1人</td></tr> <tr><td>新規加入組合員共済制度研修</td><td>71人</td></tr> <tr><td>管理監督者メンタルヘルスセミナー</td><td>1人</td></tr> <tr><td>法制執務実践セミナー</td><td>3人</td></tr> <tr><td>全国地域づくり人材塾</td><td>1人</td></tr> <tr><td>京都府北部7市合同研修</td><td>5人</td></tr> <tr><td>電話対応研修</td><td>11人</td></tr> <tr><td>計</td><td>125人</td></tr> </table>	研修内容	延べ人数	法制執務（基礎）	9人	法制執務（応用）	1人	自治体訴訟研修	3人	問題解決研修	1人	メンタルヘルスケア研修	3人	ファシリテーション研修	1人	コーチング研修	1人	クレーム対応研修	2人	新規採用職員研修	8人	新任係長研修	2人	チーム型政策研究プログラム	1人	研修事務担当者研修	1人	新規加入組合員共済制度研修	71人	管理監督者メンタルヘルスセミナー	1人	法制執務実践セミナー	3人	全国地域づくり人材塾	1人	京都府北部7市合同研修	5人	電話対応研修	11人	計	125人
	研修内容	延べ人数																																																																										
	新規採用職員研修	127人																																																																										
	勤務評定者研修	12人																																																																										
	法令実務（eラーニング）	7人																																																																										
	メンタルヘルス研修	35人																																																																										
	コンプライアンス研修	32人																																																																										
ゲートキーパー養成研修	848人																																																																											
人権研修	46人																																																																											
ハラスメント研修	55人																																																																											
ドメスティック・バイオレンス研修	7人																																																																											
傾聴講座	1人																																																																											
中東（パレスチナ）理解講座	22人																																																																											
安全運転研修	41人																																																																											
指導の受け方研修	20人																																																																											
源泉徴収事務研修	37人																																																																											
京丹後市職員政策力養成学校	311人																																																																											
計	1,601人																																																																											
研修内容	延べ人数																																																																											
法制執務（基礎）	9人																																																																											
法制執務（応用）	1人																																																																											
自治体訴訟研修	3人																																																																											
問題解決研修	1人																																																																											
メンタルヘルスケア研修	3人																																																																											
ファシリテーション研修	1人																																																																											
コーチング研修	1人																																																																											
クレーム対応研修	2人																																																																											
新規採用職員研修	8人																																																																											
新任係長研修	2人																																																																											
チーム型政策研究プログラム	1人																																																																											
研修事務担当者研修	1人																																																																											
新規加入組合員共済制度研修	71人																																																																											
管理監督者メンタルヘルスセミナー	1人																																																																											
法制執務実践セミナー	3人																																																																											
全国地域づくり人材塾	1人																																																																											
京都府北部7市合同研修	5人																																																																											
電話対応研修	11人																																																																											
計	125人																																																																											
○職員旅費	29千円																																																																											
諸収入 京都府市町村職員等共同研修助成金	446千円																																																																											

主な財源 諸収入 京都府市町村職員等共同研修助成金 446千円

評価・課題等 ○メンタルヘルス、ゲートキーパー、コンプライアンス、ハラスメントなどの研修を実施し、職員意識の高揚、より良い職場づくりを進めた。
○新規採用職員研修の中に接遇研修を実施し、電話や来客対応の向上、市民から信頼される市役所づくりを進めた。
○行政運営を担う職員の資質の向上を図るため、政策力養成学校に取組み、部局長による「政策研究ゼミ」を実施した。

事業所管課 企画総務部/人事課

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	05職員研修事務
細事業名	02 職員派遣研修事務			決算書 P.72
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,138千円	1,139千円	1千円	99.9%	912千円

目的 京都地方税機構等へ職員を派遣することで、他機関における政策立案過程、課題解決手法等を学ぶとともに、業務を通じて専門的かつ総合的な知識や技能を習得する。

主要な事務・事業及び成果の概要	○京都地方税機構への派遣研修に係る経費	938千円						
	<table border="1"> <tr><th>派遣先</th><th>人数</th><th>備考</th></tr> <tr><td>事務局総務課</td><td>1人</td><td>主事級職員</td></tr> </table>	派遣先	人数	備考	事務局総務課	1人	主事級職員	
	派遣先	人数	備考					
	事務局総務課	1人	主事級職員					
	・借上げ住居に係る費用（家賃）	912千円						
	・派遣職員交代に係る室内清掃料	26千円						
	○環境省への派遣研修に係る経費	200千円						
	<table border="1"> <tr><th>派遣先</th><th>人数</th><th>備考</th></tr> <tr><td>総合環境政策局 環境影響評価課</td><td>1人</td><td>主任級職員</td></tr> </table>	派遣先	人数	備考	総合環境政策局 環境影響評価課	1人	主任級職員	
	派遣先	人数	備考					
	総合環境政策局 環境影響評価課	1人	主任級職員					
・赴任に係る旅費（往路分）	200千円							
諸収入 京都地方税機構職員派遣交付金（10/10）	938千円							

主な財源 諸収入 京都地方税機構職員派遣交付金（10/10） 938千円

評価・課題等 ○他機関での実務を通じて得た専門的な知見を今後の業務に活かすとともに、組織の行政能力向上の一助となることを期待できる。
○派遣研修による成果を活用していく仕組みづくりとして、派遣した職員の経験を広く職員へ伝達するための報告会の在り方や、活動報告書の周知などによる伝達方法について検討していく必要がある。

事業所管課 企画総務部/人事課

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	06福利厚生事務
細事業名	01 福利厚生事務			決算書 P.72
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,119千円	7,297千円	178千円	97.5%	8,004千円

目的	職員の健康管理の維持・増進と福利厚生を図り、公務の効率の向上に資する。																																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>職員の健康管理のため、全職員と社会保険加入の臨時職員等に定期健康診断を実施した。また、健康づくりの一環として、京都市町村職員厚生会等が実施するスポーツ大会へ参加するなど、職員の福利厚生に努めた。</p> <p>○定期健康診断受診経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">対象者</th> <th colspan="3">受診者数</th> <th rowspan="2">受診率</th> <th rowspan="2">委託経費</th> </tr> <tr> <th>巡回健診</th> <th>人間ドック</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員</td> <td>1,069人</td> <td>927人</td> <td>112人</td> <td>1,039人</td> <td>97.2%</td> <td>5,358千円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td>310人</td> <td>295人</td> <td>-</td> <td>295人</td> <td>95.2%</td> <td>1,649千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 職員健康診断委託料 7,007千円 事務消耗品 10千円 <p>○福利厚生スポーツ大会への参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主催</th> <th>大会名</th> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都市町村職員厚生会</td> <td>軟式野球大会</td> <td>平成25年5月11日、18日</td> <td>丹波自然運動公園</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>京都市町村職員厚生会</td> <td>丹後半島駅伝大会</td> <td>平成25年12月1日</td> <td>京丹后市丹後町内</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>京都市町村職員厚生会</td> <td>スポーツ健康交流会</td> <td>平成25年9月8日</td> <td>丹波自然運動公園</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>京都府下14市職員交歓体育大会</td> <td>京都府下14市職員交歓体育大会</td> <td>平成25年6月1日</td> <td>丹波自然運動公園</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 京都府下14都市職員交歓体育大会負担金 16千円 職員旅費 5千円 <p>○その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員旅費等（事務担当者会議出席） 81千円 	区分	対象者	受診者数			受診率	委託経費	巡回健診	人間ドック	合計	職員	1,069人	927人	112人	1,039人	97.2%	5,358千円	臨時職員等	310人	295人	-	295人	95.2%	1,649千円	主催	大会名	実施日	会場	参加人数	京都市町村職員厚生会	軟式野球大会	平成25年5月11日、18日	丹波自然運動公園	32人	京都市町村職員厚生会	丹後半島駅伝大会	平成25年12月1日	京丹后市丹後町内	40人	京都市町村職員厚生会	スポーツ健康交流会	平成25年9月8日	丹波自然運動公園	11人	京都府下14市職員交歓体育大会	京都府下14市職員交歓体育大会	平成25年6月1日	丹波自然運動公園	46人
区分	対象者			受診者数					受診率	委託経費																																								
		巡回健診	人間ドック	合計																																														
職員	1,069人	927人	112人	1,039人	97.2%	5,358千円																																												
臨時職員等	310人	295人	-	295人	95.2%	1,649千円																																												
主催	大会名	実施日	会場	参加人数																																														
京都市町村職員厚生会	軟式野球大会	平成25年5月11日、18日	丹波自然運動公園	32人																																														
京都市町村職員厚生会	丹後半島駅伝大会	平成25年12月1日	京丹后市丹後町内	40人																																														
京都市町村職員厚生会	スポーツ健康交流会	平成25年9月8日	丹波自然運動公園	11人																																														
京都府下14市職員交歓体育大会	京都府下14市職員交歓体育大会	平成25年6月1日	丹波自然運動公園	46人																																														
主な財源																																																		
評価・課題等	<p>○健康診断会場を分散して受診しやすくするとともに、職員衛生委員会での健康管理対策の検討や健康相談窓口を設けるなど、職員の健康管理・保持につながった。</p> <p>○健康診断結果に基づく健康相談窓口での事後指導や、長時間労働者への産業医の面接を実施し、職員の健康管理を推進した。</p> <p>○職員が元気に働くことができる職場環境づくりを進め、自らの健康管理・保持についての意識を高揚させる取組が必要である。</p>																																																	
事業所管課	企画総務部/人事課																																																	

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	07法律・市民相談事業
細事業名	01 法律相談事業			決算書 P.74
総合計画	基本方針 V パートナーシップ都市		計画項目	③ 人権の尊重
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
823千円	824千円	1千円	99.8%	820千円

目的	日常生活で発生する法律上の専門知識が必要な問題について、弁護士による相談窓口を開設することで市民の悩みやトラブル解決の一助とする。																																																																																										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都弁護士会に弁護士派遣を委託し、各地域公民館や各庁舎で市民を対象に、年4回の無料法律相談を人権相談、行政相談と併せて実施した。</p> <p>また、京都弁護士会が開設する丹後法律相談センター（大宮相談所、宮津相談所）の運営費として、京都府、京丹後市、宮津市、伊根町、与謝野町からそれぞれ補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費（職員出張旅費） 3千円 ○委託料 288千円 <ul style="list-style-type: none"> 無料法律相談委託料：京都弁護士会（年間4回、市内5カ所を巡回し実施） ○補助金 532千円 <ul style="list-style-type: none"> 丹後法律相談センター運営補助金 <p>（京都弁護士会による運営事業費合計額 8,291千円）</p> <p><無料法律相談></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町別</th> <th>件数</th> <th>相談内容（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>9</td> <td>相続・登記 7</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>1</td> <td>金銭貸借 3</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>7</td> <td>離婚 1</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>4</td> <td>行政・人権 2</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>3</td> <td>土地・家屋 2</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>3</td> <td>交通事故 4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>契約 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他 6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>計 27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※相談受付は1回あたり9件まで</p> <p><丹後法律相談センター></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町別（件）</th> <th>大宮</th> <th>宮津</th> <th>相談内容（件）</th> <th>大宮</th> <th>宮津</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>離婚</td> <td>27</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>交通事故</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>金銭貸借</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>相続</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>売買</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>相隣関係</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>他市町</td> <td>30</td> <td>57</td> <td>刑事事件</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>95</td> <td>64</td> <td>計</td> <td>95</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 159 件</p>	町別	件数	相談内容（件）	峰山町	9	相続・登記 7	大宮町	1	金銭貸借 3	網野町	7	離婚 1	丹後町	4	行政・人権 2	弥栄町	3	土地・家屋 2	久美浜町	3	交通事故 4			契約 2			その他 6	計	27	計 27	町別（件）	大宮	宮津	相談内容（件）	大宮	宮津	峰山町	11	1	離婚	27	10	大宮町	12	2	交通事故	15	0	網野町	14	3	金銭貸借	8	14	丹後町	12	0	相続	8	14	弥栄町	7	1	売買	1	1	久美浜町	9	0	相隣関係	7	2	他市町	30	57	刑事事件	2	0				その他	27	23	計	95	64	計	95	64
町別	件数	相談内容（件）																																																																																									
峰山町	9	相続・登記 7																																																																																									
大宮町	1	金銭貸借 3																																																																																									
網野町	7	離婚 1																																																																																									
丹後町	4	行政・人権 2																																																																																									
弥栄町	3	土地・家屋 2																																																																																									
久美浜町	3	交通事故 4																																																																																									
		契約 2																																																																																									
		その他 6																																																																																									
計	27	計 27																																																																																									
町別（件）	大宮	宮津	相談内容（件）	大宮	宮津																																																																																						
峰山町	11	1	離婚	27	10																																																																																						
大宮町	12	2	交通事故	15	0																																																																																						
網野町	14	3	金銭貸借	8	14																																																																																						
丹後町	12	0	相続	8	14																																																																																						
弥栄町	7	1	売買	1	1																																																																																						
久美浜町	9	0	相隣関係	7	2																																																																																						
他市町	30	57	刑事事件	2	0																																																																																						
			その他	27	23																																																																																						
計	95	64	計	95	64																																																																																						
主な財源																																																																																											
評価・課題等	<p>法律相談の実施により、法律問題について専門的な指導助言を必要とする市民の要望に応えることができた。</p>																																																																																										
事業所管課	市民部/市民課																																																																																										

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	07法律・市民相談事業				
細事業名	02 市民相談事業			決算書	P.74			
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	③ 人権の尊重				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
2,632千円	2,680千円	48千円	98.2%	2,580千円				
目的	日常生活で発生する問題や要望などについて、専任相談員による相談窓口を設置し、関係機関と連携をとりながら、市民の悩みやトラブル解決の支援を行う。							
主要な事業・事業及び成果の概要	市民相談室及び多重債務相談室を設置し、相談員が市民からの相談を受けアドバイスをを行った。また、弁護士事務所等と連携して多重債務問題解決の支援活動を行った。 8月下旬には福祉事務所敷地内「くらしとしごとの寄り添い支援センター」建物内へ消費生活センターとともに移転し、新たに「寄り添い支援総合サポートセンター」として相談と支援の対応ワンストップ化を図った。							
	○賃金（臨時職員 2人）	2,236 千円						
	○旅費（職員研修旅費）	13 千円						
	○需用費（消耗品費、コピーチャージ料、公用車燃料費、公用車修繕料）	201 千円						
	○役務費（携帯電話使用料、保険料、車検代行料、コピー機移設手数料）	133 千円						
	○使用料（コピー機借上料）	43 千円						
	○公課費（公用車重量税）	6 千円						
	<市民相談>		<多重債務相談>					
	町別	件数	主な内容	件数	町別	件数	相談種別	件数
	峰山町	25	生活関係	3	峰山町	11	債務相談	41
大宮町	47	家庭関係	21	大宮町	9	金銭トラブル	3	
網野町	15	健康関係	15	網野町	16	相続	1	
丹後町	8	人間関係	22	丹後町	3	家族問題	2	
弥栄町	7	人権関係	8	弥栄町	3	生活困窮	2	
久美浜町	9	契約関係	10	久美浜町	8	その他	2	
市外	8	資産関係	16	市外	1			
住所不明	7	その他	31	計	51	計	51	
計	126	計	126					
主な財源	国補	生活困窮者自立促進支援モデル事業補助金 (10/10)			551千円			
	府補	消費者行政活性化事業費補助金 (10/10)			2,070千円			
評価・課題等	○多重債務相談は、平成22年度の改正貸金業法の完全施行により、相談件数は減少傾向（平成19年度232件）にある。 ○「寄り添い支援総合サポートセンター」として相談窓口の一本化により、市民相談や多重債務相談の中での生活困窮の問題が含まれる場合、生活保護相談や「くらしとしごとの寄り添い支援センター」など福祉関係課との連携がスムーズになり、市民の利便性の向上が図られた。							
事業所管課	市民部／市民課							

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	09入札・契約事務	
細事業名	01 入札・契約事務			決算書	P.74
総合計画	基本方針	VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
4,863千円	4,915千円	52千円	98.9%	4,918千円	
目的	競争性、公平性及び透明性の高い入札・契約制度の確立と適正な発注業務及び契約事務の効率化を図る。				
主要な事業・事業及び成果の概要	平成25年度は建設工事A、B、Cランク及びその他工種並びに測量・建設コンサルタント等業務の全件を対象とし、建設工事209件、測量・建設コンサルタント等業務58件を電子入札により実施した。 また、市が発注する建設工事について、専門的な知識を有する委員により構成される「京丹後市入札監視委員会」を年2回テレビ会議で開催し、入札及び契約の過程の透明性並びに公正な競争の確保等について第三者の中立かつ公正な立場からの審査を受けた。				
	【電子入札の状況】				
	・建設工事 209件 (A:53件、B:38件、C:57件、その他:61件)				
	・測量・建設コンサルタント等業務 58件				
	工事実績情報システム利用料、入札・契約事務経費、備品購入費ほか 4,755千円				
	【京丹後市入札監視委員会開催状況】				
	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパスと京丹後キャンパスにおいてテレビ会議を実施				
	①第1回：平成25年7月23日開催				
	・審議対象案件 平成24年10月から平成25年3月までの間に、市が契約した予定価格250万円を超える建設工事85件のうち、委員が抽出した6件について審議				
	②第2回：平成26年1月22日開催				
・審議対象案件 平成25年4月から9月までの間に、市が契約した予定価格250万円を超える建設工事118件のうち、委員が抽出した8件について審議					
入札監視委員会委員謝金、旅費等委員会開催経費 108千円					
主な財源					
評価・課題等	○建設工事と測量・建設コンサルタント等業務における電子入札の定着と物品・役務における郵便入札の運用により、事務の合理化が図れた。 ○入札監視委員会での中立・公正な立場での客観的な審査を受けることにより、入札・契約事務の透明性が一層推進されるとともに、公正な競争の確保等に資することができた。 ○入札事務の一層の効率化と事業者の利便性の向上を図るため、物品・役務についても電子入札の導入を進めていく必要がある。				
事業所管課	財務部／入札契約課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	10料金徴収事務
細事業名	01 料金徴収事務			決算書 P.76
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
54千円	128千円	74千円	42.1%	128千円

目的 市税を除く市の債権について、統括管理することにより、効率的、効果的な徴収体制を整備し、計画的な滞納整理の実施により滞納累積額の縮減を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

より適正な債権管理を行うよう平成22年度に策定した「債権の管理に関する条例」及び「同施行規則」、同じく効率的、効果的な徴収実務を行えるよう整備した「債権の管理に関するマニュアル」に基づき滞納整理事務を行った。
 年度整理計画では、具体的な徴収目標を掲げ、計画的な徴収事務を行うとともに、回収不能債権の適正な不納欠損処理を行った。
 また、平成25年10月1日からコンビニ収納を開始し、納付者の利便性向上を図った。

○地方財務実務提要他債権管理に関する専門書籍 42千円
 ○事務消耗品 4千円
 ○資産調査手数料(4件) 2千円
 ○徴収事務研修旅費・交通費 6千円

未収料金累計表

年度区分	現年度分 収入未済額 a	滞納繰越分 収入未済額 b	不納欠損額 c	収入未済額 合計 a+b-c	未収金 対前年度比
H24	117,053千円	345,993千円	64,499千円	398,547千円	△9.3%
H25	116,256千円	303,588千円	12,286千円	407,558千円	2.3%
比較	△ 797千円	△ 42,405千円	△ 52,213千円	9,011千円	

※H25年度滞納整理計画：27科目

主な財源

評価・課題等

○年度整理計画に基づき、新たな滞納の防止に努め、また、回収不能債権について、適正な不納欠損処理を行い、滞納累計額の縮減を図ったが、前年累計額に比べ2.3%の増となった。
 ○コンビニ収納を開始し、納付の利便性向上を図ることができた。
 ○研修等を実施し、職員の徴収事務能力の向上をさらに図る必要がある。

事業所管課

財務部/管財・収納課

予算科目	02総務費	01総務管理費	01一般管理費	50一般管理一般経費
細事業名	01 一般管理一般経費			決算書 P.76
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
79,270千円	80,861千円	1,591千円	98.0%	78,163千円

目的 事務執行上必要となる消耗品や事務機器等並びにマイクロバス維持管理を適切に行い、行政事務を円滑に行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

- 政治倫理審査委員会開催経費(報酬、費用弁償ほか 1回開催) 82千円
- 臨時職員任用経費(4人) 5,520千円
- 一般管理事務経費(消耗品、事務機器等)
 - ・旅費 41千円
 - ・需用費 23,042千円
 - 消耗品費(コピー用紙、各種事務用品代等) 22,498千円
 - 印刷製本費(各種封筒印刷代) 445千円
 - 修繕料(事務機器) 77千円
 - 食糧費(会議用お茶代) 22千円
 - ・役務費 35,527千円
 - 通信運搬費(電話、郵便、宅配便代等) 29,945千円
 - 手数料(アスベスト分析手数料等) 150千円
 - 保険料(総合賠償補償保険) 5,432千円
 - ・委託料 10,158千円
 - 裁判等弁護士委託料(3件) 1,280千円
 - 法律顧問委託料 756千円
 - 庁舎間文書交換便運搬委託料 3,749千円
 - 電話交換器保守委託料 909千円
 - 事務補助業務人材派遣委託料(5人) 3,464千円
 - ・使用料及び賃借料 2,806千円
 - 印刷機借上料(9台) 1,716千円
 - 機械器具借上料ほか(ポスタープリンター等) 1,090千円
 - ・負担金、補助及び交付金(安全運転管理者講習会負担金等) 181千円
- マイクロバス維持管理経費(2台) 1,913千円

主な財源

評価・課題等

消耗品や事務機器の適正な管理並びにマイクロバス維持管理等、行政事務の円滑な執行処理を遂行した。

事業所管課

企画総務部/総務課

予算科目	02総務費	01総務管理費	02文書費	01文書・例規関係事務															
細事業名	01 文書・例規関係事務			決算書	P.78														
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
5,315千円	5,405千円	90千円	98.3%	5,821千円															
目的	条例及び規則等の制定改廃に伴う、例規集の編さん（データベースの更新等）のほか、公文書の適正な管理を行う。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	○例規データベースシステム(REIKI-BASE)の構築・保守委託業務 4,135千円 ・委託先 株式会社 ぎょうせい ・業務履行期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日 ・更新データ件数 291件（平成25年1月1日～12月31日制定改廃）																		
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>条例</th> <th>規則</th> <th>告示</th> <th>訓令</th> <th>行政委員会規則</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>更新件数</td> <td>61件</td> <td>65件</td> <td>119件</td> <td>19件</td> <td>27件</td> <td>291件</td> </tr> </table>							条例	規則	告示	訓令	行政委員会規則	計	更新件数	61件	65件	119件	19件	27件
	条例	規則	告示	訓令	行政委員会規則	計													
更新件数	61件	65件	119件	19件	27件	291件													
主な財源	・保守管理等 年4回のデータ更新及びシステム保守 ・市例規集の発行 300部（2,500円/部） 平成25年12月末日内容を掲載し、翌年3月に発行 ・インターネット公開 市例規集を市ホームページに掲載（年4回更新）																		
	○総合例規支援サービス 252千円 法令の改廃データと京丹後市の例規データを突合し、例規の改廃検討が必要な箇所をインターネット経由の画面上で確認できるサービスの利用 ○法令総合オンライン検索サービス 139千円 判例や法解釈に係る情報が効率的に収集できる検索サービスの利用 ○書籍購入、書籍・法令追録等 554千円 ・書籍購入冊数 3冊 ・書籍・法令追録件数 40件 ○文書管理事務 235千円 ・文書管理に必要なファイルボックス、フォルダ等の購入																		
評価・課題等	○例規の制定改廃に応じて例規集の編さん業務を専門業者に委託し、法制執務における事務の効率化を図っている。 ○文書管理業務については、文書管理システムを運用した適正管理に努めているが、保存年限の管理等も含め、システムをさらに活用していく必要がある。																		
事業所管課	企画総務部／総務課																		

予算科目	02総務費	01総務管理費	02文書費	02情報公開・個人情報事務																																																																																				
細事業名	01 情報公開・個人情報事務			決算書	P.78																																																																																			
総合計画	基本方針	Ⅴ パートナーシップ都市		計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進																																																																																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																				
82千円	108千円	26千円	75.9%	267千円																																																																																				
目的	情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図る。																																																																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	○情報公開・個人情報事務 82千円 ・書籍購入、追録等 71千円 ・事務消耗品等 11千円																																																																																							
	(1) 公開請求及び公開請求に対する決定状況																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施機関</th> <th rowspan="2">請求件数</th> <th colspan="5">請求に対する決定内容</th> </tr> <tr> <th>公開</th> <th>部分公開</th> <th>非公開</th> <th>却下</th> <th>取下げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長</td> <td>1,534 (1,430)</td> <td>1492 (1,424)</td> <td>53 (13)</td> <td>17 (6)</td> <td>56 (33)</td> <td>8 (7)</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>108 (95)</td> <td>109 (95)</td> <td>3 (0)</td> <td>2 (0)</td> <td>1 (0)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>選挙管理委員会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公平委員会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監査委員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>農業委員会</td> <td>5 (0)</td> <td>5 (0)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>固定資産評価審査委員会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消防長</td> <td>6 (5)</td> <td>6 (5)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>議会</td> <td>3 (0)</td> <td>2 (0)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1 (0)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,656 (1,530)</td> <td>1614 (1,524)</td> <td>56 (13)</td> <td>19 (6)</td> <td>58 (33)</td> <td>8 (7)</td> </tr> </tbody> </table>							実施機関	請求件数	請求に対する決定内容					公開	部分公開	非公開	却下	取下げ	市長	1,534 (1,430)	1492 (1,424)	53 (13)	17 (6)	56 (33)	8 (7)	教育委員会	108 (95)	109 (95)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0	選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0	公平委員会	0	0	0	0	0	0	監査委員	0	0	0	0	0	0	農業委員会	5 (0)	5 (0)	0	0	0	0	固定資産評価審査委員会	0	0	0	0	0	0	消防長	6 (5)	6 (5)	0	0	0	0	議会	3 (0)	2 (0)	0	0	1 (0)	0	合計	1,656 (1,530)	1614 (1,524)	56 (13)	19 (6)	58 (33)	8 (7)
実施機関	請求件数	請求に対する決定内容																																																																																						
		公開	部分公開	非公開	却下	取下げ																																																																																		
市長	1,534 (1,430)	1492 (1,424)	53 (13)	17 (6)	56 (33)	8 (7)																																																																																		
教育委員会	108 (95)	109 (95)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0																																																																																		
選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0																																																																																		
公平委員会	0	0	0	0	0	0																																																																																		
監査委員	0	0	0	0	0	0																																																																																		
農業委員会	5 (0)	5 (0)	0	0	0	0																																																																																		
固定資産評価審査委員会	0	0	0	0	0	0																																																																																		
消防長	6 (5)	6 (5)	0	0	0	0																																																																																		
議会	3 (0)	2 (0)	0	0	1 (0)	0																																																																																		
合計	1,656 (1,530)	1614 (1,524)	56 (13)	19 (6)	58 (33)	8 (7)																																																																																		
※決定内容の件数は決定書単位で表示し、却下には不存在及び存否応答拒否を含む。 ※表中（ ）内数字は、電子申請による請求に係る件数。																																																																																								
(2) 異議申立ての状況 0件 (3) 情報公開・個人情報保護審査会の開催 0回																																																																																								
主な財源																																																																																								
評価・課題等	インターネットを利用した情報公開電子申請システムの運用により、請求者の手続及び費用の負担軽減したことで利便性が向上し、開かれた市政の推進を図ることができている。																																																																																							
事業所管課	企画総務部／総務課																																																																																							

予算科目	02総務費	01総務管理費	03広報費	01広報広聴事業	
細事業名	01 広報広聴事業			決算書	P.78
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
22,412千円	22,431千円	19千円	99.9%	23,580千円	
目的	広報紙等の発行、コミュニティ放送等の活用による広報活動により、市民との市政情報の共有、市民の市政参加の促進を図る。広聴活動により市民の意見等の市政への反映を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>広報事業では、広報紙及びおしらせ版の発行、防災行政無線及びコミュニティFM等を活用した市政情報の提供を積極的に行った。また子育てや福祉等の支援制度等をまとめた「くらしの支援ガイド」、市の施策の成果等をまとめた「京丹後市白書」を充実させ発行した。さらに12月から動画共有サイト（ユーチューブ）上にイベント等の様子を配信し、広報業務の一層の充実を図った。</p> <p>広聴事業では、地域を対象とする「市長の地域づくり出前座談会（地域主権型）」を、弥栄・久美浜・峰山・網野・大宮の5会場で実施（出席者計75人）、また各種団体を対象とする「市長のまちづくり夢座談会」を2グループ（出席者計25人）と実施し、将来の地域・まちづくりに関する意見交換を行った。「わたしの提案・意見箱（ご意見箱）」には245件の意見等が寄せられ、市民からの意見等を反映した市政の推進に努めた。出前講座を287回開催し、市の施策や制度について周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報クイズ当選者賞品（図書カード 500円分×5人×12か月分） 30千円 ○広報基礎セミナーほか旅費 65千円 ○参考図書・事務消耗品代、カメラレンズ修理代ほか 95千円 ○広報紙等印刷製本代 16,756千円 <ul style="list-style-type: none"> 〔 広報きょうたんご（21,700部、平均27頁、12回） 7,874千円 きょうたんごおしらせ版（21,300部、平均12頁、24回） 5,146千円 くらしの支援ガイド（22,300部、フルカラー、80頁） 2,458千円 京丹後市白書「25年度版」（760部） 1,273千円 シール代ほか 5千円 ○広報紙発送料、新聞広告掲載料 288千円 ○京丹後コミュニティ放送（FMたんご）への市政情報放送委託料 5,003千円 ○フォント使用料ほか 141千円 ○広報関係団体負担金（日本広報協会、京都府広報協議会） 34千円 				
主な財源	<p>府補 未来づくり交付金（京丹後コミュニティFM放送委託事業） 2,500千円</p> <p>諸収入 広報郵送料負担金 56千円</p> <p>諸収入 京丹後市白書販売収入 39千円</p>				
評価・課題等	<p>○広報紙及びおしらせ版の発行、また防災行政無線及びコミュニティFM等を活用し、市民に市政情報を提供することにより、市政情報の共有、市民の市政参加の促進が図られた。また「くらしの支援ガイド」「京丹後市白書」の充実、動画共有サイトへの情報配信により、市政情報等の提供について一層の充実が図られた。</p> <p>○わたしの提案・意見箱（ご意見箱）の設置、市長のまちづくり夢座談会などにより、市民参加のまちづくりを推進。また、出前講座の開催により、行政施策や制度の周知が図られた。</p>				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	04財政管理費	01財政管理事務	
細事業名	01 財政管理事務			決算書	P.78
総合計画	基本方針	VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
2,182千円	2,245千円	63千円	97.1%	2,245千円	
目的	予算編成、執行管理、決算統計、地方交付税、各種交付金、市債借入等の各種財政事務に要する経費				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>財政管理に必要な経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 140千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都出張 <ul style="list-style-type: none"> 企画・財政等担当部(課)長会議（3人）、財政担当初任者研修（1人）、地方債説明会（2人）、地方財政対策等説明会（1人）、合併団体連絡協議会（3人）、起債管理システム小部会（1人） ・その他出張 <ul style="list-style-type: none"> 府・市町村財政担当者会議（福知山市1人）、府内14市財政担当者会議（亀岡市2人）、合併団体連絡協議会（東京1人、篠山市2人、南丹市3人）、北部5市担当課長会（舞鶴市2人） ○消耗品費 102千円 <ul style="list-style-type: none"> ・参考図書等 <ul style="list-style-type: none"> 地方交付税のあらまし、地方交付税制度解説（単位費用編及び補正係数・基準財政収入額編）、地方債の手引、決算統計ハンドブック追録、地方財務実務提要追録、地方財務12か月分、自治日報12か月分、消費税解説 ○印刷製本費 1,879千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 わかりやすいことしの予算（21,500部） 945千円 ・平成24年度 一般会計・特別会計決算附属資料（220部） 323千円 ・平成26年度 一般会計予算書（200部） 370千円 ・平成26年度 一般会計予算説明資料（210部） 241千円 ○有料道路通行料 5千円 ○負担金 56千円 <ul style="list-style-type: none"> 財政対策連絡協議会負担金、決算統計システムサポート負担金 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○合併団体で組織する協議会に加盟し、合併市特有の財政事情等を考慮した普通交付税の見直しについて要望を行った。</p> <p>○わかりやすいことしの予算、予算説明資料、決算附属資料をよりわかりやすい内容となるよう工夫しながら、引き続き市の財政状況の周知等に取り組み必要がある。</p>				
事業所管課	財務部/財政課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	04財政管理費	04合併特例措置逓減対策準備基金
細事業名	01 合併特例措置逓減対策準備基金			決算書 P.80
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
750,414千円	750,415千円	1千円	99.9%	500,376千円

目的 合併特例措置の終了に伴う急激な市民サービス等の低下を抑制するため、後年度に活用できる合併特例措置逓減対策準備基金への積立金

主要な事務・事業及び成果の概要

○合併特例措置逓減対策準備基金積立金 750,000千円
 ○合併特例措置逓減対策準備基金積立金(利子分) 414千円

(参考) 基金の状況 (単位:千円)

平成24年度末 現在高 ①	平成25年度中増減額			平成25年度末 現在高 ①-②+(③+④)
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
1,500,340	0	414	750,000	2,250,754

《参考》合併特例措置の内訳等
 ①合併特例事業債
 平成26年度までの発行期限が法律改正により平成31年度まで延長された。
 (充当率:95%、普通交付税算入率:元利償還金の70%)
 ※法改正の概要:合併後10年間の発行期限が5年間延長され、合併後15年間発行可能となった。
 ②普通交付税及び臨時財政対策債発行可能額の合併算定替
 平成27年度から平成32年度までの6年間で順次逓減し、平成32年度で特例分はゼロとなるが、合併団体の支所経費や交付税算定の基礎となる標準団体の面積等について平成26年度からの5年間で見直され、交付税の逓減額は緩和となる見込み。

主な財源 財産収入 合併特例措置逓減対策準備基金利子収入 414千円

評価・課題等

事業所管課 財務部/財政課

予算科目	02総務費	01総務管理費	04財政管理費	06地域の元気づくり基金
細事業名	01 地域の元気づくり基金			決算書 P.80
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
600,000千円	600,000千円	0千円	100.0%	0千円

目的 国等の地域の元気臨時交付金を活用し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的とした地域の元気づくり基金への積立金

主要な事務・事業及び成果の概要

○地域の元気づくり基金積立金 600,000千円

(参考) 基金の状況 (単位:千円)

平成24年度末 現在高 ①	平成25年度中増減額			平成25年度末 現在高 ①-②+(③+④)
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
	0	0	600,000	600,000

※H26年度内に、全額を適債性のある事業へ活用

主な財源 国補 地域の元気臨時交付金 231,200千円
 府補 森林整備加速化・林業再生等元気づくり交付金 368,800千円

評価・課題等

事業所管課 財務部/財政課

予算科目	02総務費	01総務管理費	05会計管理費	01会計管理事務		
細事業名	01 会計管理事務			決算書	P.80	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
5,039千円	5,054千円	15千円	99.7%	5,476千円		
目的	会計管理事務について、京丹後市会計規則等の法令に基づき適正に事務処理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>会計管理事務に必要な経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会計事務の経費 <ul style="list-style-type: none"> 書籍追録代 43千円 一般会計歳入歳出決算書印刷代 240部 305千円 支払通知書印刷代 20,000枚 206千円 公金預入書、手書納入通知書印刷代 300冊 281千円 口座振替依頼書印刷代 275冊 139千円 納入通知書兼領収書印刷代 10,000枚 62千円 支払通知書郵送料 23,205件 1,160千円 公金取扱手数料(各金融機関へ) 242,938件 2,610千円 <ul style="list-style-type: none"> 各金融機関へ 238,888件 2,536千円 コンビニ収納 1,268件 74千円 口座振込データ伝送料 38千円 ○ 備品管理事務の経費 <ul style="list-style-type: none"> 備品管理システム保守管理 158千円 ○ その他事務の経費 <ul style="list-style-type: none"> 京都府都市会計管理者等連絡会議ほか出張旅費 22千円 事務用品等 15千円 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○法令に基づく会計事務(現金・有価証券・物品の出納及び保管、小切手の振出等)について適正に事務処理できた。</p> <p>○平成25年度から納入者の利便性向上のためコンビニ収納を開始した。会計事務については、今後も法令順守し、効率的で適正な事務処理に努める必要がある。</p>					
事業所管課	会計課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	01財産取得・管理事業		
細事業名	01 財産取得・管理事業			決算書	P.80	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
48,995千円	49,044千円	49千円	99.9%	53,247千円		
目的	市が保有する財産の貸付の拡大や売却処分等、効率的な活用を推進することにより、財源確保を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市が所有する財産をまちづくりのための資源とするため、保有財産の適正な維持管理を行うとともに、未利用財産の積極的な貸付け及び売払いを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市有地測量登記委託料 986千円 境界確定測量 弥栄町溝谷地内法定外公共物、旧大宮清掃センター用地 ○市有財産雑木伐採等委託料(間人定住団地公園ほか15か所) 631千円 ○公有財産管理システム保守管理委託料 80千円 ○普通財産土地借上料(府営住宅敷地ほか18件) 4,966千円 ○土地購入費 40,000千円 葛野開発用地(丹後地区土地開発公社) 40,000千円 ○丹後地区土地開発公社運営負担金 238千円 ○インターネット公有財産売却システム利用手数料 3千円 ○その他財産取得・管理事業経費 2,091千円 職員旅費、普通財産建物維持管理経費、火災保険料、光熱水費ほか <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎財産運用収入(歳入) <ul style="list-style-type: none"> 土地建物貸付収入 4件 1,773千円 土地貸付収入 49件 13,836千円 建物貸付収入 5件 1,090千円 ◎財産売払収入(歳入) <ul style="list-style-type: none"> 法定外公共物売払収入 5件 6,084千円 不用物品売払収入 41件 100千円 					
主な財源	諸収入	峰山区民会館電気料				4千円
	諸収入	峰山14区事務所火災保険料				4千円
	諸収入	旧久美の浜刈ガ-ハウス火災保険料				12千円
	諸収入	旧久美浜庁舎光熱水費負担金				345千円
	諸収入	雑木伐採補償金				85千円
評価・課題等	<p>○個人及び法人に対し、未利用財産や普通財産(土地)の貸付け、売払いを行うとともに、不用物品についてインターネットを利用した公有財産売却を実施した。これにより新たな財源確保を図った。</p> <p>○公共施設の見直し方針に基づき、処分する予定の施設について測量業務や鑑定評価など、譲渡や売却に向けた事務を計画的に進めていく必要がある。</p>					
事業所管課	財務部/管財・収納課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業		
細事業名	01 峰山庁舎管理事業			決算書	P.82	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
31,080千円	31,443千円	363千円	98.8%	34,061千円		
目的	峰山庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費等の経費を支出した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎維持管理経費 (庁舎・防災備蓄倉庫) 22,221千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費 (電気、上下水道、ガス、灯油) 14,326千円 ・修繕料 (庁舎小規模修繕) 574千円 ・手数料 (クリーニング、ごみ処理ほか) 94千円 ・施設清掃委託料 (庁舎内清掃) 1,883千円 ・設備保守点検等委託料 1,675千円 <ul style="list-style-type: none"> (エレベーター、自家用電気工作物保安管理、空調設備、地下タンク、自動ドア、デマンド監視、消防設備) ・宿日直業務委託料 (宿直1人) 2,405千円 ・環境衛生管理委託料 313千円 ・火災保険料 (庁舎、防災備蓄倉庫) 58千円 ・備品購入費 (ストーブ、粉末消火器、マイクほか) 303千円 ・その他経費 (消耗品費、清掃用具借上料ほか) 590千円 ○公用車維持管理経費 6,349千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料 (22台) 5,113千円 ・車検費用 対象車11台 (登録手数料、自動車重量税) 393千円 ・保険料 (自動車損害保険料22台、自賠責保険料11台) 828千円 ・その他経費 (消耗品費、タイヤ交換手数料ほか) 15千円 ○駐車場用地借上料 2,510千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所前駐車場1,637.021㎡ 2,091千円 ・裁判所下職員駐車場644.08㎡ 419千円 					
主な財源	使用料 行政財産使用料		139千円			
評価・課題等	○年間を通じた節電の取組みを行い、光熱費の削減に努めたが価格の高騰等により、前年度を上回る実績となった。					
	○施設や公用車の老朽化により維持修繕費用の増加が見込まれるため、修繕が必要な部分を明確にし、計画的に更新や改修を行う。 ○市役所前駐車場の無断駐車が多いため、看板設置や駐車状況の把握などを行い、その対策を検討する必要がある。					
事業所管課	企画総務部/総務課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業		
細事業名	02 大宮庁舎管理事業			決算書	P.82	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
17,747千円	17,765千円	18千円	99.8%	17,765千円		
目的	大宮庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎維持管理経費 16,184千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費 (電気、上下水道、ガス、灯油) 8,965千円 ・修繕料 (庁舎小規模修繕) 728千円 ・施設清掃等委託料 (庁舎内清掃、庭木剪定) 1,696千円 ・設備保守点検等委託料 1,708千円 <ul style="list-style-type: none"> (自家用電気工作物保安管理、自動ドア、消防設備、ほか) ・宿日直業務委託料 (宿直1人) 2,404千円 ・環境衛生管理委託料 235千円 ・火災保険料 (庁舎、車庫) 51千円 ・その他経費 (消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか) 397千円 ○公用車維持管理経費 1,365千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料 (7台) 1,055千円 ・車検費用 対象車5台 (登録手数料、自動車重量税) 112千円 ・保険料 (自動車損害保険料7台、自賠責保険料5台) 198千円 ○駐車場用地借上料 (社協前職員用駐車場 503㎡) 198千円 					
主な財源	使用料 公有財産使用料					1,401千円
	諸収入 公衆電話料					2千円
評価・課題等	○住民の安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、維持管理を行った。					
	○庁舎及び公用車の維持管理費について、こまめな節電に努めることなどにより、光熱水費等の削減を図った。 ○庁舎及び公用車の維持管理経費の削減に努めているが、施設設備の老朽化に伴い、空調設備等の修繕費が年々増加傾向にあることから、計画的に更新や改修を行う必要がある。					
事業所管課	市民部/大宮市民局					

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業	
細事業名	03 網野庁舎管理事業			決算書	P.82
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
18,367千円	18,394千円	27千円	99.8%	21,278千円	

目的	網野庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。	
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎（本館・別館）維持管理経費 16,727 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費（電気、上水道、重油、灯油ほか） 9,133 千円 ・修繕料（庁舎小規模修繕） 781 千円 ・施設清掃委託料（庁舎内清掃） 313 千円 ・設備保守点検等委託料 1,091 千円 （自家用電気工作物保安管理、浄化槽管理ほか） ・PCB廃棄物処理手数料 654 千円 ・PCB収集運搬委託料 315 千円 ・宿日直業務委託料（宿直1人、半日直1人） 4,071 千円 ・デマンド監視業務委託料 78 千円 ・火災保険料（庁舎、倉庫ほか） 41 千円 ・その他の経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 250 千円 ○公用車維持管理経費 1,640 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料（8台） 1,213 千円 ・車検費用 対象車5台（登録手数料、自動車重量税） 148 千円 ・保険料（自動車損害保険料8台、自賠責保険料5台） 250 千円 ・その他の経費（消耗品費、タイヤ交換手数料ほか） 29 千円 	
主な財源	使用料 公有財産使用料	86千円
評価・課題等	庁舎本館に保管している有害物質のポリ塩化ビフェニル（PCB）油で満たされた高圧コンデンサ（1台）を法律に基づき、適正に処理し廃棄処分を行った。今後、保管分（高圧等トランス7台、蛍光灯安定器等55個）についても適正に廃棄処分をしていく必要がある。	
	事業所管課	市民部／網野市民局

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業	
細事業名	04 丹後庁舎管理事業			決算書	P.82
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
12,241千円	12,548千円	307千円	97.5%	11,977千円	

目的	丹後庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。	
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎維持管理経費 10,793 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油） 3,430 千円 ・修繕料（庁舎小規模修繕、エントランスホール電球換え） 877 千円 ・施設清掃等委託料（庁舎内清掃、庭木剪定） 651 千円 ・設備保守点検等委託料 1,462 千円 （自家用電気工作物保安管理、エレベーター、給排水設備、空調設備ほか） ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 3,090 千円 ・デマンド監視業務委託料 78 千円 ・環境衛生管理委託料 274 千円 ・火災保険料（庁舎、車庫、倉庫ほか） 80 千円 ・備品購入費（宿直室エアコン、給湯器2台） 289 千円 ・その他経費（消耗品費、清掃用具借上料ほか） 215 千円 ・賠償金（公有建物破損に伴う対物損害事故による損害賠償金） 347 千円 ○公用車維持管理経費 1,197 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料（6台） 893 千円 ・車検費用 対象車3台（登録手数料、自動車重量税） 102 千円 ・保険料（自動車損害保険料6台、自賠責保険料3台） 202 千円 ○星空体験学習室運営経費 251 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムオペレータ委託料（上映回数30回、入場者数延べ578人） 	
主な財源	使用料 公有財産使用料	18千円
	諸収入 市有建物損害共済金	36千円
評価・課題等	○住民の健康づくり、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、維持管理を行った。	
	○庁舎について、海に近いため塩害や老朽化等での修繕費が年々増加傾向にあることから、計画的に更新や改修を行う必要がある。	
事業所管課	市民部／丹後市民局	

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業
細事業名	05 弥栄庁舎管理事業			決算書 P.82
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,606千円	9,717千円	111千円	98.8%	10,451千円
目的	弥栄庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎維持管理経費 8,154 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油） 3,790 千円 ・修繕料（庁舎小規模修繕） 165 千円 ・施設清掃等委託料（庁舎内清掃、庭木剪定） 369 千円 ・設備保守点検等委託料 459 千円 <ul style="list-style-type: none"> （自家用電気工作物保安管理、自動ドア、消防設備、ほか） ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 3,090 千円 ・デマンド監視業務委託料 53 千円 ・火災保険料（庁舎、倉庫） 36 千円 ・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 192 千円 ○公用車維持管理経費 793 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料（5台） 513 千円 ・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税） 50 千円 ・保険料（自動車損害保険料5台、自賠責保険料2台） 139 千円 ・賠償金（公用車物損事故による損害賠償金） 91 千円 ○駐車場用地借上料（弥栄庁舎職員用駐車場2,104.05㎡） 659 千円 			
	使用料 公有財産使用料	2,192千円		
主な財源				
評価・課題等	○住民の安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、維持管理を行った。			
	○庁舎（昭和55年建設）について、デマンド監視によりこまめな節電に努めることで光熱水費の節減を図った。また、庁舎を共用（事務所活用）している外部団体（社協、シルバー人材センター等）と庁舎内の調整会議を行い、利用効率の良い共同管理を進める必要がある。			
事業所管課	市民部/弥栄市民局			

予算科目	02総務費	01総務管理費	06財産管理費	02庁舎管理事業
細事業名	06 久美浜庁舎管理事業			決算書 P.82
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,850千円	10,933千円	83千円	99.2%	10,458千円
目的	久美浜庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車を適切に維持管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎維持管理経費 9,324 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、重油、灯油ほか） 4,238 千円 ・修繕料（庁舎小規模修繕、冷却水循環ポンプほか） 865 千円 ・施設清掃委託料（庁舎内清掃） 171 千円 ・設備保守点検等委託料 306 千円 <ul style="list-style-type: none"> （自家用電気工作物保安管理、自動ドア、消防設備） ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 3,090 千円 ・デマンド監視業務委託料 78 千円 ・火災保険料（庁舎、倉庫ほか） 41 千円 ・庁舎維持管理手数料（空調、ボイラー検査ほか） 381 千円 ・その他経費（消耗品費、備品購入費、玄関マット借上料） 154 千円 ○公用車維持管理経費 905 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、修繕料（5台） 699 千円 ・車検費用（登録手数料及び自動車重量税2台） 76 千円 ・保険料（自動車損害保険料5台、自賠責保険料2台） 129 千円 ・事故証明手数料（1台） 1 千円 ○倉庫・車庫借上料ほか 621 千円 <ul style="list-style-type: none"> （倉庫・車庫借上料564千円、クーラー用地下水用地借上料57千円） 			
	使用料 公有財産使用料	239千円		
主な財源				
評価・課題等	○住民の健康づくり、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、維持管理を行った。			
	○庁舎（昭和58年建設）は、デマンド監視システムを活用しながら節電に努めるなど光熱水費の節減を図った。一方で、老朽化に伴い、修繕費が年々増加傾向となっている。また、社協との共用（事務室）や保健センターも併設し、健診や会議等に利用しているが、空きスペースがあるため、庁舎の有効活用を図る必要がある。			
事業所管課	市民部/久美浜市民局			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	01行財政改革推進費	
細事業名	01 行財政改革推進費			決算書	P.84
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
625千円	765千円	140千円	81.6%	765千円	
目的	「第2次京丹後市行財政改革大綱」及び「第2次京丹後市行財政改革推進計画」に基づき、行財政改革の着実な実行を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○行財政改革推進委員会の開催 69千円 第2次行財政改革推進計画の進捗状況等について報告し、第3次行財政改革大綱及び関連諸計画の策定に向けた審議を行った。</p> <p>行財政改革推進委員会の開催(2回) ・委員報酬 64千円(4,000円×延べ16人) ・費用弁償 5千円 ※行財政改革推進委員会 委員数 10人</p> <p>○行政評価の実施 295千円 平成24年度に実施した事業について事務事業評価及び施策評価を実施した。 ＜事務事業評価＞ (担当課評価) 全事業(594事業) ＜施策評価＞ 1次評価 (担当部局評価) 全施策(38施策) 2次評価 (行政評価委員会) 7施策</p> <p>行政評価委員会の開催(6回) ・委員謝金 委員長 98千円(14,000円×延べ7人) 委員 96千円(4,000円×延べ24人) ・費用弁償 91千円 ・職員旅費 10千円 ※行政評価委員会 委員数 5人</p> <p>○市民満足度調査の実施 217千円 行政サービスや行財政運営に関する市民の満足度調査を実施した。 ・封筒印刷製本費 11千円 ・郵送料 206千円 ※対象 3,200件、回収率 28.0%</p> <p>○その他事務費等(事務用品、職員旅費、記事使用料) 44千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○合併特例措置の終了を控える中、「歳出抑制の道標」「補助金等に関する基本方針」「公共施設の見直し方針」や行政評価の結果等を踏まえて、平成26年度予算における歳出抑制及び施設の見直し等を一定反映することができた。</p> <p>○第3次京丹後市行財政改革大綱を策定し、平成27年度以降の行財政改革の方針を明確にする必要がある。あわせて「補助金等に関する基本方針」「公共施設の見直し方針」に基づいた補助金及び施設の見直しを行うなど、実効性のある歳出抑制を進める必要がある。</p>				
事業所管課	財務部/行財政改革推進課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	03国際交流推進事業	
細事業名	01 国際交流活動推進事業			決算書	P.84
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市		計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,502千円	1,510千円	8千円	99.4%	810千円	
目的	国際化にふさわしい環境整備と、市民主体の国際交流を推進することにより、多文化共生のまちづくりを図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民と諸外国の人々との親善活動を通じて、幅広い分野において国際交流を推進し、人・ものが活発に交流し活力にあふれたまちづくりの実現に向け活動を行う京丹後市国際交流協会に対して、補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>○国際交流協会活動費補助金 1,500千円 【京丹後市国際交流協会の会員数】(平成26年3月31日現在) ・個人会員:147人 団体会員:4団体 【京丹後市国際交流協会の実施事業】 ・国際理解の啓発及び推進事業 ※国際交流演奏会は自治宝くじコミュニティ助成金で実施 国際理解教室(2回)、国際交流演奏会(参加者:延べ103人、160人) ・外国人との交流推進及び支援事業 きょうと留学生ツアーin京丹後市(留学生:40人 受入家庭:33家庭) 座禅&精進料理(参加者:19人) インターナショナルクッキング教室(参加者:21人) 英語・中国語講座(全4講座30回)(参加者:全講座延べ99人) ガイド通訳のための地域学・ガイド講座(参加者:9人) 外国籍住民のための生活相談会(相談:3件) ・日本語教室事業 日本語教室(文化庁委託事業含む)(学習者:延べ168人) 北部日本語ボランティア研修(4回)(参加者:3人) ・多文化共生の推進 多文化共生啓発研修(計3回)(参加者:延べ87人) ・他団体などとの連携事業(京都府外国籍府民共生施策懇談会視察受入:9人) ・その他(ホームページ更新、ニュースレター年5回発行、使用済み切手の寄贈)</p> <p>○職員旅費 2千円</p>				
主な財源	諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金 700千円				
評価・課題等	<p>○京丹後市国際交流協会が多文化共生のまちづくりに向けた取り組みを積極的に進めるとともに、京丹後市の実情にあわせた多数の活動を実施した結果、市民の国際理解への関心が高まり、国際交流事業への参加が広がりつつある。</p> <p>○引き続き市民主体の活動を推進し、より多くの市民が参加できるよう国際交流協会の活動を広く周知することが求められる。また、京都府国際センター等関係機関との連携も深め、国際交流協会の活動を支援する必要がある。</p>				
事業所管課	企画総務部/企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	04ふるさと応援基金	
細事業名	01 ふるさと応援基金			決算書 P.84	
総合計画	基本方針 V パートナースイップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,804千円	3,804千円	0千円	100.0%	1,011千円	
目的	ふるさと応援寄附金を活用し、活力あるふるさとづくりを推進することを目的としたふるさと応援基金への積立金				
主要な事務・事業及び成果の概要	○ふるさと応援基金積立金（寄附分：42件） 3,791千円 ○ふるさと応援基金積立金（利子分） 13千円				
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)				
	平成24年度末 現在高 ①	平成25年度中増減額			平成25年度末 現在高
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+(③+④)
	46,094	284	13	3,791	49,614
※ふるさと応援基金は、平成20年9月末に地域福祉基金、地域づくり基金及び子どもを守る基金を統合					
(充当先)					
・学校安全対策事業		284千円			
主な財源	寄附金 ふるさと応援寄附金	3,791千円			
	財産収入 ふるさと応援基金利子収入	13千円			
評価・課題等					
事業所管課	財務部/財政課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業
細事業名	01 京丹後ふるさと応援団運営事業			決算書 P.86
総合計画	基本方針 I 交流経済都市	計画項目	① 定住の促進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,243千円	1,269千円	26千円	97.9%	1,223千円
目的	本市に愛着、興味又は関心を持つ本市出身者や本市への訪問者等が参加する京丹後ふるさと応援団を運営し、交流人口の増加及び定住の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	本市の魅力を中心に発信し、交流人口増加と定住促進を図ることを目的に、本市に愛着、興味又は関心を持つ本市以外に在住する方で申込みのあった方を団員登録し、年3回の会報誌等の送付により本市の情報発信を行った。会報誌は本市内協賛店へも送付し、レシ横等への設置や来店者等への配布を行っていただくなど、本事業PRに協力いただいた。 また、協力いただける団員の方を「京丹後ふるさと応援大使」に委嘱し、本市のPRと団員の拡大に努めた。更に、団員の交流と意見交換を目的に、京都市内で「団員交流会」を開催した。			
	応援団員数	307人		
	(うち、ふるさと応援大使数)	217人)		
	市内協賛店数	45店 (平成26年3月末現在)		
	【事務経費】	1,114 千円		
・応援大使特製名刺の台紙増刷費 (13,600枚)	50 千円			
・応援大使特製名刺への大使名等印刷費 (89人、11,200枚)	238 千円			
・会報誌等発送郵便代・メール便代	88 千円			
・入団費払込料金取扱手数料 (120円×192人、80円×83人)	30 千円			
・会報誌作成委託料 (3回発行)	693 千円			
・消耗品費	15 千円			
【団員交流会】	129 千円			
開催日：平成26年2月9日	参加団員数：50人			
場所：京都市 京都タワーホテル				
・職員旅費及び有料道路通行料	70 千円			
・会場借上料	52 千円			
・消耗品費	7 千円			
主な財源	府補 未来づくり交付金 (京丹後ふるさと応援団運営事業)	400千円		
	諸収入 京丹後ふるさと応援団入団費	275千円		
評価・課題等	○ふるさと応援大使に京丹後市内の名所を印刷した応援大使特製名刺を配付してもらい、全国各地で京丹後市の魅力をPRしてもらった。このPRをきっかけに来丹、団員登録された方もおられ、交流人口の増加に一定寄与した。 ○団員に対しては会報誌による定期的な情報発信や市内協賛店で割引等特典など、本市を訪れるきっかけづくりをしているが、団員数の増加が課題となっている。			
事業所管課	企画総務部/企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業	
細事業名	05 久僧定住促進住宅維持管理事業			決算書	P.86
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	① 定住の促進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
198千円	199千円	1千円	99.4%	192千円	
目的	丹後定住促進住宅の入居者募集や選定、建物の適切な維持管理を行い、宇川地域の定住を促進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後定住促進住宅の入居者の募集や選定を行ったほか、建物の必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めた。</p> <p>棟数：3棟</p> <p>○修繕料 152千円 ・2棟修繕（漏水、洗面台） 152千円</p> <p>○手数料 46千円 ・浄化槽法定検査手数料 15千円 ・火災保険料 26千円 ・設備故障点検手数料（ボイラー） 5千円</p>				
主な財源	使用料 定住促進住宅使用料現年分			198千円	
評価・課題等	<p>○条例に基づき入居者の募集、選定を行い、空き家となっていた1棟の入居者を決定し、定住の促進につなげることができた。</p> <p>○当該住宅は建設から14年が経過しており、今後修繕の必要性が高まるものと想定される。</p>				
事業所管課	企画総務部/企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業	
細事業名	06 移住促進・空き家改修支援事業			決算書	P.86
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	① 定住の促進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
1,800千円	1,800千円	0千円	100.0%	0千円	
目的	地域の団体等が行う移住者の受入れ組織づくり、空き家改修等に補助し、移住受入体制を整備し、京丹後市への移住・定住を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>久美浜町において移住者が行った空き家改修工事に対し補助金を交付した。</p> <p>○補助金 1,800千円 ・移住促進・空き家改修支援事業補助金（1件） 1,800千円</p> <p>(参考) 移住促進・空き家改修支援事業補助金 京都府の「明日のむら人移住促進事業補助金」を活用し、地域の団体等が行う移住者の受入組織づくりや、空き家改修等を支援（府1/2、市1/2）</p> <p>【事業の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進住宅整備事業（上限180万円） 地域団体等が策定した「移住促進計画」に基づく空き家改修補助 ・移住者受入体制強化事業（上限50万円） 地域団体等が策定する「移住促進計画」の作成、受入活動経費を支援 ・空き家流動化対策事業（上限10万円） 空き家を移住者に賃貸・売却する際の家財撤去費用を支援 ・SOHO事業者等誘致対策事業（上限200万円） SOHO事業者等が新たに空き家等に進出する際の設備機器類等整備費用を支援 <p>※SOHO（ソーホー：Small Office Home Officeの略）事業者とは、パソコンなどの情報通信機器を利用して、小さなオフィスや自宅などでビジネスを行っている事業者。</p>				
主な財源	府補	明日の村人移住促進事業費補助金（1/2）			900千円
評価・課題等	<p>○1件の空き家の改修工事に補助金を交付した。</p> <p>○地域における移住者の受入体制整備や移住希望者のニーズに合う空き家物件の提供が課題である。</p>				
事業所管課	企画総務部/企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	06地域間交流推進事業	
細事業名	02 友好都市交流事業			決算書	P.86
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
14千円	19千円	5千円	73.6%	19千円	
目的	平成20年1月11日に友好都市盟約を締結した木津川市との交流を促進し、災害時の相互支援や文化・産業・観光などの分野で交流・連携を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>友好都市である木津川市の「木の津まつり」において、特産品等のブースを設けて京丹後市をPRした。</p> <p>○木津川市木の津まつり～感謝祭～ 14千円</p> <p>開催日時：平成25年11月24日（日）午前10時～午後4時</p> <p>開催場所：木津川市中央体育館及び北駐車場</p> <p>内 容：京丹後市・久美浜うまいもん市（参加者16人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（協議、出店） 3千円 ・出店ブース借上料 5千円 ・有料道路通行料 6千円 				
主な財源					
評価・課題等	○木津川市とは、少年野球交流事業なども実施し交流を行っている。 ○民間において、より広い分野で交流できるよう、友好都市の趣旨・状況などをPRしていく必要がある。				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	06地域間交流推進事業	
細事業名	03 中日本海交流会議開催事業			決算書	P.86
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	⑤ 国際交流と地域間交流の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
18千円	20千円	2千円	90.0%	20千円	
目的	北近畿の日本海に面する自治体5市で「若狭・丹後・但馬 中日本海交流会議」を開催し、中日本海地域の共通する様々な課題等について、情報交換や交流を行うもの。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>小浜市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、豊岡市の5市で、府県の枠を超えた交流・連携を促進するため「若狭・丹後・但馬 中日本海交流会議」を平成19年11月に発足。第7回目となる平成25年度の会議は当市で開催し、中日本海地域の共通する課題について意見交換を行い、共同アピールを採択した。（5市の持ち回りで年1回開催）</p> <p>○会場借上料 18千円</p> <p>開催日：平成25年11月18日</p> <p>会 場：プラザホテル吉翠苑</p> <p>出席者：小浜市長、舞鶴市長、宮津市長、京丹後市長、豊岡市長 オブザーバー（敦賀市）</p> <p>随行者、事務局 計 17人</p> <p>内 容：（1）各市の取り組み内容の発表 〈テーマ〉 「中日本海地域を取り巻く社会基盤の整備に伴う『北近畿新時代』における当該地域の活性化について（観光振興・地域経済の活性化などについて）」</p> <p>（2）意見交換 （3）共同アピール採択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光のまちづくりを強化し、交流人口の拡大を図る。 ・6次産業化や農商工・観環連携を推進し、更なる地域産業の活性化を図る。 ・社会基盤整備について、国・府県等関係機関に強く働きかける。 				
主な財源					
評価・課題等	日本海中部に位置するという共通性を持つ5市が、地域の情報交換・相互交流を行い、共通する地域課題について議論を深め、共同アピールとして表明することができた。				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	07総合計画策定事業
細事業名	01 第2次総合計画策定事業			決算書 P.86
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,447千円	2,476千円	29千円	98.8%	4,106千円
目的	第1次総合計画が平成26年度で終了するため、新たな京丹後市のまちづくりビジョンとして第2次総合計画を策定し、市民が将来に明るい展望が持てるまちづくりを進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>第2次京丹後市総合計画の策定方針の検討、市民アンケートの実施、総合計画審議会での基本構想原案等に係る協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 68千円 <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画審議会委員報酬(4,000円×17人×1回) 68千円 ○旅費 40千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償(審議会委員費用弁償) 32千円 ・普通旅費(審議会委員との協議のための職員旅費) 8千円 ○需用費 22千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(アンケート宛名ラベル代) 11千円 ・印刷製本費(総合計画アンケート返信用封筒) 11千円 ○役務費 307千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費(総合計画市民アンケート)対象:3,200人 307千円 ※有効回収数1,004人、回収率31.4% ○委託料 2,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画策定業務委託料 2,000千円 ※平成26年度までの2か年事業(総額 3,950千円) ○使用料及び賃借料 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路、駐車場使用料(審議会委員、委託業者との協議) 10千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○第2次総合計画策定業務を委託するとともに、総合計画策定のための市民アンケートを実施し、市民のニーズを調査したことで、基本構想(素案)の方向性を確認した。</p> <p>○第1次総合計画の総括の上、本市の課題に的確に対応する計画策定を行う必要がある。</p>			
事業所管課	企画総務部/企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	10丹後建国1300年記念事業
細事業名	01 丹後建国1300年記念事業			決算書 P.86
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,180千円	7,267千円	87千円	98.8%	8,340千円
目的	丹後建国1300年を振り返り、丹後地域の宝を掘り起し、まちづくりや観光振興につながる3市2町の丹後地域一体となった取り組みを実施し、丹後地域の魅力を発信する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>3市2町の実行委員会の丹後建国1300年記念事業と連携し、市としても観光誘客を図るためのツアーの商品開発や地域の魅力づくり、記念展示、市民の方が歴史を学ぶシンポジウムの開催などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○丹後建国1300年記念事業実行委員会負担金 760千円 実行委員会構成員数:23団体 シンポジウムの開催、書籍「丹後王国物語」作成、観光誘客事業などを実施 <実施事業> ○1300年記念・丹後探検ウィーク【商工振興課】 533千円 1300年記念にちなんだ特産品コンテスト、特産品PRのための大試食会、特産品販売店への訪問を促進する取組の実施。 ○丹後ちりめんの伝統・文化のPR【商工振興課】 696千円 「丹後小町踊り子隊」の活動支援による丹後ちりめんのPR ○丹後建国1300年ツアー開発及び誘客【観光振興課】 2,000千円 中京圏をターゲットに観光ツアーを造成販売(販売実績3,243人) ○古代米及び稲作発祥の地PR【スポーツ観光・交流課】 897千円 月の輪田での田植え・稲刈り体験等のイベントを実施し、稲作発祥の地をPR ○丹後建国1300年記念シンポジウム【文化財保護課】 1,012千円 「丹後国風土記の世界を旅する」シンポジウムを開催し記録集を刊行 ○埴輪製作プロジェクト【文化財保護課】 266千円 丹後国から出土した埴輪を製作(約80個)し丹後古代の里資料館など3会場で展示 ○丹後古代の里資料館特別展示【文化財保護課】 1,016千円 「丹後王国の世界」「松井康之と久美浜」などの特別展を開催 ※松井康之(1550年~1612年) 細川家家老として久美浜を治め、久美浜の基礎をつくった人物 			
主な財源	府補 未来づくり交付金(丹後建国1300年記念事業)			270千円
	諸収入 シンポジウム助成金			1,000千円
評価・課題等	<p>○古代丹後王国をテーマとした冊子「丹後王国物語」の作成や配布、シンポジウムや特別展示の開催、稲作発祥の地など丹後の歴史や伝説を発信したことで、市民が地域の資源を再発見・再認識するきっかけになるとともに、当該資源をまちづくりに活かす気運を生み出すことができ、今後の地域づくりにつなげていくことができた。</p> <p>○3市2町の事業として歴史に基づく丹後の魅力を発信することができた。</p>			
事業所管課	企画総務部/企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	11幸福度指標・事業調査検討事業
細事業名	01 幸福度指標・事業調査検討事業			決算書 P.88
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
834千円	853千円	19千円	97.7%	2,356千円
目的	市民が幸福を感じるモノ、コトについて調査、研究を行い、幸福度指標の研究など、市民総幸福の最大化を目指したまちづくを進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「市民幸せ度アンケート」を実施し、2回の研究会を開催するとともに、他の自治体（55団体）と「幸せリーグ」を組織し、幸福のまちづくりの検討を行った。</p> <p>○幸福のまちづくり研究会（委員数：10人） 153千円 ・委員謝金（学識経験者） 70千円 （14,000円×2人+7,000円×1人）×2回 ・委員費用弁償（学識経験者） 83千円</p> <p>○市民幸せ度アンケート実施 434千円 ・消耗品費（宛名ラベル代） 10千円 ・印刷製本費（返信用封筒） 19千円 ・通信運搬費（対象人数：3,200人） 405千円 ※有効回収数1,292人、回収率40.4%</p> <p>○その他 247千円 ・職員旅費（幸せリーグ、研究会委員との協議） 217千円 ・有料道路通行料（研究会委員との協議） 30千円</p> <p><住民の幸福実感向上を目指した基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）> 自治体同士が互いに学び合い、切磋琢磨しながら、行政運営の一層のレベルアップを図ることで、誰もが幸福を実感できる地域社会を築いていくとともに、このムーブメントを全国に広め、地方自治の改革につなげていく。 ・住民の幸福実感向上を目指した政策などについて、情報及び意見の交換を行う ・検討内容などを発信し、全国の自治体への効果の波及と互いのレベルアップを図る ・調査研究や意見交換、交流を通じて参加自治体の職員の育成を図る</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○「市民幸せ度アンケート」を実施し市民の幸せに対するニーズや意識を把握することにより、市民の幸福度指標を検討する土台を作ることができた。</p> <p>○全国の他自治体と、「幸せリーグ」を組織し、幸福のまちづくりについて自治体間で相互に学び合い、高め合うための土台を作ることができた。</p>			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	12水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例等検討事業
細事業名	01 水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例等検討事業			決算書 P.88
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市		計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
133千円	134千円	1千円	99.2%	623千円
目的	コミュニティビジネスを推進するための支援策などを調査研究することで、条例の制定及びコミュニティビジネス支援方策を検討し、地域及び集落の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>コミュニティビジネスの手法を活用した支援条例や支援施策などを調査研究するため、学識経験者や関係団体、市の関係課で組織する検討会を開催し、条例の制定及びコミュニティビジネス支援方策の検討を行った。</p> <p>○水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例検討会 委員17人 127千円 ・委員謝金（学識経験者 3回） 56千円 ・委員費用弁償（学識経験者 3回） 60千円 ・職員旅費（委員との事前協議） 11千円</p> <p>○関係団体（70団体）へのアンケート 6千円 ・通信運搬費 6千円 ※自治区、NPO法人、商店街、任意団体等にアンケートを実施</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○検討会の検討結果を基に、コミュニティビジネス支援制度の内容を検討し、京丹後市コミュニティビジネス応援条例（平成26年3月31日公布、4月1日施行）を制定することができた。</p> <p>○本条例に基づき、コミュニティビジネスの創業を推進していく必要がある。</p>			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	14花いっぱい運動推進事業		
細事業名	01 花いっぱい運動推進事業			決算書	P.90	
総合計画	基本方針	V パートナースィップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
248千円	251千円	3千円	98.8%	328千円		
目的	京丹後市の豊かな自然環境を活用し、河川沿いに木や花を植樹・植栽し、市民とともに花いっぱい運動を推進していく。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「花いっぱい運動推進検討会」(10団体)を開催(3回)し、河川沿いや市域一体における花いっぱい運動の推進を検討するとともに、花いっぱい運動を実施している活動団体を対象としたワークショップを開催し、情報交換やネットワークづくりを進めた。</p> <p>○報償費 70千円 ・花いっぱい運動アドバイザー等(ワークショップ、検討会) 70千円 (14,000円×1人×5回)</p> <p>○費用弁償 178千円 ・花いっぱい運動アドバイザー等 178千円</p>					
主な財源	諸収入 地域づくりアドバイザー-事業助成金			164千円		
評価・課題等	○竹野川沿い国道482号線及び府道網野岩滝線への植栽について、京都府地域主導型公共事業の採択を受け、府・市・地域の協働による植栽・管理の枠組みが整った。 ○花いっぱい運動活動団体による、ネットワークを上げることができた。 ○継続的な取組となるよう、花いっぱい運動の活動団体を増やしていく必要がある。					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	14花いっぱい運動推進事業		
細事業名	01 花いっぱい運動推進事業(繰越)			決算書	P.90	
総合計画	基本方針	V パートナースィップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額		
498千円	566千円	68千円	87.9%	566千円		
目的	京丹後市の豊かな自然環境を活用し、河川沿いに木や花を植樹・植栽し、市民とともに花いっぱい運動を推進していく。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>花いっぱい運動推進事業に係る植栽計画を作成した。</p> <p>○委託料 498千円 ・植栽計画作成業務委託料 498千円</p> <p>府地域主導型公共事業に申請し、竹野川沿い国道482号への植栽事業の採択を受けた。(平成25年10月)</p>					
主な財源						
評価・課題等	○竹野川沿い国道482号への植栽について、京都府地域主導型公共事業の採択を受け、府・市・地域の協働による植栽・管理の枠組みが整った。 ○継続的な取組となるよう、花いっぱい運動の活動団体を増やしていく必要がある。					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	15無作為抽出型公募登録事業
細事業名	01 無作為抽出型公募登録事業			決算書 P.90
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
302千円	393千円	91千円	76.8%	0千円
目的	審議会等の市民委員を公募し、これまで市政に参加する機会の少なかった市民からも広く意見を伺い、各施策に反映させることを目的とする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>無作為に抽出した18歳以上の市民3,200人を対象に、審議会等の市民委員候補者登録名簿への登録希望を照会するとともに、無作為抽出者以外の市民に対する機会の公平性を確保するため一般公募もあわせて行い、原則として当該名簿の中から審議会等の市民委員を選任する。(名簿有効期間：平成25年9月1日～平成27年8月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査用郵送代 (3,200通) 276千円 ○返送用郵送代 (88通) 8千円 ○返送用封筒印刷代 (3,200通) 11千円 ○返送用封筒宛名ラベル代 (200枚) 7千円 <p>(参考) 公募登録者の就任先審議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市行財政改革推進委員会 (3人) ・京丹後市総合計画審議会 (2人) ・京丹後健康と福祉のまちづくり審議会 (1人) ・京丹後市駅の愛称選定委員会 (2人) 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○72人から審議会等委員候補者名簿への登録希望があり、8人が審議会等の委員に就任した。(平成26年3月31日現在)</p> <p>○さらに審議会等への市民参加の機会確保に努める必要がある。</p>			
事業所管課	企画総務部/企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	16松本重太郎100年記念・総合調査ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ						
細事業名	01 松本重太郎100年記念・総合調査ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			決算書 P.90						
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
15千円	1,550千円	1,535千円	0.9%	0千円						
目的	京丹後市(丹後町間人)出身の松本重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究することにより、新たな京丹後市の発信や商工業の連携、ネットワークの形成を図る。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市出身の偉人である松本重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究するため、有識者と協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員旅費 2千円 ○有料道路通行料 13千円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>30.0%</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本重太郎調査研究業務委託料 1,500千円 (契約期限：平成26年8月完成) 				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	50千円		実質的な執行率	30.0%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	50千円								
	実質的な執行率	30.0%								
主な財源										
評価・課題等	<p>○松本重太郎翁の功績や起業精神などをまとめた資料がない中で、有識者等と協議を重ね、松本重太郎の功績等に係る調査・研究業務にとりかかった。</p> <p>○当該調査・研究結果を活用し、新たな京丹後市の発信や商工業の連携、ネットワークの形成を図る。</p>									
事業所管課	企画総務部/企画政策課									

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	02地域公共ネットワーク運営事業	
細事業名	01 地域公共ネットワーク運営事業			決算書	P.92
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	◎ 地域情報化の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
42,725千円	42,741千円	16千円	99.9%	47,970千円	
目的	庁舎、小中学校、集会・観光施設などを光ファイバ網で結び、ネットワークの安定した運用により、施設間の情報通信及びインターネットを通じた市内外への情報発信を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>セキュリティ対策等でクラウドサービス（自己導入システムではなくインターネット等を通じた民間提供サービス）を利用しながら、地域公共ネットワークの維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○光ファイバ網維持管理費 2,392千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関電柱及びNTT柱架設料(1,577本)、自営柱土地借上料(14か所) 2,119千円 ・ 光ファイバ網及び情報通信機器にかかる建物共済分担金 273千円 ○情報通信機器運用費 8,128千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ サーバ、通信機器等の保守委託料(41台) 7,711千円 ・ 無停電電源装置本体及びバッテリー交換(5台) 131千円 ・ 機器修繕料(無停電電源装置1台、通信装置1台、空調機1台) 40千円 ・ 機器購入費(通信機器2台、テレビ会議用机1台、ディスプレイ台2台) 147千円 ・ ライブカメラ修繕料及び清掃委託料 99千円 ○インターネット接続及びクラウドサービス利用料 32,058千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都デジタル疎水への接続回線使用料 1,307千円 ・ インターネットプロバイダ利用料 6,359千円 ・ インターネット接続機能クラウドサービス利用料 19,967千円 (外部サーバとの通信接続、ウイルスチェック、迷惑メール対策等) ・ メール配信サービス利用料 236千円 ・ テレビ会議システム利用料 252千円 ・ インターネットからの不正アクセス対策サービス利用料 3,792千円 ・ 市ホームページの暗号化通信サービス利用料 145千円 ○その他 147千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動通信用施設土地借上料(携帯電話基地局6か所) 10千円 ・ 情報システム消耗品(通信ケーブル、事務用品ほか) 127千円 ・ 地域情報化関係会議旅費 10千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○地域公共ネットワークの維持管理により、庁舎を含めた市の施設間の高速度大容量の情報通信が確保でき、インターネットを通じた電子自治体の推進と市からの情報発信へ大きく寄与するとともに、市民サービスの向上につながっている。</p> <p>○地域公共ネットワークに接続する観光施設で、公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスを提供し、来訪者の利便性を向上する必要がある。</p> <p>○セキュリティ対策では、現状分析と新技術の導入等により安全水準を維持する必要がある。</p>				
事業所管課	企画総務部/情報政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	03市ホームページ運用管理事業	
細事業名	01 市ホームページ運用管理事業			決算書	P.92
総合計画	基本方針	V パートナシップ都市		計画項目	◎ 協働と共創のまちづくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
1,271千円	1,295千円	24千円	98.1%	1,399千円	
目的	ホームページやプラズマディスプレイなどメディア媒体を利用して、市政情報や地域情報などを市内外へ発信する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 13千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ活用研修 ○需用費 18千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ参考図書、映像記録メディア ○委託料 720千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページコンテンツ管理システム年間保守 420千円 ・ 広報紙等デジタルブック変換業務 111千円 ・ ホームページシステム改修業務 189千円 ○使用料及び賃借料 520千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声読み上げ機能ソフト年間使用料 331千円 ページ内の文字情報などを音声変換し読み上げるソフトウェア ・ Web自動翻訳サービス使用料 189千円 ホームページの翻訳機能(英語・中国語・韓国語) 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○ホームページに英語、中国語、韓国語の翻訳機能や音声読み上げ機能を付け、より多くの方に情報を伝える環境を整えることができた。</p> <p>○ホームページコンテンツ管理システムを利用し、ホームページ管理課によるアクセシビリティ(高齢者、障害者に対するホームページ設計基準が満たされているか)等のチェックが図れた。</p> <p>○機器管理について、ホームページ運用の軸となるハード機器の耐用年数が迫っているため、機器更新を検討していく必要がある。</p>				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	05ブロードバンドネットワーク運営事業						
細事業名	01ブロードバンドネットワーク運営事業			決算書 P.92						
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	㊟ 地域情報化の推進							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額						
341,131千円	348,615千円	7,484千円	97.8%	283,463千円						
目的	情報通信施設の維持管理と設備追加等により、光インターネット及びケーブルテレビを市内全域で安定して利用できるようにする。また、ケーブルテレビで市政番組の放送、市議会中継を行う。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>光ケーブル架設柱の移転に伴う幹線及び引込線の移設や障害発生時の復旧作業、新規申込への引込工事、サービス追加申込への接続工事を実施した。また、ケーブルテレビの11チャンネルでは、市からのお知らせ番組等の制作・放送、市議会の生中継・録画放送を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝送路設備等維持管理費 108,703千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光ケーブル架設柱（18,713本）及び地下管路（8か所）使用料 24,500千円 ・光ファイバ網保守委託料（障害復旧作業、線路情報管理等） 72,198千円 ・架設柱支障移転に伴う光ケーブルの移設委託料 11,007千円 ・情報通信基盤施設に対する損害保険料 998千円 ○センター及びサブセンター施設維持費 24,514千円 <ul style="list-style-type: none"> ・センター及びサブセンター施設保守料（NTT局舎8か所） 14,249千円 ・簡易局舎維持費（土地借上料、電気料金、エアコン修繕費等） 1,768千円 ・ケーブルテレビ放送伝送設備保守料 8,497千円 ○設備の追加・変更工事費 182,738千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光ケーブル引込工事（新規788戸、サービス追加194戸） 166,805千円 ・ケーブルテレビ加入者宅工事（132戸） 4,519千円 ・引込位置変更等による光ケーブル移設委託料 10,710千円 ・幹線光ケーブル改修工事（1か所） 704千円 ○ケーブルテレビ（11チャンネル）放送番組制作費等 25,176千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市政番組等制作及び放送委託料、市議会生中継放送委託料 24,231千円 ・データ放送システム保守料、スタジオ設備設置に伴う共益費等 945千円 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>341,249千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業 7,366千円 平成26年10月完成予定 ・無電柱化（網野町浜詰）に伴う光ケーブル移設工事</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	341,249千円		実質的な執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	341,249千円								
	実質的な執行率	99.9%								
主な財源	<p>府補 未来づくり交付金（行政情報番組制作委託事業） 10,000千円 財産収入 情報通信施設貸付収入 127,608千円 繰入金 地域振興基金繰入金 11,000千円 市債 ブロードバンドネットワーク整備事業債（合併特例債） 145,100千円</p>									
評価・課題等	<p>○平成25年度末の普及率は、光インターネットが41.8%、ケーブルテレビが49.1%まで増加した。（平成24年度末普及率：光インターネット 37.8%、ケーブルテレビ 48.8%） ○ケーブルテレビの11チャンネルでは、ハイビジョン化による画質向上、番組更新期間の短縮、番組内容や番組編成の充実などにより、放送番組の魅力を高めていく必要がある。</p>									
事業所管課	企画総務部／情報政策課									

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	05ブロードバンドネットワーク運営事業
細事業名	01ブロードバンドネットワーク運営事業（繰越）			決算書 P.94
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	㊟ 地域情報化の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)繰越予算額
37,735千円	38,491千円	756千円	98.0%	38,491千円
目的	情報通信施設の維持管理と設備追加等により、光インターネット及びケーブルテレビを市内全域で安定して利用できるようにする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>光ファイバケーブルの電柱架設に関して、電柱所有者への申請・承諾に期間を要したことから繰り越しとなった引込工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○光ケーブル引込工事 37,735千円 <ul style="list-style-type: none"> ・戸建住宅等への引込 28,002千円 新規引込（146戸）、サービス追加（29戸） ・府営住宅への新規引込 9,733千円 <ul style="list-style-type: none"> 長岡団地（2棟） 湯田団地（1棟） 口大野団地（4棟） 網野団地（1棟） 角田団地（3棟） 			
主な財源	市債 ブロードバンドネットワーク整備事業債（合併特例債） 32,000千円			
評価・課題等	3階建以上の府営住宅においても、光インターネットの利用が可能となった。			
事業所管課	企画総務部／情報政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	09公平委員会費	01公平委員会
細事業名	01 公平委員会			決算書 P.94
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
307千円	377千円	70千円	81.4%	377千円
目的	職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し、必要な措置を執る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>勤務状況に関する措置の要求状況 なし 不利益処分に関する不服申立ての状況 なし</p> <p>○報酬（委員：3人 委員長105千円/年・委員60千円/円） 225千円</p> <p>○旅費 16千円 費用弁償（委員の通常会、各種総会及び研究会への出席旅費） 13千円 ・通常会 平成25年6月7日 ・平成25年度京都府公平委員会連合会総会及び研究会 平成25年5月22日 於：京都府亀岡市 ・平成25年度全国公平委員会連合会近畿支部総会及び研究会 平成25年7月26日 於：滋賀県大津市 普通旅費（公平委員会事務局職員の出張旅費） 3千円</p> <p>○需用費（参考図書代） 12千円</p> <p>○使用料及び賃借料 8千円 京都府公平委員会連合会総会及び全国公平委員会連合会近畿支部総会への参加に係る有料道路通行料</p> <p>○負担金 46千円 全国公平委員会連合会負担金 31千円 全国公平委員会連合会近畿支部負担金 12千円 京都府公平委員会連合会負担金 3千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○通常会で市の職員の給与や時間外勤務の状況等について、委員へ説明を行うことで、市の状況に対する理解を深めることができた。</p> <p>○各種総会にも積極的に参加し、他市の状況等について学ぶことで、委員と職員の業務に関する知識を深めることができた。</p>			
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	01自治組織支援事業																																												
細事業名	01 自治組織活動支援事業			決算書 P.94																																												
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市		計画項目	① 地域コミュニティの強化																																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																												
128,922千円	128,975千円	53千円	99.9%	128,975千円																																												
目的	自治会活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進し、住みよい地域社会を実現する。																																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○地域振興交付金（地域振興交付金交付要綱） 125,973千円 〔算出方法〕 20,000円(均等割) × 地区数 + 5,400円(世帯割) × 世帯数(前年10月1日)</p> <table border="1"> <tr><td>峰山町域</td><td>37区</td><td>5,079世帯</td><td>28,167千円</td></tr> <tr><td>大宮町域</td><td>16区</td><td>4,109世帯</td><td>22,509千円</td></tr> <tr><td>網野町域</td><td>46区</td><td>5,308世帯</td><td>29,583千円</td></tr> <tr><td>丹後町域</td><td>31区</td><td>2,397世帯</td><td>13,564千円</td></tr> <tr><td>弥栄町域</td><td>24区</td><td>1,968世帯</td><td>11,107千円</td></tr> <tr><td>久美浜町域</td><td>71区</td><td>3,634世帯</td><td>21,043千円</td></tr> <tr><td>計</td><td>225区</td><td>22,495世帯</td><td>125,973千円</td></tr> </table> <p>○区長連絡協議会運営事業交付金 2,800千円 〔配分方法〕 (2,800千円 - 200千円(市区長連絡協議会)) × 世帯割合(前年10月1日)</p> <table border="1"> <tr><td>峰山町峰山地区区長会・峰山町区長協議会</td><td>587千円</td></tr> <tr><td>大宮町区長協議会</td><td>475千円</td></tr> <tr><td>網野町区長連絡協議会</td><td>614千円</td></tr> <tr><td>丹後町区長連絡協議会</td><td>277千円</td></tr> <tr><td>弥栄町区長連絡協議会</td><td>227千円</td></tr> <tr><td>久美浜町区長連絡協議会</td><td>420千円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,600千円</td></tr> <tr><td>市区長連絡協議会</td><td>200千円</td></tr> </table> <p>○市民局等職員旅費 149千円 各町及び市区長連絡協議会視察随行（1泊2日 延べ10人、日帰り 延べ10人）</p>				峰山町域	37区	5,079世帯	28,167千円	大宮町域	16区	4,109世帯	22,509千円	網野町域	46区	5,308世帯	29,583千円	丹後町域	31区	2,397世帯	13,564千円	弥栄町域	24区	1,968世帯	11,107千円	久美浜町域	71区	3,634世帯	21,043千円	計	225区	22,495世帯	125,973千円	峰山町峰山地区区長会・峰山町区長協議会	587千円	大宮町区長協議会	475千円	網野町区長連絡協議会	614千円	丹後町区長連絡協議会	277千円	弥栄町区長連絡協議会	227千円	久美浜町区長連絡協議会	420千円	計	2,600千円	市区長連絡協議会	200千円
峰山町域	37区	5,079世帯	28,167千円																																													
大宮町域	16区	4,109世帯	22,509千円																																													
網野町域	46区	5,308世帯	29,583千円																																													
丹後町域	31区	2,397世帯	13,564千円																																													
弥栄町域	24区	1,968世帯	11,107千円																																													
久美浜町域	71区	3,634世帯	21,043千円																																													
計	225区	22,495世帯	125,973千円																																													
峰山町峰山地区区長会・峰山町区長協議会	587千円																																															
大宮町区長協議会	475千円																																															
網野町区長連絡協議会	614千円																																															
丹後町区長連絡協議会	277千円																																															
弥栄町区長連絡協議会	227千円																																															
久美浜町区長連絡協議会	420千円																																															
計	2,600千円																																															
市区長連絡協議会	200千円																																															
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金			98,000千円																																												
	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			27,600千円																																												
評価・課題等	<p>○市からの照会事務や依頼に基づく文書配付などの取扱事務、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域コミュニティ活動等に対し交付金を交付することにより、自治会活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進することができた。</p> <p>○補助金等の見直しの実施に当たり、交付金の在り方についてまちづくり委員会に諮問、答申を受けた（この答申に沿い、平成26年度から要綱改正）。</p>																																															
事業所管課	市民部/市民協働課																																															

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	01自治組織支援事業																	
細事業名	02 水と緑の里活性化事業			決算書	P.94																
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																	
1,452千円	1,538千円	86千円	94.4%	3,871千円																	
目的	人口減少や高齢化等により自治機能が低下しつつある小規模高齢化集落において、最低限の自治機能を維持することにより、主体的な集落自治を可能とし地域の発展に資する。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○水と緑の里づくり支援員設置経費 1,442千円 支援員報酬：5人、延べ365日活動 1,349千円 (基本月額15,000円、業務従事1日につき1,600円を加算) 費用弁償 93千円</p> <p>《活動地域》 中山間地域に位置し、小規模で自治機能が低下しつつある集落(世帯数が概ね10戸未満「H24.10.1現在」)で支援員の配置を希望する集落</p> <table border="1"> <tr> <th>町域</th> <th>対象集落(17集落)</th> <th>うち配置集落(6集落)</th> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>仲禅寺、日和田、溝野</td> <td>仲禅寺</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>牧ノ谷、井上、井谷、畑、上山</td> <td>井谷</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>田中、中山、須川、味土野、大谷、来見谷、霞</td> <td>中山、味土野、大谷</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>奥山、坂谷</td> <td>奥山</td> </tr> </table> <p>《活動内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任する集落の目配り、逐次の集落巡回及びその状況の把握 ・非常時、緊急時等における関係機関との連絡、援助 ・集落住民の意見集約 ・担任する集落点検の実施、集落での話し合いの促進、将来に向けた集落ビジョンの作成支援等 ・集落住民が主体的に行う集落振興施策への協力など <p>○全国水源の里連絡協議会負担金 10千円</p>						町域	対象集落(17集落)	うち配置集落(6集落)	網野町	仲禅寺、日和田、溝野	仲禅寺	丹後町	牧ノ谷、井上、井谷、畑、上山	井谷	弥栄町	田中、中山、須川、味土野、大谷、来見谷、霞	中山、味土野、大谷	久美浜町	奥山、坂谷	奥山
	町域	対象集落(17集落)	うち配置集落(6集落)																		
網野町	仲禅寺、日和田、溝野	仲禅寺																			
丹後町	牧ノ谷、井上、井谷、畑、上山	井谷																			
弥栄町	田中、中山、須川、味土野、大谷、来見谷、霞	中山、味土野、大谷																			
久美浜町	奥山、坂谷	奥山																			
主な財源																					
評価・課題等	<p>○集落への目配りや集落巡回、集落振興策の実施協力(仲禅寺区の仁王サミット、中山区の地のやさい直売所「にこにこや」の設置)などの支援活動を行い、地域の発展に資することができた。</p> <p>○集落戸数の減少により、集落維持自体が困難な地域も今後増加することが予想されるため、過疎・高齢化集落を対象とした里の人づくり事業などの他の施策と、制度の枠を超えて連携していく必要がある。</p>																				
事業所管課	市民部/市民協働課																				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業																																																		
細事業名	01 市民力活性化推進プロジェクト事業補助金			決算書	P.96																																																	
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進																																																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																		
3,529千円	3,626千円	97千円	97.3%	7,000千円																																																		
目的	地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みを行う団体の活動支援を行い、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図る。																																																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○市民力活性化推進プロジェクト事業補助金 3,529千円</p> <p>“市民力”を活かしたまちづくりを進めるため、地域の活力向上や課題解決を目的に取り組みを行う団体に補助金を交付した。</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動の種類</th> <th>団体名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域福祉</td> <td>みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>京丹後市アマチュア無線災害ボランティア</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成</td> <td>丹後読み聞かせ実行委員会</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">産業経済振興</td> <td>野間連合区</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>茜色の祭実行委員会</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>ベンチャーアミノ21</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>久美浜まるごとプロデュース協議会</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・芸術振興</td> <td>丹後スポーツ障害事業実行委員会</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">伝統文化継承</td> <td>久美浜一区自治振興会</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td>芋野郷 赤米保存会</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>二箇区「月の輪田」保存会</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>丹波の文化を伝承する会</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東日本大震災支援</td> <td>ゆるポラ丹後の会</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>NPO法人音楽のまちづくり</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>食と健康</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>みどりの会</td> <td>464</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>16団体</td> <td>3,529</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>						活動の種類	団体名	補助金額	地域福祉	みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会	66	京丹後市アマチュア無線災害ボランティア	360	青少年健全育成	丹後読み聞かせ実行委員会	216	産業経済振興	野間連合区	111	茜色の祭実行委員会	111	ベンチャーアミノ21	66	久美浜まるごとプロデュース協議会	111	スポーツ・芸術振興	丹後スポーツ障害事業実行委員会	289	伝統文化継承	久美浜一区自治振興会	393	芋野郷 赤米保存会	41	二箇区「月の輪田」保存会	31	丹波の文化を伝承する会	100	東日本大震災支援	ゆるポラ丹後の会	329	NPO法人音楽のまちづくり	500	食と健康	341	みどりの会	464	合計		16団体	3,529			
	活動の種類	団体名	補助金額																																																			
地域福祉	みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会	66																																																				
	京丹後市アマチュア無線災害ボランティア	360																																																				
青少年健全育成	丹後読み聞かせ実行委員会	216																																																				
産業経済振興	野間連合区	111																																																				
	茜色の祭実行委員会	111																																																				
	ベンチャーアミノ21	66																																																				
	久美浜まるごとプロデュース協議会	111																																																				
スポーツ・芸術振興	丹後スポーツ障害事業実行委員会	289																																																				
伝統文化継承	久美浜一区自治振興会	393																																																				
	芋野郷 赤米保存会	41																																																				
	二箇区「月の輪田」保存会	31																																																				
	丹波の文化を伝承する会	100																																																				
東日本大震災支援	ゆるポラ丹後の会	329																																																				
	NPO法人音楽のまちづくり	500																																																				
	食と健康	341																																																				
	みどりの会	464																																																				
合計		16団体	3,529																																																			
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金 3,112千円																																																					
評価・課題等	<p>○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取り組みに対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。</p> <p>○事業への申請数が増加の傾向にあり、限られた予算の中で採択件数を増加させるために、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金との併用申請を可能とし、補助率及び補助限度額等を改正し補助金の抑制を図った。</p>																																																					
事業所管課	市民部/市民協働課																																																					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業
細事業名	02 市民協働のまちづくり事業補助金			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
15,251千円	15,252千円	1千円	99.9%	16,000千円

目的 地区等が行う地区所有施設の整備や村おこし・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○市民協働のまちづくり事業補助金（地域振興対策事業補助金） 15,251千円

地区等が行う地域振興対策事業のうち、地区が所有する施設及び設備の整備に要する経費（1件あたりの事業費が30千円以上1,000千円未満のもの）や村おこし・地域づくり事業（1件あたりの事業費が30千円以上のもの）、その他事業（府民運動継続事業、緊急を要する事業及びその他地域の課題解決のために必要な経費）に対し補助金を交付した。

(単位：件、千円)

区分	地区所有施設整備		村おこし・地域づくり		その他		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
峰山市民局	18	1,366	3	133	5	124	26	1,623
大宮市民局	22	1,800	0	0	0	0	22	1,800
網野市民局	31	2,645	3	460	0	0	34	3,105
丹後市民局	23	2,312	0	0	0	0	23	2,312
弥栄市民局	19	1,677	0	0	2	479	21	2,156
久美浜市民局	26	4,204	2	51	0	0	28	4,255
合計	139	14,004	8	644	7	603	154	15,251

(参考) 市民協働のまちづくり事業補助金の交付実績 (単位：件、千円)

区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24
件数	131	135	149	147	181	181
金額	17,871	16,807	17,623	17,599	18,964	17,517

主な財源 府補 未来づくり交付金（市民協働のまちづくり事業補助金） 7,000千円
繰入金 地域振興基金繰入金 7,000千円

評価・課題等 ○地区等が行う1,000千円未満の地区所有施設の整備等に対して、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながる支援を迅速に行うことができた。
○補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながっている。

事業所管課 市民部/市民協働課/各市民局

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業
細事業名	03 地域まちづくり計画策定事業補助金			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
282千円	282千円	0千円	100.0%	800千円

目的 地域の将来に関する目標、方針、施策、実施計画等を定める「地域まちづくり計画」の策定に取り組む地区等を支援し、地域の健全な発展と自治の振興を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○地域まちづくり計画策定事業補助金（地域振興対策事業補助金） 282千円

地区等が行う地域振興対策事業のうち、「地域まちづくり計画」の策定に取り組む地区等に補助金を交付した。

(単位：千円)

区分	地区等	計画調査	計画策定	合計
久美浜町	田村地区活性化協議会	-	100	100
	川上地区自治振興会	-	82	82
	浜詰区	-	100	100
合計		0	282	282

〔補助対象経費〕
「地域まちづくり計画」の調査事業及び策定事業の実施に必要な経費
(報償費、旅費、費用弁償、消耗品費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、使用料及び賃借料)

〔補助率等〕
補助対象経費の3分の2以内の額（100千円を限度）

「地域まちづくり計画」の策定状況

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	合計
1件	4件	7件	2件	8件	22件
-	1件	1件	1件	5件	8件

下段は、本補助金の活用以外で策定された「地域まちづくり計画」

主な財源

評価・課題等 ○計画策定により地域ビジョンが示され、自立的、主体的なまちづくりの推進が図れた。
○地域にぎわい創り推進員による策定支援により、「地域まちづくり計画」の策定をさらに進める必要がある。

事業所管課 市民部/市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業		
細事業名	04 地域集会施設整備費補助金			決算書 P.96		
総合計画	基本方針 V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
38,531千円	38,552千円	21千円	99.9%	38,552千円		
目的	活動の拠点となる地区所有集会施設の整備に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○集会施設等整備事業補助金（地域振興対策事業補助金） 38,531千円 地区等が行う地域振興対策事業（新築、増築、購入、改築及び修繕）のうち、新築及び修繕に対して補助金を交付した。					
	(単位：千円)					
	区分	町名	地区等	事業内容	総事業費	補助金額
新築		弥栄町	井辺区	井辺区公民館新築 (木造瓦葺平屋建、床面積 221.50㎡)	36,950	17,410
		久美浜町	畑区	畑区公民館新築 (木造瓦葺平屋建、床面積 156.78㎡)	27,300	17,788
修繕		峰山町	安区	安区公民館便所改修	1,365	455
		網野町	網野連合区	長田区児童遊園地フェンス 改修	1,225	408
		久美浜町	口三谷区	口三谷公民館浄化槽接続及 びトイレ等改修、内壁改修	3,465	1,732
		久美浜町	出角区	出角公民館屋根改修	1,329	738
	合計				71,634	38,531
主な財源	府補 未来づくり交付金（地域集会施設整備費補助金）			19,000千円		
	繰入金 地域振興基金繰入金			19,000千円		
評価・課題等	地区等が行う地区所有集会施設の新築及び修繕事業に対して補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながっている。					
事業所管課	市民部/市民協働課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業
細事業名	05 自治宝くじコミュニティ助成金			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%	0千円
目的	財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業を活用し、地区等が行うコミュニティ備品等の整備を支援することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○自治宝くじコミュニティ助成金（地域振興対策事業補助金） 10,000千円 地区等が行う地域振興対策事業のうち、一般財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業の対象となる事業に対し、同センターが定める額を交付した。（4件）			
	(単位：千円)			
	事業実施団体	事業内容	総事業費	助成金額
	峰山町新町区	祭用備品整備 (花屋台の修繕)	3,140	2,500
	網野町遊区	コミュニティ備品及び祭用備品整備 (会議用テーブル、椅子、パソコン、カメラ、テレビ、エアコン、宮太鼓修理・旗制作ほか)	2,529	2,500
	丹後町谷内区	祭用備品整備 (屋台の制作)	2,520	2,500
	弥栄町木橋区	コミュニティ備品整備 (アンプレット、エアコン、テレビ、プロジェクター、プリンター、除雪機、発電機ほか)	2,504	2,500
	合計		10,693	10,000
主な財源	諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金（一般コミュニティ事業 10/10）			10,000千円
評価・課題等	○地区等が行うコミュニティ備品の整備に対して、一般財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業を活用し、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながる支援を行うことができた。 ○今後においても、地区等からの要望に基づき、一般財団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を要望していくこととしている。			
事業所管課	市民部/市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業	
細事業名	06 地域にぎわい創出事業			決算書	P.96
総合計画	基本方針	V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
8,838千円	8,840千円	2千円	99.9%	9,953千円	
目的	全市民局に「地域にぎわい創出推進員」1人を設置し、地域ににぎわいを創出し良好な地域社会の形成及び振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○地域にぎわい創出推進員設置経費（6人、12か月分） 8,838千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃金 7,592千円 ・共済費（社会保険料、雇用保険料） 1,246千円 <p>○職務内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)地域まちづくり計画の策定推進に関する事 (2)自主防災組織の設置促進に関する事 (3)区長連絡協議会の庶務に関する事 (4)地域の特性または特徴を活かした地域活性化の推進に関する事 (5)その他、目的を達するために市長が特に必要と認める事 <p>○任用条件等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間：週31時間以内（週5日のうち、4日勤務） ・基本賃金単価：月額6,420円 				
主な財源	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			2,600千円	
評価・課題等	<p>○推進員の配置により、地域特性を活かした各種事業に取り組み、地域まちづくり計画策定や自主防災組織設置等を推進することができた。</p> <p>○推進員は臨時的任用職員であるため、一定期間の継続任用による蓄積した人脈やノウハウの発揮、地域づくりの先導的・指導的な役割の円滑な遂行が困難であり、非常勤特別職とし、地域支援体制の一層の強化につなげることが必要である。（平成26年度から設置規則一部改正、全市民局2人体制）</p>				
事業所管課	市民部／市民協働課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	03丹後半島駅伝大会開催事業																						
細事業名	01 丹後半島駅伝大会開催事業			決算書	P.96																					
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興																						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																						
526千円	545千円	19千円	96.5%	545千円																						
目的	京都府内市町村職員の健康増進、元気回復と相互の連携を培うとともに、府民スポーツの発展と地域振興に寄与することを目的に実施する。																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>本大会は、京都市内市町村職員厚生会に加入する京都市内市町村等職員による駅伝大会。丹後町域6区間（18.5km）のコースに63チームが参加した。本大会により選手・役員等、621人が京丹後市内に宿泊した。（平成25年12月1日開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 462千円 <ul style="list-style-type: none"> 報償金（競技役員協力謝金） 169千円 報償物品（参加賞品等） 293千円 ○需用費 24千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（豚汁容器代他） 22千円 燃料費（プロパンガス代） 2千円 ○使用料及び賃借料 40千円 <ul style="list-style-type: none"> スタート地点・各中継所（土地家屋借上料） <p>※ 過去の大会の実績 (単位：チーム、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加チーム</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>宿泊者数</td> <td>535</td> <td>517</td> <td>559</td> <td>561</td> <td>533</td> <td>621</td> </tr> </tbody> </table>						H20	H21	H22	H23	H24	H25	参加チーム	53	53	54	58	56	63	宿泊者数	535	517	559	561	533	621
	H20	H21	H22	H23	H24	H25																				
参加チーム	53	53	54	58	56	63																				
宿泊者数	535	517	559	561	533	621																				
主な財源	諸収入 丹後半島駅伝大会協力金			396千円																						
評価・課題等	<p>○本大会の開催に伴い、選手・役員他の宿泊等によって地域経済への波及効果と地域活性化に寄与できた。</p> <p>○近年伸び悩んでいた参加人数が増加に転じた反面、宿泊業者数が廃業等により減少し、宿舎の確保が困難である。</p> <p>○実施主体である京都市内市町村職員厚生会をはじめ、行政、市民、観光業者が一体となって、協働により事業を進める必要がある。</p>																									
事業所管課	市民部／丹後市民局																									

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	04地域振興基金		
細事業名	01 地域振興基金			決算書	P.96	
総合計画	基本方針	V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
500,717千円	500,718千円	1千円	99.9%	500,650千円		
目的	合併特例債を活用して市民の連帯の強化及び均衡ある地域振興を図ることを目的とした地域振興基金への積立金					
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域振興基金積立金 500,000千円 ○地域振興基金積立金(利子分) 717千円 ■合併市町村の基金造成に対する財政措置 合併市町村振興基金の標準的な規模(標準基金規模)を設定し、基金積立額の目安とする。具体的には、新市町村の一体感の醸成・旧市町村単位の地域の振興という合併市町村振興基金の目的を踏まえ、合併関係市町村数、増加人口及び合併後人口の多寡に応じ、次の算式により算出される。 $(3億円 \times \text{合併関係市町村数}) + (1万円 \times \text{増加人口}) + (5千円 \times \text{合併人口})$ ただし、合併市町村振興基金の積立に際し、その必要がある場合には、算式により算出される標準基金規模の概ね5割増まで積立てを行うことができる。 ※発行限度額：3,934,700千円 H25年度末積立金累計額：3,700,000千円					
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)					
	平成24年度末 現在高 ①	平成25年度中増減額			平成25年度末 現在高 ①-②+(③+④)	
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④		
2,596,555	260,000	717	500,000	2,837,272		
(充当先)						
	・ブロードバンドネットワーク運営事業	11,000千円				
	・自治組織活動支援事業	98,000千円				
	・市民力活性化推進プロジェクト事業補助金	3,112千円				
	・市民協働のまちづくり事業補助金	7,000千円				
	・地域集会所施設整備費補助金	19,000千円		充当額合計		
	・地方バス路線運行維持対策事業ほか	121,888千円		260,000千円		
主な財源	財産収入 地域振興基金利子収入				717千円	
	市債 地域振興基金積立事業債(合併特例債)				475,000千円	
評価・課題等	/					
事業所管課	財務部/財政課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	05まちづくり委員会運営事業		
細事業名	01 まちづくり委員会運営事業			決算書	P.96	
総合計画	基本方針	V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
137千円	179千円	42千円	76.5%	179千円		
目的	市民の市政への参加を促し、自治と協働によるまちづくりを推進するため「まちづくり委員会」を設置し、市長の諮問等について調査及び審議し答申する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○まちづくり委員会開催経費(委員数：12人) 137千円 ・委員報酬(1人1回4,000円、3回開催) 120千円 任期：2年 ・費用弁償(委員会出席旅費) 17千円 ○まちづくり委員会の所掌事務 市長の諮問に応じて、自治と協働によるまちづくりを推進する施策について調査及び審議し答申するほか、次に掲げる事項について調査、協議し、必要に応じて市長に意見を述べる。 (1)公益性のある市民活動の推進策に関する事 (2)地域振興協議会及び地域まちづくり協議会からの提言に関する事 (3)地域まちづくり組織の育成、支援策に関する事 (4)地域まちづくりリーダーの育成、支援策に関する事 (5)その他市長が必要と認める事					
	主な財源					
	評価・課題等					
	市長からの諮問事項「地域振興交付金の在り方」について審議・答申した。答申では、交付金総額の維持や用途の明確化などを求めており、この答申に沿い、市では平成26年度へ向け「京丹後市地域振興交付金交付要綱」の見直しを行った。					
事業所管課	市民部/市民協働課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	06集会施設管理事業
細事業名	01 集会施設管理事業			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
188千円	189千円	1千円	99.4%	222千円

目的 活動の拠点となる市所有集会施設（指定管理施設以外の直営管理施設）の管理を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要	○市所有集会施設火災保険料（24施設） ＜指定管理施設（58施設）以外の直営施設＞	188千円

主な財源

評価・課題等 当該施設（市直営管理施設）は地元住民による利用が主であり、地区が所有管理するほう方が、地区の自主的な裁量や工夫により、地域の活性化のために活用しやすくなると考えられる。このため、「公共施設の見直し方針」に基づく「集会施設等コミュニティ施設の譲渡に関するガイドライン」により、地元区等自治会への移譲等を順次進める必要がある。

事業所管課 市民部／市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	07集会施設等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースイップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
13,927千円	13,995千円	68千円	99.5%	14,090千円

目的 地域の活動の拠点となる市所有集会施設について、地区等を指定管理者に指定して管理運営を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要	○指定管理委託料（16施設）	12,974千円																																										
		(単位：千円)																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>指定管理施設名</th> <th>金額</th> <th>町名</th> <th>指定管理施設名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町</td> <td>五十河地区基幹集落センター</td> <td>500</td> <td rowspan="10">久美浜町</td> <td>久美浜福祉センター</td> <td>1,502</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">網野町</td> <td>浜詰農業団地センター</td> <td>72</td> <td>久美浜果樹センター</td> <td>1,281</td> </tr> <tr> <td>島津勤労者と子どものセンター</td> <td>72</td> <td>久美浜農業センター</td> <td>1,890</td> </tr> <tr> <td>小浜勤労者と子どものセンター</td> <td>72</td> <td>久美浜婦人センター</td> <td>1,684</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">弥栄町</td> <td>中津・田中集会施設</td> <td>66</td> <td>久美浜林業センター</td> <td>1,211</td> </tr> <tr> <td>須川集会施設</td> <td>57</td> <td>久美浜機業センター</td> <td>1,395</td> </tr> <tr> <td>野間基幹集落センター</td> <td>140</td> <td>久美浜健康センター</td> <td>1,416</td> </tr> <tr> <td>野中集会施設</td> <td>75</td> <td>久美浜ぎょそんセンター</td> <td>1,541</td> </tr> </tbody> </table>	町名	指定管理施設名	金額	町名	指定管理施設名	金額	大宮町	五十河地区基幹集落センター	500	久美浜町	久美浜福祉センター	1,502	網野町	浜詰農業団地センター	72	久美浜果樹センター	1,281	島津勤労者と子どものセンター	72	久美浜農業センター	1,890	小浜勤労者と子どものセンター	72	久美浜婦人センター	1,684	弥栄町	中津・田中集会施設	66	久美浜林業センター	1,211	須川集会施設	57	久美浜機業センター	1,395	野間基幹集落センター	140	久美浜健康センター	1,416	野中集会施設	75	久美浜ぎょそんセンター	1,541	
町名	指定管理施設名	金額	町名	指定管理施設名	金額																																							
大宮町	五十河地区基幹集落センター	500	久美浜町	久美浜福祉センター	1,502																																							
網野町	浜詰農業団地センター	72		久美浜果樹センター	1,281																																							
	島津勤労者と子どものセンター	72		久美浜農業センター	1,890																																							
	小浜勤労者と子どものセンター	72		久美浜婦人センター	1,684																																							
弥栄町	中津・田中集会施設	66		久美浜林業センター	1,211																																							
	須川集会施設	57		久美浜機業センター	1,395																																							
	野間基幹集落センター	140		久美浜健康センター	1,416																																							
	野中集会施設	75		久美浜ぎょそんセンター	1,541																																							
	○看板書換手数料（高齢者いきいき創造センター分）	3千円																																										
	○指定管理施設火災保険料（上記を含む58施設）	730千円																																										
	○指定管理施設修繕料	220千円																																										
		(単位：千円)																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>指定管理施設名</th> <th>修繕内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町</td> <td>五十河地区基幹集落センター</td> <td>トイレタイル補修</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">弥栄町</td> <td rowspan="4">野間基幹集落センター</td> <td>浄化槽仕切り板漏水箇所修繕</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>調理室シンク排水金具修繕</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>外部手洗い場給水管漏水修繕</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>トイレ換気扇取替修繕</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>	町名	指定管理施設名	修繕内容	金額	大宮町	五十河地区基幹集落センター	トイレタイル補修	89	弥栄町	野間基幹集落センター	浄化槽仕切り板漏水箇所修繕	69	調理室シンク排水金具修繕	21	外部手洗い場給水管漏水修繕	12	トイレ換気扇取替修繕	29																									
町名	指定管理施設名	修繕内容	金額																																									
大宮町	五十河地区基幹集落センター	トイレタイル補修	89																																									
弥栄町	野間基幹集落センター	浄化槽仕切り板漏水箇所修繕	69																																									
		調理室シンク排水金具修繕	21																																									
		外部手洗い場給水管漏水修繕	12																																									
		トイレ換気扇取替修繕	29																																									

主な財源

評価・課題等 ○地域活動拠点となる市所有集会施設を地区等を指定管理者とし管理運営することで、コミュニティ活動の活性化が図れた。
○「公共施設の見直し方針」に基づく「集会施設等コミュニティ施設の譲渡に関するガイドライン」により、地元区等自治会への移譲等を順次進める必要がある。
○社会・経済情勢や財政状況の変化を踏まえた上で、効率的・効果的な施設運営に向け、施設の利用実態に応じた管理運営をする必要がある。

事業所管課 市民部／市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	07集会施設等指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.96
総合計画	基本方針 V パートナースシップ都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
957千円	957千円	0千円	100.0%	862千円

目的 地区等を指定管理者に指定して管理運営している市所有集会施設の改修工事を行い、地域コミュニティ活動の活性化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○指定管理施設改修工事費 957千円
(単位：千円)

町名	指定管理施設名	修繕内容	金額
大宮町	五十河地区基幹集落センター	1 階和室エアコン更新	109
弥栄町	野間基幹集落センター	1 階トイレ改修	354
久美浜町	久美浜林業センター	1 階内壁塗装	393
		1 階研修室エアコン取替	101

主な財源

評価・課題等

○地域活動拠点となる指定管理施設の設備修繕及び更新を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図れた。
○社会・経済情勢や財政状況の変化を踏まえた上で、効率的・効果的な施設運営に向け、施設の利用実態に応じた管理運営をする必要がある。

事業所管課 市民部/市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	08過疎地域振興基金
細事業名	01 過疎地域振興基金			決算書 P.98
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために	計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
74,756千円	74,757千円	1千円	99.9%	74,751千円

目的 過疎対策事業債を活用して、市の過疎地域における集落の維持及び活性化等の実現を図るための事業を促進することを目的とする過疎地域振興基金への積立金

主要な事務・事業及び成果の概要

○過疎地域振興基金積立金 74,700千円
○過疎地域振興基金積立金(利子分) 56千円

平成25年度過疎対策事業債(ソフト分)の発行限度額の概ね50%を基金に積み立て、残りは市過疎地域自立促進市町村計画に定めるソフト事業に充当した。
(平成25年度過疎対策事業債(ソフト分)の発行限度額 149,400千円)
※京丹後市過疎地域自立促進市町村計画の計画期間：平成22年度～平成27年度
※過疎地域自立促進特別措置法の期限(平成32年度)まで積立可能

(参考) 基金の状況 (単位：千円)

平成24年度末 現在高 ①	平成25年度中増減額			平成25年度末 現在高 ①-②+(③+④)
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	
203,244	0	56	74,700	278,000

主な財源

財産収入 過疎地域振興基金積立金利子収入 56千円
市債 過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債) 74,700千円

評価・課題等

事業所管課 財務部/財政課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	09久美浜公会堂等管理事業	
細事業名	01 久美浜公会堂等管理事業			決算書	P.98
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
607千円	610千円	3千円	99.5%	610千円	

目的 久美浜公会堂及び浜公園（屋外トイレ含む）の適正な管理を行い、市民及び地域福祉の増進と地域文化の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

久美浜公会堂及び浜公園の適正な管理を行い、市民及び地域福祉の増進と地域文化の向上を図ることができた。

○久美浜公会堂維持管理経費 369千円

- ・消耗品費（公会堂公衆便所用品ほか） 21千円
- ・光熱水費（公会堂電気・水道代ほか） 132千円
- ・修繕料（公会堂誘導灯修繕ほか） 87千円
- ・保険料（公会堂保険料） 24千円
- ・施設清掃委託料（公会堂内清掃） 62千円
- ・消防設備等保守点検委託料 31千円
- ・防火対象物定期点検報告業務委託料 12千円

○浜公園維持管理経費 238千円

- ・保険料（浜公園公衆便所保険料） 1千円
- ・施設清掃委託料（浜公園内清掃、浜公園公衆便所清掃ほか） 221千円
- ・原材料費（浜公園内補修用山土） 16千円

久美浜公会堂利用状況

年度	利用回数	人数	備考
平成22年度	6回	2,078人	改修工事あり
平成23年度	46回	6,516人	府議会議員選挙あり
平成24年度	86回	8,340人	市長・市議会議員・衆議院議員選挙あり
平成25年度	82回	10,076人	参議院議員選挙あり

主な財源 使用料 久美浜公会堂使用料 18千円

評価・課題等

○浜公園は、グラウンドゴルフなど地域のイベントや軽スポーツの拠点となっている。また、文化的建造物である久美浜公会堂は、ヨガ教室や講演会など健康増進事業や文化事業等の利用により、地域の活性化及び住民の福祉向上に役立っている。
○久美浜公会堂を利用した地域行事等は定着してきているが、今後も市内内外の利用者が増えるように広報宣伝活動を行い、施設のさらなる利用促進を図る必要がある。

事業所管課 市民部/久美浜市民局

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	11域学連携地域活力創出事業	
細事業名	01 域学連携地域活力創出事業			決算書	P.98
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
20,000千円	20,000千円	0千円	100.0%	0千円	

目的 京都府内外の5大学が京丹後市と連携し、地域の課題解決のための方策を大学と地域がともに検討し、課題解決や地域の活性化、学生教育や継続的な大学連携につなげる。

主要な事務・事業及び成果の概要

地域課題解決及び地域活性化のため、京都府内外の5大学（龍谷大学、高崎経済大学、法政大学院、相愛大学及び同志社大学）が市内5地域（網野、大宮、峰山、久美浜及び弥栄）に入り、地域課題把握のための合宿調査、地元住民との意見交換、課題解決のための政策立案、政策発表会における発表等を行った。

○域学連携地域活力創出モデル実証事業実行委員会補助金 20,000千円

※京丹後市「域学連携」夢まち創り実行委員会：7団体

〔 龍谷大学、高崎経済大学、法政大学院、相愛大学、同志社大学 〕

〔 (一財) 地域公共人材開発機構、京丹後市 〕

- ・第1クール（平成25年5月～8月）
地域資源、課題の把握のための合宿調査を実施
- ・第2クール（平成25年8月～11月）
地域課題の確認及びプロジェクトを通じての実践的学習を実施
- ・第3クール（平成25年12月～平成26年2月）
中間発表会及び最終報告会を実施

主な財源 諸収入 域学連携地域活力創出モデル実証事業交付金（10/10） 20,000千円

評価・課題等

地域の課題解決のための方策を大学と地域がともに検討し、市内5地域における政策提言と、実践活動を通じた大学教育が行われた。

事業所管課 企画総務部/企画政策課

予算科目	02総務費	01総務管理費	11交通安全対策費	01市営駐車場管理事業		
細事業名	01 市営駐車場管理事業			決算書	P.100	
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市	計画項目	⑦ 防犯・交通安全の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
1,697千円	1,754千円	57千円	96.7%	1,754千円		

目的 市営駐車場を設置することにより、市への来訪者及び地域住民の便宜を図るとともに、道路駐車を防ぐことにより、道路機能を確保するなど、市内の交通秩序を保持する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○市営駐車場維持管理等経費	1,697千円
・用地賃借料(千歳、杉ノ木、上近江)	1,504千円
・照明電気代(千歳、杉ノ木、上近江、峰小前)	87千円
・側溝修繕(土居)	20千円
・外灯(球交換)修繕(千歳)	2千円
・駐車場案内看板設置(土居)	84千円

市営駐車場一覧(11か所)

No.	名称	位置	駐車場規模		所有者別
1	千歳駐車場	峰山町千歳213	1,452㎡	56台	民地賃貸地
2	杉ノ木駐車場	峰山町杉谷978	461㎡	22台	民地賃貸地
3	上近江駐車場	峰山町杉谷813	1,006㎡	35台	民地賃貸地
4	峰山小学校前駐車場	峰山町吉原62-11	560㎡	24台	市有地
5	峰山駅前駐車場	峰山町丹波811-4	509㎡	22台	KTR所有地
6	峰山駅東口駐車場	峰山町丹波825-3	354㎡	14台	市有地
7	網野駅前駐車場	網野町下岡126-2	301㎡	45台	KTR所有地
8	木津温泉駅前駐車場	網野町木津800-1	610㎡	16台	KTR所有地
9	土居駐車場	久美浜町3118-2	505㎡	17台	市有地
10	久美浜駅前第1駐車場	久美浜町785-6	255㎡	13台	市有地
11	久美浜駅前第2駐車場	久美浜町826-3	684㎡	17台	市有地

(京丹後市営駐車場条例)

主な財源

評価・課題等
○市営駐車場を設置することにより、公共交通等の利用促進など利便性を図ることができた。
○一部の駐車場において依然として常時駐車が見受けられるため、利用実態調査、地区へのアンケート調査及び関係課との検討会議の結果、利用実態に応じて市営駐車場の在り方を見直す必要がある。(平成26年度6月から条例一部改正施行)

事業所管課 市民部/市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	11交通安全対策費	02交通安全活動事業		
細事業名	01 交通安全活動事業			決算書	P.100	
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市	計画項目	⑦ 防犯・交通安全の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
2,036千円	2,038千円	2千円	99.9%	2,397千円		

目的 交通安全啓発活動等を実施し、安全で快適な交通環境の実現と交通事故の防止を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○交通安全指導員設置経費	1,619千円	
・報酬(年額120千円×12人)1,440千円、費用弁償179千円		
活動内容	回数	延べ人数
例月立番(児童生徒の登校時)	12回	144人
街頭啓発活動(交通安全運動、府民運動等)	12回	74人
交通教室指導(幼稚園、小学生、高齢者)・会議	44回	259人
合計	68回	477人
○職員旅費(市町村担当課長会議)	10千円	
○啓発物品等購入費(うちわ、のぼり旗ほか)	97千円	
○交通安全協会補助金(交通安全ニュース全戸配布ほか)	300千円	
○秋の全国交通安全運動スタート式出演謝金(京丹後よさこい連)	10千円	

交通安全運動等(街頭啓発活動実施分)

4月	春の全国交通安全運動	9月	秋の全国交通安全運動
5月	自転車の安全利用推進月間	10月	交通事故死ゼロを目指す日
7月	夏の交通事故防止府民運動(～8月下旬)		府域一斉交通安全街頭啓発日
	府域一斉交通安全街頭啓発日	12月	年末の交通事故防止府民運動

京丹後警察署管内交通事故発生件数(各年12月31日現在)

項目	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事故発生件数	218件	232件	236件	235件	203件	167件
うち高齢者	95件	94件	95件	85件	74件	64件
高齢者割合	43.6%	40.5%	40.3%	36.2%	36.5%	38.3%

資料:京丹後警察署

主な財源

評価・課題等
○京丹後警察署、丹後広域振興局、京丹後市、交通・防犯関係の各種団体が協力関係を強化し「京丹後安全・安心まちづくり推進会議」を立ち上げ、期間を定めて集中的に交通安全・防犯対策の事業を展開したことで交通安全、防犯意識の向上につながった。
○高齢者等が関係する交通事故を減少させることを目的として、より高齢者等が運転免許証自主返納しやすいうよう要綱の改正を行ったことで、運転免許証の返納者を増加することができた。

事業所管課 市民部/市民協働課

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業			
細事業名	01 地方バス路線運行維持対策事業			決算書	P.100		
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額			
92,728千円	92,733千円	5千円	99.9%	84,433千円			
目的	国又は府と協調して生活交通路線バスの運行を支援し、生活交通としての地域のバス交通を維持・確保する。						
主要な 事業及び 成果の概要	既存の路線バスを維持・確保するため、運行事業者に対し、財政支援を行った。 上限200円バスの導入以降、路線バスの利用者は増加基調にあり、地域に必要不可欠な生活交通として定着してきている。						
	○市町村運行確保生活路線バス路線維持費補助金 16,124千円 自主運行路線である弥栄網野砂丘線(弥栄分校前～平田口)の運行に対する補助						
	○地方バス路線運行維持対策補助金 75,508千円 丹海バス路線の運行に対する補助 (単位: km、便、千円)						
	系統名	起点	経由地	終点	市内距離	便数	補助金額
	経ヶ岬線	上宮津	与謝の海病院	経ヶ岬	1.6	8	195
	峰山線	上宮津	岩滝	峰山駅前	13.0	17	8,400
	間人線	峰山	溝谷	間人	19.3	20	15,724
	海岸線	峰山駅前	小浜・間人	経ヶ岬	36.7	15	19,818
	海岸線2	峰山駅前	島津・間人	経ヶ岬	37.6	1	1,442
	海岸線5	網野高校前	三津	間人	9.8	1	400
間人循環線	峰山	間人・小浜	峰山駅前	39.6	4	2,407	
間人循環線2	峰山	間人・島津	峰山駅前	40.5	4	4,831	
病院線	峰山	河辺・上常吉	与謝の海病院	13.3	2	753	
病院線2	峰山	河辺・上常吉	与謝の海病院	14.7	5	3,956	
久美浜線	峰山中学校前	野中・友重	久美浜駅	23.6	10	8,115	
久美浜線3	峰山駅前	野中・友重	久美浜駅	24.2	2	532	
延利線	峰山	大宮庁舎前	小町公園	18.3	2	2,067	
延利線2	峰山	大宮庁舎前	小町公園	18.9	7	6,868	
合計				311.1	98	75,508	
○宇川温泉よし野の里バス回転場整備工事請負費 1,096千円							
主な 財源	府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)			8,062千円		
	繰入金	地域振興基金繰入金			55,000千円		
	市債	地方バス路線回転場整備事業債(合併特例債)			1,000千円		
評価・ 課題等	○地域住民及び本市への来訪者の移動手段として、既存のバス路線の運行を維持・確保することができた。						
	○乗車運賃の上限200円化により、乗車人員は増加基調にあり、運行事業者の経費節減努力による運行維持費の減少とあわせ、運行収支の改善が図られている。						
	○運行事業者及び周辺自治体とも連携しながら、積極的に利便性の向上・利用促進を展開していく必要がある。(※平成25年10月からは、宮津・与謝エリアでも上限200円バスを導入)						
事業所管課	企画総務部/企画政策課						

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業		
細事業名	02 市営バス運行事業			決算書	P.100	
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
14,507千円	14,668千円	161千円	98.9%	14,472千円		
目的	民間バス会社と競合しない地域において、生活交通として必要なバス路線の運行事業を実施し、地域の生活交通を維持・確保する。					
主要な 事業及び 成果の概要	過疎化の進行や車社会の浸透に伴う輸送人員の減少により、民間でのバス路線の維持が困難になっていることから、公共交通機関の維持確保が困難な地域における住民の移動手段を確保するため、生活交通として必要なバスの運行事業を行った。					
	○運行路線・車両					
	・弥栄延利線(10人乗り)					
	・佐濃北線(やまばと号・15人乗り)					
	・二区環状線(ほたる号・15人乗り)					
	○運行管理経費					
	・市営バス運行委託料(弥栄路線分) 4,670千円					
	・市営バス運行委託料(久美浜路線分) 5,830千円					
	・車両等維持管理費(燃料費、修繕料、自動車重量税等) 3,561千円					
	・運行諸費用(消耗品費、印刷製本費、保険料、工事請負費) 446千円					
○市営バス乗車人員推移 (単位:人)						
	期 間	弥栄延利線	佐濃北線	二区環状線		
	H18年10月～H19年9月	1,762	2,689	1,483		
	H19年10月～H20年9月	1,631	3,217	1,417		
	H20年10月～H21年9月	2,099	3,596	3,055		
	H21年10月～H22年9月	2,713	3,506	3,455		
	H22年10月～H23年9月	3,162	3,761	3,996		
	H23年10月～H24年9月	3,095	3,403	4,093		
	H24年10月～H25年9月	2,948	3,060	4,041		
主な 財源	府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)			4,782千円	
	繰入金	地域振興基金繰入金			6,000千円	
	諸収入	市営バス運行収入			930千円	
	諸収入	市営バス回数券販売収入			405千円	
評価・ 課題等	○市営バス路線の運行を維持することで、民間の公共交通機関の維持確保が困難な地域における住民の移動手段を確保することができた。					
	○一方で、運行の持続性を確保するための利用促進策や、公共交通空白地の解消に向けた移動手段確保の在り方などを検討する必要がある。					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業		
細事業名	01 北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業			決算書	P.100	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
166,742千円	166,770千円	28千円	99.9%	163,212千円		
目的	府県及び沿線自治体が一体となり、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道の安全・快適な運行の確保と利用促進事業に支援を行う。					
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道の厳しい経営を支援するため、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道運行維持補助金を拠出し、経営維持に努めるとともに、高齢者片道上限200円レール等の利用促進事業に取り組んだ。さらに、リニューアル観光型車両「あかまつ号」「あおまつ号」に続く観光型列車「くろまつ号」の整備・宣伝に係る補助を行った。</p> <p>○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道安全運行維持補助金 99,414千円 経営支援のための府県・沿線市町による協調補助金 (平成25年度拠出金合計額〔他市町・府県拠出金の合計額〕717,568千円)</p> <p>○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道再生支援事業補助金(「くろまつ号」整備、冷房整備等) 33,556千円 ※総事業費：242,000千円</p> <p>○KTR災害復旧事業費補助金 4,043千円 (台風17号による軌道法面崩落、土砂流入等の災害復旧) ※総事業費：21,163千円</p> <p>○高齢者片道上限200円レール事業 11,681千円 平成25年4月1日～平成26年3月31日までの毎日実施(盆休み及び年末年始は除く) ・65歳以上の市民が対象で、市内の各駅からKTRのどの駅まで乗っても片道上限200円乗車を実施。(乗車実績延8,754人) ・実績：KTR線区内の65歳以上利用者は約3.3倍に増加(5,080人→16,611人) ※事業実施前(H22年度)と比較</p> <p>○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道利用促進協議会負担金 150千円</p> <p>○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道映像制作(ケーブルテレビ放映番組3本) 346千円</p> <p>○鉄道軌道輸送対策事業費補助金 17,552千円 鉄道事業の保安度の向上のため、必要な線路設備、信号設備等に要する経費を補助 ※総事業費：275,553千円</p>					
主な財源	府補	未来づくり交付金(北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業)	5,130千円			
	諸収入	北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道ﾋﾞｼﾞ ｯｸ特急券販売手数料	151千円			
	諸収入	地域公共交通確保維持改善事業補助金	1,340千円			
	市債	北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業債(合併特例債)	43,900千円			
評価・課題等	<p>○財政面及び利用促進面からの経営支援を実施し、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道の運行維持に努めることができた。さらに、利用促進策により、高齢者向けの低額運賃事業を発展させ、通年に拡大し実施したところ高齢利用者数が約3倍超となり、さらなる広域的な取組へ弾みが付くものとなった。</p> <p>○車社会の進展や少子高齢化、さらには開業以来20年余りが経過する施設・車輛の老朽化など、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道を取り巻く環境は大変厳しいが、重要な地域インフラとして存続させていくための継続した支援が必要である。</p>					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業		
細事業名	01 北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業(線越)			決算書	P.102	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)線越予算額		
11,880千円	11,881千円	1千円	99.9%	11,881千円		
目的	府県及び沿線自治体が一体となり、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道の安全・快適な運行の確保と利用促進事業に対する支援を行う。					
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>平成24年度線越事業</p> <p>○鉄道軌道輸送対策事業費補助金 11,880千円 鉄道運行の安全性向上のため、必要な線路設備、信号設備等に要する経費を補助 ※総事業費：155,520千円</p> <p>(事業内容) KTR鉄道施設総合安全対策事業として、橋りょう補強工事、電柱コンクリート化などを実施し、鉄軌道の安全性向上を図った。</p>					
主な財源	市債	北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業債(合併特例債)	11,200千円			
評価・課題等	重要な地域インフラとして存続させていくため継続した基盤整備への支援が必要である。					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿地方 鉄道利用促進対策事業		
細事業名	02 駅舎等施設管理事業			決算書 P.100		
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
52,488千円	52,624千円	136千円	99.7%	50,267千円		
目的	市内7駅の維持管理を行うとともに、有人駅において乗車券類の発売を行うことにより、鉄道利用者の利便性の向上及び鉄道利用の促進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	鉄道利用者の利便性の向上及び鉄道利用の促進を図ることを目的に、市内7駅の駅舎の維持管理を行うとともに、有人駅において乗車券類の窓口発売を行った。平成25年10月の網野駅観光情報センター開設に伴う駅舎改修等を行った。					
	○市内7駅維持管理経費					
	・消耗品費（トイレトーパー、清掃用具、蛍光灯等）	720千円				
	・燃料費（灯油代）、光熱水費（電気料金、水道料金）	5,556千円				
	・修繕料（駅舎施設）、賃金等	2,157千円				
	・通信運搬費（電話料金）	355千円				
	・手数料（し尿汲取等）、火災保険料（駅舎等）	155千円				
	・駅舎維持管理委託料（施設清掃、機械警備等）	4,443千円				
	・KTR乗車券類販売業務委託料	27,075千円				
	・土地借上料（駐輪場、駐車場、駅舎通路）	1,216千円				
・工事費（網野駅観光情報センター改修、KTR駅舎周辺植栽等）	10,811千円					
○市内各駅乗降者数 (単位：人)						
	駅名	H21	H22	H23	H24	H25
	丹後大宮駅	53,211	54,350	46,777	55,619	51,859
	峰山駅	89,453	105,110	112,807	114,166	109,489
	網野駅	93,325	105,138	94,005	97,633	98,791
	木津温泉駅	44,832	55,656	54,640	51,095	42,656
	丹後神野駅	26,089	16,981	22,598	20,244	24,207
	甲山駅	51,023	47,957	35,818	37,532	38,954
	久美浜駅	41,933	39,324	39,903	43,506	41,694
	合計	399,866	424,516	406,548	419,795	407,650
主な財源	使用料	公有財産使用料、大宮駅ふれあいホール、峰山駅キヤリ-ほか施設使用料		1,394千円		
	府補	未来づくり交付金（駅舎等施設管理事業）		1,000千円		
	繰入金	観光庁整備等促進実行調整費基金繰入金		9,037千円		
	諸収入	峰山駅ほか駅舎維持管理費負担金、峰山駅ほか乗車券類販売手数料		7,528千円		
	諸収入	丹後神野駅JICA-使用料、公衆電話料等		99千円		
評価・課題等	○駅舎の適正な維持管理及び乗車券類の窓口発売（甲山駅を除く6駅）を行い、切符の対面販売を確保することができた。					
	○観光案内や情報発信機能の強化、バリアフリー化など、駅の利便性・快適性をさらに向上させる取り組みを進める必要がある。					
事業所管課	企画総務部/企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	50交通確保対策一般経費	
細事業名	01 交通確保対策一般経費			決算書 P.102	
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
2,043千円	2,081千円	38千円	98.1%	721千円	
目的	公共交通関係業務に関する事務経費等				
主要な事務・事業及び成果の概要	公共交通利用促進策として、鉄道ダイヤの春の時刻表改正に伴い、分かりやすい運行情報を掲載したKTR運行ダイヤの早見表を作成した。				
	運転免許証の返納特典制度の拡充に伴い、鉄道チケットに加え、バスチケットを新たに導入したことで、返納者が大幅に増加した。				
	OKTR運行時刻早見表（壁掛け用）	270千円			
	22,000部、A2版、2色カラー、平成26年3月10日発行				
	○高齢者運転免許自主返納支援（制度）	1,680千円			
	65歳以上の運転免許証の返納者への特典として、鉄道・バスチケット（6か月分）を84人に交付。（対前年66人増）				
	※H24年度との変更点 年齢：70歳→65歳				
	チケット：3か月→6か月、バスも対象とした				
	※返納特典利用者内訳				
	①特典別	内訳(人数)	②町域別	内訳(人数)	③年齢別
鉄道	14	峰山町	19	65歳～69歳	4
丹海バス	55	大宮町	10	70歳～74歳	5
市営バス	15	網野町	21	75歳～79歳	15
合計	84	丹後町	9	80歳～84歳	37
		弥栄町	8	85歳～89歳	15
		久美浜町	17	90歳以上	8
		合計	84	合計	84
○職員旅費	93千円				
主な財源					
評価・課題等	○分かりやすい運行情報の提供を行うことにより、公共交通の利用促進を図った。				
	○高齢者が起因する交通事故発生の抑制及び公共交通の利用促進を図るため、高齢者の運転免許証の自主返納支援を行い、対象年齢の拡大や特典を充実したこともあり、返納者数が増加した。				
事業所管課	企画総務部/企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	02防犯対策事業																												
細事業名	01 防犯活動経費				決算書	P.104																										
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ⑦ 防犯・交通安全の推進																													
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																												
775千円	781千円	6千円	99.2%	1,048千円																												
目的	防犯団体等と連携し、各種防犯活動を実施し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○防犯委員会活動費（委員数：32人） 97千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯委員会委員謝金（1回、4,000円×22人） 88千円 ・防犯委員会委員費用弁償（1回、22人） 9千円 <p>○防犯協会負担金 674千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後防犯協会負担金 640千円 ・京丹後防犯協会自動車税負担金（日産マーチ 1台分） 34千円 無償で借り受けている防犯パトロール車に係る自動車税相当額 <p>○防犯対策関連経費 4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員旅費（万引き防止対策推進協議会北部分科会） <p>「京丹後市・防犯の日」の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の金融機関における啓発活動（6/14） ・網野町内の金融機関及び商業施設における啓発活動（8/23） ・大宮町内の金融機関における啓発活動（10/15） ・弥栄町内の金融機関における啓発活動（12/13） <p>京丹後警察署管内刑法犯認知件数（各年12月31日現在） (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>709</td> <td>656</td> <td>550</td> <td>473</td> <td>463</td> <td>438</td> <td>480</td> <td>417</td> <td>320</td> <td>288</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：京丹後警察署</p>										年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	件数	709	656	550	473	463	438	480	417	320	288
年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																						
件数	709	656	550	473	463	438	480	417	320	288																						
主な財源																																
評価・課題等	<p>○京丹後市防犯委員会が主となり、毎月15日の「京丹後市・防犯の日」における定期的な活動などを展開したことで「振り込め詐欺」等の特殊犯罪などに関する意識向上につながった。</p> <p>○京丹後警察署、丹後広域振興局、京丹後市、交通・防犯関係の各種団体が協力関係を強化し「京丹後安全・安心まちづくり推進会議」を立ち上げ、期間を定めて集中的に交通安全・防犯対策の事業を展開したことで交通安全、防犯意識の向上につながった。</p>																															
事業所管課	市民部／市民協働課																															

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	02防犯対策事業																																																																																																														
細事業名	02 LED防犯灯設置事業				決算書	P.104																																																																																																												
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ⑦ 防犯・交通安全の推進																																																																																																															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																																																														
5,765千円	5,800千円	35千円	99.3%	5,800千円																																																																																																														
目的	市が管理する防犯灯（集落間）を設置するとともに、各地区が管理する防犯灯の新規設置費用に対して補助金を交付し、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。																																																																																																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○工事請負費 2,383千円</p> <p>(単位：灯、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町名</th> <th>設置場所</th> <th>灯数</th> <th>金額</th> <th>町名</th> <th>設置場所</th> <th>灯数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">峰山町</td> <td>新治、二箇</td> <td>3</td> <td>36</td> <td rowspan="7">久美浜町</td> <td>谷</td> <td>2</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>荒山、内記、丹波</td> <td>6</td> <td>89</td> <td>壱分～女布</td> <td>9</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>善王寺</td> <td>3</td> <td>84</td> <td>友重～海士</td> <td>8</td> <td>362</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>新庄～木津</td> <td>4</td> <td>148</td> <td>永留、出角</td> <td>2</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>成願寺</td> <td>1</td> <td>28</td> <td>栃谷、十楽</td> <td>3</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">弥栄町</td> <td>溝谷</td> <td>5</td> <td>394</td> <td>湊宮、葛野、鹿野</td> <td>25</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>船木</td> <td>2</td> <td>48</td> <td>合計</td> <td>73</td> <td>2,383</td> </tr> </tbody> </table> <p>○LED防犯灯設置費補助金 3,382千円</p> <p>地区要望に基づき、地区管理防犯灯の新設費用を補助 電柱等への共架（30千円/灯）、鋼管柱設置（90千円/灯）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町域</th> <th>要望地区数</th> <th>要望灯数</th> <th>設置灯数</th> <th>補助金額</th> <th>地区管理灯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>7地区</td> <td>15灯</td> <td>15灯</td> <td>414千円</td> <td>1,699灯</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2地区</td> <td>2灯</td> <td>2灯</td> <td>114千円</td> <td>1,253灯</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>6地区</td> <td>20灯</td> <td>20灯</td> <td>800千円</td> <td>1,734灯</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>4地区</td> <td>5灯</td> <td>5灯</td> <td>143千円</td> <td>1,001灯</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>5地区</td> <td>19灯</td> <td>19灯</td> <td>657千円</td> <td>863灯</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>17地区</td> <td>33灯</td> <td>33灯</td> <td>1,254千円</td> <td>1,920灯</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41地区</td> <td>94灯</td> <td>94灯</td> <td>3,382千円</td> <td>8,470灯</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地区管理防犯灯の灯数は、平成26年3月末現在</p>										町名	設置場所	灯数	金額	町名	設置場所	灯数	金額	峰山町	新治、二箇	3	36	久美浜町	谷	2	36	荒山、内記、丹波	6	89	壱分～女布	9	209	大宮町	善王寺	3	84	友重～海士	8	362	網野町	新庄～木津	4	148	永留、出角	2	123	丹後町	成願寺	1	28	栃谷、十楽	3	102	弥栄町	溝谷	5	394	湊宮、葛野、鹿野	25	724	船木	2	48	合計	73	2,383	町域	要望地区数	要望灯数	設置灯数	補助金額	地区管理灯数	峰山町	7地区	15灯	15灯	414千円	1,699灯	大宮町	2地区	2灯	2灯	114千円	1,253灯	網野町	6地区	20灯	20灯	800千円	1,734灯	丹後町	4地区	5灯	5灯	143千円	1,001灯	弥栄町	5地区	19灯	19灯	657千円	863灯	久美浜町	17地区	33灯	33灯	1,254千円	1,920灯	合計	41地区	94灯	94灯	3,382千円	8,470灯
町名	設置場所	灯数	金額	町名	設置場所	灯数	金額																																																																																																											
峰山町	新治、二箇	3	36	久美浜町	谷	2	36																																																																																																											
	荒山、内記、丹波	6	89		壱分～女布	9	209																																																																																																											
大宮町	善王寺	3	84		友重～海士	8	362																																																																																																											
網野町	新庄～木津	4	148		永留、出角	2	123																																																																																																											
丹後町	成願寺	1	28		栃谷、十楽	3	102																																																																																																											
弥栄町	溝谷	5	394		湊宮、葛野、鹿野	25	724																																																																																																											
	船木	2	48		合計	73	2,383																																																																																																											
町域	要望地区数	要望灯数	設置灯数	補助金額	地区管理灯数																																																																																																													
峰山町	7地区	15灯	15灯	414千円	1,699灯																																																																																																													
大宮町	2地区	2灯	2灯	114千円	1,253灯																																																																																																													
網野町	6地区	20灯	20灯	800千円	1,734灯																																																																																																													
丹後町	4地区	5灯	5灯	143千円	1,001灯																																																																																																													
弥栄町	5地区	19灯	19灯	657千円	863灯																																																																																																													
久美浜町	17地区	33灯	33灯	1,254千円	1,920灯																																																																																																													
合計	41地区	94灯	94灯	3,382千円	8,470灯																																																																																																													
主な財源																																																																																																																		
評価・課題等	地区要望に基づき、集落間の防犯灯を整備することで、夜間の犯罪や交通事故の防止に努めることができた。																																																																																																																	
事業所管課	市民部／市民協働課																																																																																																																	

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	02防犯対策事業																					
細事業名	03 防犯灯管理事業			決算書	P.104																				
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑦ 防犯・交通安全の推進																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
10,562千円	10,564千円	2千円	99.9%	10,559千円																					
目的	市が管理する防犯灯（集落間）の維持管理を行い、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	○市管理防犯灯電気代 8,418千円 市管理防犯灯の灯数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>町域</th> <th>灯数</th> <th>町域</th> <th>灯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>133灯</td> <td>丹後町</td> <td>365灯</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>383灯</td> <td>弥栄町</td> <td>261灯</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>323灯</td> <td>久美浜町</td> <td>547灯</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="2">2,012灯</td> </tr> </tbody> </table> ※平成26年3月末現在					町域	灯数	町域	灯数	峰山町	133灯	丹後町	365灯	大宮町	383灯	弥栄町	261灯	網野町	323灯	久美浜町	547灯	合計		2,012灯	
	町域	灯数	町域	灯数																					
峰山町	133灯	丹後町	365灯																						
大宮町	383灯	弥栄町	261灯																						
網野町	323灯	久美浜町	547灯																						
合計		2,012灯																							
○市管理防犯灯修繕料 2,121千円 球交換、灯具交換、道路拡幅に伴う移設、LED道路照明灯具取付アダプターほか																									
○市管理防犯灯関連経費 23千円 市管理防犯灯への設置管理者「京丹後市」シール作成																									
主な財源																									
評価・課題等	○集落間の防犯灯の適切な維持管理を行い、夜間の犯罪や交通事故の防止に努めた。 ○国の「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」を利用し、市管理の防犯灯をLED防犯灯に交換したことにより、二酸化炭素の排出抑制及び維持管理コストの削減につなげることができた。																								
事業所管課	市民部／市民協働課																								

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	03犯罪被害者等支援事業	
細事業名	01 犯罪被害者等支援事業			決算書	P.104
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	③ 人権の尊重	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
39千円	40千円	1千円	97.5%	429千円	
目的	各種施策を実施し、犯罪被害者等についての理解を深めるための啓発や、犯罪にあった市民やその家族などの被害の回復及び軽減を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○人権講演会（犯罪被害者支援）の開催（H25.12.8、参加者数60人） 20千円 犯罪被害者支援講演会講師謝金 10千円 犯罪被害者支援講演会講師費用弁償 10千円				
	○職員旅費 19千円 ・犯罪被害者支援連絡協議会総会（京都市） ・犯罪被害者支援担当者会議（綾部市） ・犯罪被害者支援センター北部拠点に関する懇談会（福知山市） ・犯罪被害者支援施策市町村担当者研修会（京都市） ・犯罪被害者支援センター北部拠点に関する懇談会及び出前講座（福知山市）				
主な財源					
評価・課題等	○人権講演会に併せて犯罪被害者講演会を開催し、犯罪の被害に遭われた方への支援の大切さについて市民の理解を深めることができた。 ○市民への周知・啓発活動をさらに行い、犯罪被害者等に対する市民の理解を深めていくことが必要である。				
事業所管課	市民部／市民協働課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	05自衛官募集事務	
細事業名	01 自衛官募集事務			決算書	P.104
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
25千円	26千円	1千円	96.1%	16千円	
目的	自衛隊京都地方協力本部と京丹後市が連携して自衛官の募集事務を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○広報紙への自衛官募集記事掲載 (5回) 25千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしらせ版 平成25年5月10日号 ・おしらせ版 平成25年7月25日号 ・おしらせ版 平成25年8月9日号 ・おしらせ版 平成25年10月10日号 ・おしらせ版 平成25年11月8日号 				
主な財源	国委 自衛官募集事務委託金 (10/10)				25千円
評価・課題等	自衛隊京都地方協力本部と連携し、広報紙へ自衛官募集案内記事を掲載するなど募集を積極的に行った。				
事業所管課	企画総務部/総務課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	50諸費一般経費	
細事業名	01 諸費一般経費			決算書	P.104
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
14,264千円	14,270千円	6千円	99.9%	0千円	
目的	航空自衛隊経ヶ岬分屯基地への米軍TPY-2レーダー受け入れに関し、協議・説明会等を開催する。また、徴収漏れ源泉所得税等の納付を行い、源泉徴収事務の適正化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>米軍TPY-2レーダー配備計画に係る協議や説明会開催に伴う経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員出張経費 78千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 54千円 ・有料道路通行料 24千円 ○住民説明会開催に係る経費 (計3回実施) 419千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞折込チラシ印刷代 226千円 ・新聞折込手数料 193千円 ○会議開催経費 (白布クリーニング代等) 6千円 <p>徴収漏れ源泉所得税と延滞税及び不納付加算税の納付を行った。(担当:人事課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○源泉所得税納付金 (38人分) 12,740千円 <ul style="list-style-type: none"> ・H21.2~H25.11支払いに係る徴収漏れ源泉所得税 ○徴収漏れ源泉所得税に係る延滞税及び不納付加算税 1,021千円 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収漏れ源泉所得税に係る延滞税 455千円 ・不納付加算税 566千円 				
主な財源	国委	施設区域取得等事務委託費			200千円
	諸収入	源泉所得税相当額徴収金			9,791千円
評価・課題等	<p>○米軍TPY-2レーダー受け入れに関し、住民説明会を開催し、住民への理解を求めた。</p> <p>○所得税の源泉徴収事務の自己点検の結果、徴収漏れとなっていた源泉所得税を納付し、徴収漏れ防止のため職員研修や事務マニュアルの見直しなどを行い、適正な事務処理を進めた。</p>				
事業所管課	企画総務部/総務課・人事課				

予算科目	02総務費	02徴税費	01税務総務費	02固定資産評価審査委員会費		
細事業名	01 固定資産評価審査委員会費			決算書	P.106	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
224千円	301千円	77千円	74.4%	301千円		
目的	地方税法に基づき固定資産評価審査委員会を設置し、固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者からの不服申立を審査決定する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	審査委員会の開催経費、委員報酬及び専門知識を取得するための研修経費を支出した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○固定資産評価審査委員会開催経費 124千円 <ul style="list-style-type: none"> 委員会4回開催（不服申立1件） ・委員報酬（6人） 延べ19人×6,000円 114千円 ・費用弁償 10千円 ○固定資産評価審査委員研修経費 100千円 <ul style="list-style-type: none"> 審査請求に対する対応事例等の研修会に参加 京都市、5人参加 ・委員報酬 4人×9,000円 36千円 ・費用弁償 4人分 42千円 ・職員旅費 1人分 10千円 ・研修テキスト代 12千円 					
主な財源						
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○固定資産評価に関する不服申立に対し、審査委員会を開催して公正・中立な立場から審査、決定を行った。 ○今後も更に中立・専門的な審査が行えるよう、研修を充実していく必要がある。 					
事業所管課	財務部/税務課					

予算科目	02総務費	02徴税費	01税務総務費	50税務総務一般経費		
細事業名	01 税務総務一般経費			決算書	P.106	
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
306千円	336千円	30千円	91.0%	336千円		
目的	税務関係諸団体との連携により、納税者へ税情報を提供するとともに、国税及び地方税の申告並びに納税に関する啓蒙・宣伝活動を実施し納税意識の向上を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	税務関係諸団体に対する負担金と各種研修会等への参加経費を支出した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○職員出張旅費等 106千円 ○税務関係団体負担金 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・資産評価システム研究センター会費 90千円 ・峰山地区税務協議会負担金 70千円 ・京丹後地区租税教育推進協議会負担金 40千円 					
主な財源						
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○資産評価システム研究センターから専門情報の提供を受け、固定資産評価に活用した。 ○税務関係諸団体と連携し、新聞折込等により税申告並びに納税に関する啓蒙・宣伝活動を実施するとともに、中学・高校生を対象に租税教室の開催や税に関する作文募集など租税教育を推進した。 ○今後も啓蒙・宣伝活動を継続的に実施し、市民の「税」に関する理解を深め、納税意識の向上を図る必要がある。 					
事業所管課	財務部/税務課					

予算科目	02総務費	02徴税費	02賦課徴収費	01市税賦課事務	
細事業名	01 市民税等賦課事務			決算書	P.106
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
4,580千円	4,584千円	4千円	99.9%	3,700千円	

目的	市民税等の適正かつ効率的な賦課業務を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>住民税の申告及び賦課業務を適正かつ効率的に執行するための業務委託料を支出した。</p> <p>○委託料 4,580千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民税賦課業務人材派遣委託料 2,017千円 課税資料のシステム入力後の補助及び整理作業 (25年4月及び26年1月～3月：3人) ・事務補助業務人材派遣委託料 1,611千円 職員の産前、産後、育児休暇に伴う職員補充 (25年5月～26年3月：1人) ・納税通知書封入作業委託料 319千円 市税納税通知書の封入作業 封入件数：14,178件 ・給与支払報告書入力業務委託料 633千円 給与、年金支払報告書のシステム入力作業 入力件数：20,628件 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○住民税賦課に係る各業務の外部委託や派遣職員の配置により、正確かつ効率的に業務を執行できた。</p> <p>○今後も徴税コストの更なる削減と、一層正確で効率的な申告・賦課事務の推進に努める必要がある。</p>				
事業所管課	財務部/税務課				

予算科目	02総務費	02徴税費	02賦課徴収費	01市税賦課事務	
細事業名	02 固定資産税賦課事務			決算書	P.106
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
24,749千円	24,826千円	77千円	99.6%	25,389千円	

目的	固定資産税の課税データの整備を図り、適正かつ公平・公正な賦課業務を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>固定資産の評価、固定資産税の賦課に係る業務委託及びシステム関連経費を支出した。</p> <p>○委託料 24,749千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家屋評価システム保守委託料 504千円 評価システムの保守管理 ・標準宅地鑑定評価業務委託料 12,197千円 平成27年度評価替に向けた鑑定評価業務 鑑定：269地点 標準宅地に係る時点修正業務 鑑定：6地点 ・固定資産評価更新業務委託料 10,395千円 平成27年度評価替に向けた2年目の業務 (3か年計画) 計画準備及び資料整理、追加路線価及び追加道路格差率の算定 路線区分及び街路データの修正、距離測定施設の確定及び距離測定 環境データの作成、供給処理施設データの確認 等 ・固定資産税賦課業務人材派遣委託料 1,093千円 登記簿の同所同地番解消に伴う地番変更入力事務 (25年7月～12月：1人) ・字限図分筆等修正委託料 560千円 25年中の登記異動 (土地分筆、合筆) 及び公図訂正に伴うマイラ修正と電子データ化 修正筆数：1,491筆、データスキャン：191枚 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○固定資産税の課税に必要な専門的データの作成・整備等の業務を執行することにより、適正かつ公平・公正な課税を行うことができた。</p> <p>○固定資産評価更新業務については、当初計画のとおり2年目の作業を完了し、平成27年度評価替に向けて準備をすることができた。</p>				
事業所管課	財務部/税務課				

予算科目	02総務費	02徴税費	02賦課徴収費	50賦課徴収一般経費		
細事業名	01 賦課徴収一般経費			決算書	P.108	
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
82,078千円	82,495千円	417千円	99.4%	76,455千円		
目的	市税の適正かつ公平・公正な賦課徴収業務を行う。また、京都地方税機構に加入し、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務の一層の推進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	市税の賦課徴収業務に係る必要経費及び京都地方税機構等への負担金を支出した。					
	○職員出張旅費、機器保守業務委託料、有料道路通行料等	262千円				
	○消耗品費（書籍、申告相談用消耗品等）	1,253千円				
	○印刷製本費（納税通知書、償却資産申告書、納付書、封筒等）	2,645千円				
	○郵送料及び資産調査手数料 （納税通知書、督促状、市府民税申告書、償却資産申告書、各種通知）	8,230千円				
	○税務関係団体負担金等	41,003千円				
	・三税協力（国、府、市）118千円 ・京都地方税務協議会 395千円					
	・地方税電子化協議会 847千円					
	・京都地方税機構（滞納税徴収、法人関係税課税）	39,643千円				
	【内訳】	(単位：千円)				
一般財源分	基本負担額	人口割額	税収割額	滞納繰越額割額	前年度繰越金	計
	1,528	18,660	7,285	12,866	△ 76	40,263
特定財源分 (法人関係税)	基本負担額	人口割額	調定件数割額	調定金額割額		計
	72	884	650	87		1,693
派遣職員人件費調整額						△ 2,399
追加共用端末経費						86
※参考	構成団体負担金合計：2,247,264千円					
○市税還付金及び還付加算金	28,685千円					
・市税の更正、法人市民税の確定申告に伴う過誤納金等 （997件、還付金26,229千円、加算金624千円）						
・「京丹后市固定資産税等に係る返還金取扱要綱」による返還金等 （7件、返還金1,280千円、加算金552千円）						
主な財源	手数料 督促手数料					1,619千円
	手数料 税務証明手数料					1,943千円
	府委 府民税徴収事務委託金					3,383千円
評価・課題等	○市税還付金等について、関係法令、条例及び要綱に基づき適正に処理することができた。 ○京都地方税機構と徴収業務における連携を深めたことにより、徴収実績を向上させることができた。					
	事業所管課	財務部/税務課				

予算科目	02総務費	03戸籍住民基本台帳費	01戸籍住民基本台帳費	02戸籍電算システム運用事業		
細事業名	01 戸籍電算システム運用事業			決算書	P.110	
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
20,731千円	20,814千円	83千円	99.6%	21,402千円		
目的	戸籍総合システムを運用し、戸籍関係業務を迅速かつ的確に行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	本庁及び各市民局とのオンライン化による戸籍総合システムを運用して、戸籍事務に係る届出記載、戸籍の証明書発行等の事務処理を行った。また、平成25年度で戸籍総合システムの保守期間が終了することから、機器の更新を行うとともに、戸籍の正本と副本の同時滅失を防止するために管理サーバを遠隔地に設置する「戸籍副本データ管理システム」を導入した。					
	○委託料	12,570千円				
	・戸籍総合システム保守料（ハード、ソフト、戸籍副本）					
	・戸籍総合システム更新に係る作業委託費					
	・戸籍副本データ管理システム導入委託費					
	○使用料及び賃借料	8,161千円				
	・ソフトウェア使用料	5,586千円				
	（戸籍総合システムソフトウェア使用料） （戸籍副本データ管理システムソフトウェア使用料）					
	・戸籍総合システム借上料（ハード11台、ソフト）	2,575千円				
	主な戸籍届出件数	区分		主な証明書発行件数		
	H25	H24	種類	H25	H24	
出生	726	706	戸籍の全部事項証明	10,391	10,394	
死亡	1,102	1,092	除籍の全部事項証明	1,491	2,213	
婚姻	936	871	戸籍の個人事項証明	3,888	4,020	
離婚	181	183	除籍の個人事項証明	47	21	
転籍	222	216	除籍謄本	12,750	11,545	
入籍ほか	469	496	除籍抄本	88	49	
合計	3,636	3,564	戸籍の記載事項証明	25	69	
			その他	220	181	
			合計	28,900	28,492	
主な財源	手数料 戸籍関係手数料					13,098千円
	評価・課題等	戸籍関係業務について、迅速かつ的確に事務処理を行い、市民の利便性の向上と市民サービスの向上が図れた。				
事業所管課	市民部/市民課					

予算科目	02総務費	03戸籍住民基本台帳費	01戸籍住民基本台帳費	03住民基本台帳ネットワーク運用事業																			
細事業名	01 住民基本台帳ネットワーク運用事業			決算書	P.110																		
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																			
3,457千円	3,487千円	30千円	99.1%	7,785千円																			
目的	住民基本台帳ネットワークシステムの運用により全国共通の本人確認を可能とし、住民の利便性の向上と事務の効率化を図る。																						
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>住民基本台帳ネットワークシステムを運用することにより、特に年金現況届、旅券申請等では住民票の添付が不要となるなど、市民の利便性の向上と事務処理の効率化が図れた。また、住基カードを利用した公的個人認証サービスの交付を行った。機器については、前回の更改から6年が経過していることから、地方自治情報センターからの住基ネット安定運用及びセキュリティ維持を図るため、機器の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役務費 7千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話回線移設手数料 ○ 委託料 2,176千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民基本台帳ネットワークシステム保守料 543千円 ・ 公的個人認証サービス保守料 532千円 ・ 情報通信機器等設定委託料 53千円 ・ 情報通信機器等設置委託料 996千円 ・ 情報通信機器等移設委託料 52千円 ○ 備品購入費 1,274千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民基本台帳ネットワークシステム機器購入 (CSサーバ1式、CS端末7台) <p>住基カード交付及び公的個人認証サービス交付枚数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>住基カード</th> <th>公的認証</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>187</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>203</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>156</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>136</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>160</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table>						住基カード	公的認証	平成21年度	187	139	平成22年度	203	208	平成23年度	156	152	平成24年度	136	108	平成25年度	160	112
	住基カード	公的認証																					
平成21年度	187	139																					
平成22年度	203	208																					
平成23年度	156	152																					
平成24年度	136	108																					
平成25年度	160	112																					
主な財源	手数料 住民基本台帳等手数料 3,457千円																						
評価・課題等	<p>○市民の利便性向上と住民基本台帳事務処理の効率化が図れた。</p> <p>○新機器となり、地方公共団体情報システム機構 (旧財団法人地方自治情報センター) からの各サービス (システムに必要な更新の情報等) が安定的に受け取ることができた。</p>																						
事業所管課	市民部/市民課																						

予算科目	02総務費	03戸籍住民基本台帳費	01戸籍住民基本台帳費	04郵便局サービス事業																																																				
細事業名	01 郵便局サービス事業			決算書	P.110																																																			
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市		計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進																																																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																				
678千円	689千円	11千円	98.4%	689千円																																																				
目的	市役所から遠距離の地域の市民に身近な場所で利便性の高い行政サービスを提供するため、郵便局と市役所が連携し、各種証明書等の交付事務を実施する。																																																							
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>利便性の高い行政サービスを提供するため、「地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律」に基づいて、市役所 (市民課、税務課) と4郵便局 (丹後木津 (網野町)、中浜 (丹後町)、野間 (弥栄町)、野中 (久美浜町)) が連携し、郵便局窓口で戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑証明及び納税証明の交付事務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 需用費 66千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費 (コピー代)、光熱水費 (ファックス電気代) ○ 役務費 408千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信運搬費 (ファックス通信費、郵送料) ほか ○ 委託料 71千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 証明書発行事務委託料 (4郵便局事務取扱手数料) ○ 使用料及び賃借料 133千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ファックス借上料 (郵便局4台、市民課1台) <p><利用者人数、交付件数等> (単位: 人、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者人数</th> <th>交付件数</th> <th>月平均人数</th> <th>月平均交付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>453</td> <td>620</td> <td>37.8</td> <td>51.7</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>419</td> <td>530</td> <td>34.9</td> <td>44.2</td> </tr> </tbody> </table> <p><郵便局別各種証明書交付件数> (平成25年度) (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>丹後木津</th> <th>中浜</th> <th>野間</th> <th>野中</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍謄本・抄本</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>住民票謄本・抄本・附票</td> <td>83</td> <td>73</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>196</td> </tr> <tr> <td>印鑑証明書</td> <td>179</td> <td>78</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>所得、納税証明書</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>277</td> <td>169</td> <td>75</td> <td>9</td> <td>530</td> </tr> </tbody> </table>						利用者人数	交付件数	月平均人数	月平均交付件数	平成24年度	453	620	37.8	51.7	平成25年度	419	530	34.9	44.2		丹後木津	中浜	野間	野中	合計	戸籍謄本・抄本	13	13	9	0	35	住民票謄本・抄本・附票	83	73	36	4	196	印鑑証明書	179	78	30	5	292	所得、納税証明書	2	5	0	0	7	合計	277	169	75	9	530
	利用者人数	交付件数	月平均人数	月平均交付件数																																																				
平成24年度	453	620	37.8	51.7																																																				
平成25年度	419	530	34.9	44.2																																																				
	丹後木津	中浜	野間	野中	合計																																																			
戸籍謄本・抄本	13	13	9	0	35																																																			
住民票謄本・抄本・附票	83	73	36	4	196																																																			
印鑑証明書	179	78	30	5	292																																																			
所得、納税証明書	2	5	0	0	7																																																			
合計	277	169	75	9	530																																																			
主な財源	<p>手数料 印鑑登録証明等手数料 346千円</p> <p>手数料 住民基本台帳等手数料 231千円</p>																																																							
評価・課題等	<p>市役所から遠距離であっても、身近な郵便局でサービスが受けられることで、公平な行政サービスの提供につながっている。平成27年度以降のマイナンバー制度導入による同様の行政サービスの手法について検討を進めることも必要である。</p>																																																							
事業所管課	市民部/市民課																																																							

予算科目	02総務費	03戸籍住民基本台帳費	01戸籍住民基本台帳費	50戸籍住民基本台帳一般経費	
細事業名	01 戸籍住民基本台帳一般経費			決算書	P.110
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
6,121千円	6,236千円	115千円	98.1%	5,711千円	
目的	戸籍、住民記録、印鑑登録業務及び人口動態調査に関する事務を適正に行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	戸籍業務及び住民記録業務等の適正管理に係る一般経費についての支出を行った。				
	○共済費	43 千円			
	・臨時職員社会保険料				
	○賃金	268 千円			
	・臨時職員賃金(大宮市民局1人)				
	○旅費	143 千円			
	・職員出張旅費				
	○需用費	1,543 千円			
	・消耗品費(プリンタートナー、事務用品、参考図書等)	576 千円			
	・印刷製本費(偽造防止用紙等)	967 千円			
○役務費	166 千円				
・通信運搬費(ファックス通信費、郵便代、切手、はがき代)					
○委託料	3,946 千円				
・事務補助人材派遣委託料(市民課1人、大宮市民局2人)					
○負担金	12 千円				
・京都府戸籍住民外国人登録協議会負担金					
主な財源	手数料 印鑑登録証明書等手数料	4,391千円			
	手数料 住民基本台帳等手数料	1,771千円			
	府委 人口動態調査費委託金	49千円			
評価・課題等	○戸籍、住民記録業務等について、法令に基づき適正な事務処理を行うことができた。				
	○今後も継続して、戸籍、住民記録、印鑑登録業務、人口動態調査等に関する事務を適正に執行する。				
	○戸籍、住民記録業務等を適正に執行できるよう、職員研修に努める必要がある。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	02総務費	04選挙費	01選挙管理委員会費	01選挙管理委員会経費	
細事業名	01 選挙管理委員会経費			決算書	P.112
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
845千円	864千円	19千円	97.8%	864千円	
目的	地方自治法及び公職選挙法に基づき、選挙管理委員会を開催するなど選挙制度の運用を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	選挙人名簿定時登録に関して、選挙管理委員会を6回開催した。				
	○委員報酬	672千円			
		区分	人数	報酬額(年額)	
		委員長	1人	240千円	
		委員	3人	432千円	
		計	4人	672千円	
	○旅費	53千円			
	・費用弁償(選挙管理委員会等参集に係る費用弁償)	20千円			
	・普通旅費(京都府下都市選管連合会定例会等)	33千円			
	○需用費	66千円			
・消耗品費(書籍代)	41千円				
・印刷製本費(選挙管理委員会封筒印刷代)	25千円				
○使用料及び賃借料	3千円				
(京都府下都市選管連合会定例会出席に伴う有料道路通行料)					
○負担金	51千円				
・全国市区選挙管理委員会連合会負担金	30千円				
・近畿都市選挙管理委員会連合会負担金	11千円				
・京都府都市選挙管理委員会連合会負担金	10千円				
主な財源	府委	在外選挙事務委託金(10/10)			4千円
	評価・課題等	選挙管理委員会を開催し、選挙人名簿の調製及び各種選挙を遺漏なく執行した。			
事業所管課	企画総務部/総務課				

予算科目	02総務費	04選挙費	02選挙啓発費	01選挙啓発事業	
細事業名	01 選挙啓発事業			決算書	P.112
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
62千円	139千円	77千円	44.6%	139千円	

目的 各種事業を実施することにより、「明るい選挙」に対する住民の意識及び関心を高め、投票率の向上を目指す。

主要な事務・事業及び成果の概要

明るい選挙推進協議会の活動
 ※ 会長1人、副会長1人、委員30人
 7月13日 参議院議員通常選挙に係る街頭啓発：28人（午前、午後の2回）
 実施場所：マイン
 9月25日 選挙啓発研修 京都府議会傍聴（一般参加有り）：18人
 3月29日 京都府知事選挙に係る街頭啓発：30人（午前、午後の2回）
 実施場所：マイン・フレッシュバザール峰山パーク店

明るい選挙啓発ポスター・標語募集事業
 ポスター応募数状況 単位：点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学校	197	94	192	18	47	36	584
中学校	1	-	-	-	-	-	1

標語応募数状況 単位：点

	1年	2年	3年	合計
高等学校	12	28	4	44

京都府審査結果
 ポスター：特別賞3点・入選6点・佳作13点
 標語：優秀賞1点

○旅費 62千円
 ・費用弁償（入賞者表彰式参加旅費等） 57千円
 ※ 保護者3人、児童3人
 ・普通旅費（京都府議会傍聴職員随行旅費） 5千円

主な財源

評価・課題等
 ○明るい選挙啓発ポスター・標語募集事業では、市内小中学校生徒等から多数の応募があり、受賞者を広報紙に掲載するなど若年層への啓発となった。
 ○投票率が低下しており、これまで以上に街頭啓発やチラシの配布、広報紙や防災無線による投票の呼びかけに力を入れるほか、期日前投票制度のお知らせを積極的に行う必要がある。また、啓発ポスター・標語募集に加えて、生徒会選挙への支援等学校教育との連携を図り、将来の有権者である子どもたちの意識の醸成が必要である。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	02総務費	04選挙費	04参議院議員選挙費	01参議院議員選挙経費	
細事業名	01 参議院議員選挙経費			決算書	P.112
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
36,209千円	36,224千円	15千円	99.9%	41,083千円	

目的 平成25年7月28日の任期満了に伴う参議院議員通常選挙を執行する。

主要な事務・事業及び成果の概要

参議院議員通常選挙の執行に係る経費
 公示日：平成25年7月4日 投票所数：84か所
 選挙期日：平成25年7月21日 期日前投票所数：6か所
 投票率：59.00%（選挙区） 京都府投票率：52.05%（選挙区）
 開票終了時間：午前1時37分

投票者数等の内訳（選挙区） 単位：（人・%）

性 別	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	期日前	在外	合計	
	男	4,946	4,103	5,593	2,425	2,063	4,191	-	7	23,328
当 日 の 有 権 者	女	5,451	4,420	6,136	2,627	2,367	4,531	-	12	25,544
	計	10,397	8,523	11,729	5,052	4,430	8,722	-	19	48,872
投 票 者	男	2,402	1,881	2,507	1,229	1,045	2,133	2,925	2	14,124
	女	2,534	2,031	2,545	1,332	1,076	2,152	3,037	2	14,709
計	4,936	3,912	5,052	2,561	2,121	4,285	5,962	4	28,833	
投 票 率	男	48.56	45.84	44.82	50.68	50.65	50.89	-	28.57	60.55
	女	46.49	45.95	41.48	50.70	45.46	47.50	-	16.67	57.58
計	47.48	45.90	43.07	50.69	47.88	49.13	-	21.05	59.00	

○報酬（投票所投票管理者・立会人、開票管理者等） 5,835千円
 ○職員手当等（時間外勤務手当、管理職員特別勤務手当等） 18,021千円
 ○報償費（ポスター掲示場設置謝礼品139か所分） 209千円
 ○旅費（投票管理者・立会人等費用弁償、選管委員長会議等） 109千円
 ○需用費（消耗品、弁当代、啓発チラシ印刷代、投票所冷房代等） 3,466千円
 ○役務費（入場券郵送料、投票所臨時電話代、選挙公報配布手数料等） 2,712千円
 ○委託料（ポスター掲示場設置・撤去料、投票所事務補助人材派遣等） 5,160千円
 ○使用料及び賃借料（投票所借上料、自動車借上料等） 697千円

主な財源
 府委 参議院議員選挙費委託金（10/10） 36,095千円
 府委 参議院議員通常選挙啓発推進委託金（10/10） 89千円
 府委 参議院議員通常選挙開票速報事務市町村委託金（10/10） 25千円

評価・課題等
 ○公職選挙法で定められた事務を遺漏なく執行した。
 ○比例代表選出議員選挙の開票において、前回選挙（平成22年）に比べ名簿登載個人名の投票及び按分となる票が増加し、読取分類機使用後の疑問票分類に時間を要したため、人員配置について見直しが必要である。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	02総務費	04選挙費	05京都府知事選挙費	01京都府知事選挙経費
細事業名	01 京都府知事選挙経費			決算書 P.114
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
14,100千円	15,393千円	1,293千円	91.6%	15,000千円
目的	平成26年4月15日の任期満了に伴う京都府知事選挙の執行準備及び期日前投票所の開設を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府知事選挙の執行に係る経費（平成25年度分）</p> <p>告示日 : 平成26年3月20日</p> <p>選挙期日 : 平成26年4月6日</p> <p>期日前投票所数 : 6か所（平成26年3月21日～4月5日）</p> <p>投票所数 : 84か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬（期日前投票管理者・立会人） 1,987千円 ○職員手当等（時間外勤務手当、管理職員特別勤務手当等） 4,133千円 ○共済費（臨時職員に係る社会保険料） 23千円 ○賃金（臨時職員賃金） 149千円 ○報償費（ポスター掲示場設置謝礼品140か所分） 210千円 ○旅費（選挙管理委員会委員長会議、管理者・立会人費用弁償等） 47千円 ○需用費 1,338千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（期日前投票所開設等に係る消耗品） 424千円 ・食糧費（弁当代、湯茶代） 406千円 ・印刷製本費（投票所入場券、氏名掲示台紙等共同印刷代） 413千円 ・修繕料（開票会場水銀ランプ取替代） 95千円 ○役務費（入場券等郵送料、選挙公報配布手数料等） 1,963千円 ○委託料 2,123千円 <ul style="list-style-type: none"> ・選挙ポスター掲示板設置作業委託料（403か所） 1,173千円 ・投票所事務補助業務人材派遣委託料（期日前投票所補助） 950千円 ○使用料及び賃借料（委員長会議出席に伴う有料道路通行料） 3千円 ○備品購入費 2,124千円 <p>開票集計システム（システムソフト・パソコン3台・プリンター等）</p>			
主な財源	府委 京都府知事選挙費委託金（10/10）			14,100千円
評価・課題等	平成26年4月6日執行京都府知事選挙に向けて、投票所入場券の送付、ポスター掲示場の設置等の必要な準備及び期日前投票所の開設を行った。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	04選挙費	08農業委員会委員選挙費	01農業委員会委員選挙経費
細事業名	01 農業委員会委員選挙経費			決算書 P.116
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
705千円	710千円	5千円	99.2%	11,700千円
目的	平成25年6月30日の任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙を執行する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業委員会委員一般選挙の執行に係る経費</p> <p>告示日 : 平成25年6月9日</p> <p>選挙期日 : 平成25年6月16日</p> <p>選挙区 : 3選挙区</p> <p>候補者数 : 30人（定数30人）</p> <p>期日前投票所数 : 6か所</p> <p>投票所数 : 59か所</p> <p>※選挙すべき委員の数（30人）に対し、届出のあった候補者の数が定数を超えなかったため無投票</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬（選挙長、選挙立会人） 81千円 ○職員手当等（時間外勤務手当、管理職員特別勤務手当） 520千円 ○旅費（選挙長、選挙立会人等費用弁償） 7千円 ○需用費 40千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（当選証書ケース） 25千円 ・食糧費（選挙長弁当代） 3千円 ・印刷製本費（当選証書印刷代） 12千円 ○役務費（投票所借用依頼等郵便代、当選証書筆耕料） 57千円 			
主な財源				
評価・課題等	無投票となったが、計画どおり選挙執行に向けた準備等の事務を進めた。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	04選挙費	10土地改良区総代選挙費	01丹後土地改良区総代選挙経費
細事業名	01 丹後土地改良区総代選挙経費			決算書 P.116
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
21千円	22千円	1千円	95.4%	1,200千円

目的	平成25年8月16日の任期満了に伴う丹後土地改良区総代選挙を執行する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後土地改良区総代選挙の執行に係る経費			
	告示日 : 平成25年8月1日 選挙期日 : 平成25年8月8日 選挙区 : 6選挙区 候補者数 : 44人(定数44人) ※選挙すべき委員の数(44人)に対し、届出のあった候補者の数が定数を超えなかったため無投票 ○需用費(当選証書印刷代) 15千円 ○役務費(当選証書筆耕料) 6千円			
主な財源	諸収入 丹後土地改良区総代選挙費委託金(10/10)			21千円
評価・課題等	無投票となったが、計画どおり選挙執行に向けた準備等の事務を進めた。			
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	01統計調査総務費	50統計調査総務一般経費
細事業名	01 統計調査総務一般経費			決算書 P.118
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
72千円	74千円	2千円	97.2%	76千円

目的	京都府統計調査員確保対策事業実施要領に基づき、統計調査員の募集及び研修を実施し、統計調査員の確保及び資質の向上を図る。また、統計書を作成し統計情報を広く公開する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員希望者の募集 統計調査員の選任が困難となっている現状を改善するため、広報おしらせ版で統計調査員の募集を行った。 新規登録統計調査員数：6人 平成25年度統計調査員確保対策事業の統計調査員登録基準数：122人 旧町別登録統計調査員数(平成26年3月31日現在) 単位：人 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>28</td> <td>39</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>128</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 府主催研修会への参加 調査に関する理解を深め、調査対象者に対する接遇方法等を学ぶため、6人の登録統計調査員が研修会に参加した。 京丹後市統計書の作成 人口、産業及び経済等の各分野にわたる統計資料を収録した統計書を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 19千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償(統計調査員確保対策事業に係る調査員研修会旅費) 9千円 ・旅費(京都府都市統計協議会総会) 10千円 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(統計調査員確保対策事業に係るコピー用紙等消耗品) 23千円 ○役務費 <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費(統計調査員日より等調査員確保対策に係る郵便代) 27千円 ○負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府都市統計協議会負担金 3千円 						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	19	28	39	16	12	14	128
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計													
19	28	39	16	12	14	128														
主な財源	府委	統計調査員確保対策事業委託金(10/10)				59千円														
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度も統計調査員確保対策事業の統計調査員登録基準数を達成した。 ○各種業界で活用していただくため、京丹後市統計書を作成し、関係機関への配布及びホームページへの掲載等を行うことにより統計情報を広く公開した。 																			
事業所管課	企画総務部/総務課																			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	04港湾調査
細事業名	01 港湾調査			決算書 P.118
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
62千円	62千円	0千円	100.0%	62千円
目的	統計法に基づき港湾の実態を調査し、港湾の開発、利用及び管理をする上での基礎資料とする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査期日：平成25年12月31日</p> <p>調査対象：港湾法に基づく重要港湾及び地方港湾の中から、港湾調査規則において甲種港湾又は乙種港湾に規定する港湾</p> <p>対象港湾：久美浜港（乙種港湾）</p> <p>調査項目：入港船舶、船舶乗降人数、海上出入貨物</p> <p>調査結果の利用：港湾施設の設備拡充や利用促進を図るための基礎資料等として利用</p> <p>※集計等の事務は、京都府から委託を受けて実施</p> <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（集計業務に係るコピー用紙等消耗品） 62千円 			
主な財源	府委	港湾調査委託金（10/10）	62千円	
評価・課題等	委託業務を処理するに当たり、計画的に港湾調査規則どおり実施した。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	05工業統計調査								
細事業名	01 工業統計調査			決算書 P.118								
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額								
1,307千円	1,310千円	3千円	99.7%	1,420千円								
目的	統計法に基づき、製造業を営む事業所を対象に、市内の基幹産業である織物業や機械金属業等「ものづくり」業界の実態を調査し、各種施策の基礎資料とする。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査期日：平成25年12月31日</p> <p>調査対象：製造業を営む従業員4人以上の事業所を対象に本調査を実施</p> <p>※3人以下の事業所については、事業所名及び従業者数等の確認を行う。</p> <p>本調査対象事業所数の推移</p> <p style="text-align: center;">(単位：事業所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> </tr> <tr> <td>203</td> <td>-</td> <td>196</td> <td>172</td> </tr> </table> <p>※平成23年は、翌年の経済センサス - 活動調査で実施</p> <p>調査項目：1年間の生産活動に伴う製造品出荷額、原材料使用額等</p> <p>調査結果の利用：産業構造政策、地域産業活性化政策及び中小企業対策等各種施策の立案・実施のための基礎資料等に利用</p> <p>○報酬 1,120千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計調査員報酬（24人） 944千円 ・統計指導員報酬（5人） 176千円 <p>○需用費 123千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（調査員配付用付箋等消耗品） <p>○役務費 25千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（調査員意向調査はがき等郵便代） <p>○使用料及び賃借料 39千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作物使用料（調査員配付用参考地図複製使用料） 				平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	203	-	196	172
平成22年	平成23年	平成24年	平成25年									
203	-	196	172									
主な財源	府委	工業統計調査委託金（10/10）	1,307千円									
評価・課題等	法定受託事務を処理するに当たり、計画的に定められた市町村の事務処理基準を実施した。											
事業所管課	企画総務部／総務課											

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	06学校基本調査
細事業名	01 学校基本調査			決算書 P.118
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
45千円	45千円	0千円	100.0%	45千円
目的	統計法に基づき、幼稚園・小学校・中学校等を対象に、卒業後の進路状況や不登校児童・生徒の現況を調査し、学校教育行政上の基礎資料とする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査期日：平成25年5月1日</p> <p>調査対象：学校教育法で規定されている学校、市町村教育委員会 ※京丹後市では小学校29校、中学校9校、幼稚園4校及び教育委員会</p> <p>調査項目：学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等</p> <p>調査結果の利用：学校教育行政上の基礎資料として利用されるほか、地方交付税の算定資料や各種補助金の基礎数値等として利用</p> <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（コピー代等消耗品） 37千円 <p>○役務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（オンライン回答に伴う疑義等電話代） 8千円 			
主な財源	府委 学校基本調査委託金（10/10）			45千円
評価・課題等	法定受託事務を処理するに当たり、計画的に定められた市町村の事務処理基準を教育委員会と連携し実施した。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	07住宅・土地統計調査
細事業名	01 住宅・土地統計調査			決算書 P.118
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,552千円	4,554千円	2千円	99.9%	4,214千円
目的	統計法に基づき、住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにその居住世帯を対象に5年毎に実施し、居住状況及び世帯の保有する土地等の実態を調査し基礎資料とする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査期日：平成25年10月1日</p> <p>調査対象：調査単位区から抽出した約350万の住宅（世帯） ※京丹後市では6,463住宅（世帯）</p> <p>調査項目：住居の面積、世帯構成、住環境等</p> <p>調査結果の利用：都市計画・宅地開発計画等の企画・立案や国民の生活水準等の測定、都市・住宅・土地・防災問題など、国民の住生活関係のさまざまな問題に対する施策のための基礎資料等に利用</p> <p>○報酬 3,839千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計調査員報酬（64人） 3,428千円 ・統計指導員報酬（10人） 411千円 <p>○職員手当等 578千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 <p>○旅費 22千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（市町村事務打合せ会、事後報告会等） <p>○需用費 69千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（コピー用紙等消耗品） <p>○役務費 13千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（調査員意向調査はがき等郵便代） <p>○使用料及び賃借料 31千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作物使用料（調査員配付用住宅地図複製使用料） 			
主な財源	府委 住宅・土地統計調査委託金（10/10）			4,552千円
評価・課題等	法定受託事務を処理するに当たり、市町村の事務処理基準に基づき実施した。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	08商業統計調査
細事業名	01 商業統計調査			決算書 P.118
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4千円	5千円	1千円	80.0%	23千円

目的	統計法に基づき平成26年度に実施される商業統計調査の準備を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査目的：商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料とする</p> <p>調査期日：平成26年7月1日</p> <p>調査対象：日本標準産業分類に掲げる卸売業、小売業に属する事業所</p> <p>調査項目：事業所の名称や所在地、経営組織、従業者数、年間商品販売額等</p> <p>※全ての産業分野における事業所を対象に実施される経済センサス - 基礎調査と併せて実施</p>			
	○需用費	・消耗品費（コピー用紙）		
主な財源	府委	商業統計調査委託金（10/10）		4千円
評価・課題等	平成26年度実施に向けて、調査区の確認等の必要な準備を行った。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	09農林業センサス
細事業名	01 農林業センサス			決算書 P.118
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
11千円	12千円	1千円	91.6%	31千円

目的	統計法に基づき平成26年度に実施される農林業センサスの準備を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査目的：農林業の生産構造、就業構造を明らかにし、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料とする</p> <p>調査期日：平成27年2月1日</p> <p>調査対象：農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が一定規模以上の農林業生産活動を行う者</p> <p>調査項目：経営状態や経営面積、機械や施設の規模、生産物等</p>			
	○旅費	・普通旅費（農林業センサス調査準備市町村説明会）		
○需用費	・消耗品費（コピー用紙、コピー代）			6千円
主な財源	府委	農林業センサス委託金（10/10）		11千円
評価・課題等	平成26年度実施に向けて、調査区の確認等の必要な準備を行った。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	10漁業セリ	
細事業名	01 漁業セリ			決算書	P.120
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,485千円	1,487千円	2千円	99.8%	1,445千円	
目的	統計法に基づき、水産業を営む世帯や法人を対象に5年毎に実施し、漁業の生産・就業構造を調査し水産行政施策の基礎資料とする。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査期日：平成25年11月1日</p> <p>調査対象：漁業経営体や漁業協同組合、魚市場、水産加工業者等</p> <p>※京丹後市では432客体</p> <p>調査項目：就業状況や漁業種類、使用漁船、地域の活性化のための取組等</p> <p>調査結果の利用：水産基本計画に基づく水産行政施策の企画・立案・推進や水産関係に係る地方交付税算定等に利用</p> <p>○報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計調査員報酬（12人） 845千円 <p>○職員手当等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 533千円 <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（調査員配付用付箋等消耗品） 105千円 <p>○役務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（調査員報酬支払通知等郵便代） 2千円 				
主な財源	府委 漁業センサス委託金（10/10）			1,485千円	
評価・課題等	法定受託事務を処理するに当たり、市町村の事務処理基準に基づき実施した。				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	17経済セリ	
細事業名	01 経済セリ			決算書	P.120
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4千円	5千円	1千円	80.0%	15千円	
目的	統計法に基づき平成26年度に実施される経済センサス（基礎調査）の準備を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【調査概要】</p> <p>調査目的：事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を明らかにし、各種統計調査実施のための母集団情報を整備する。</p> <p>調査期日：平成26年7月1日</p> <p>調査対象：全ての産業分野における事業所及び企業</p> <p>調査項目：事業所の名称や所在地、従業者数、年間総売上（収入）金額等</p> <p>※日本標準産業分類に掲げる卸売業、小売業に属する事業所を対象に実施される商業統計調査と併せて実施</p> <p>○旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（市町村事務打合せ会） 2千円 <p>○役務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（調査員意向調査郵便代） 2千円 				
主な財源	府委 経済センサス委託金（10/10）			4千円	
評価・課題等	平成26年度実施に向けて、調査員確保等の準備を行った。				
事業所管課	企画総務部／総務課				

予算科目	02総務費	05統計調査費	02指定統計費	17経済センサ
細事業名	02 経済センサ調査区設定			決算書 P.120
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
15千円	15千円	0千円	100.0%	20千円
目的	統計法に基づき、全産業分野の事業所及び企業を対象にした経済センサの統計調査を円滑に行えるように、経済センサの調査区を管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【事務概要】 全ての産業分野における事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を明らかにし、各種統計調査実施のための母集団情報を整備する目的で、平成26年7月1日を調査期日とし、経済センサ（基礎調査）が実施される。調査実施に向けて、京都府から提供を受けた新規事業所名簿を基に、新規事業所の調査区特定及び調査区修正等の事務を実施した。</p> <p>○需用費 ・消耗品費（調査区地図コピー代等消耗品） 15千円</p>			
主な財源	府委 経済センサ調査区設定委託金（10/10）			15千円
評価・課題等	平成26年度実施に向けて、調査区の特定期等の必要な準備を行った。			
事業所管課	企画総務部／総務課			

予算科目	02総務費	06監査委員費	01監査委員費	02監査事務
細事業名	01 監査事務			決算書 P.120
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,001千円	2,139千円	138千円	93.5%	2,139千円
目的	財務、経営に関する事務・事業が法令等に基づいて適正に行われているか、公正で合理的、能率的な行財政運営が図られているか、市民の目線に立脚した各種監査を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>監査計画に基づき、年間を通じて各種監査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○監査委員報酬 1,800千円 ○識見者選出委員 120千円×12月＝ 1,440千円 ○議会選出委員 30千円×12月＝ 360千円 ○費用弁償及び研修等旅費 119千円 ○事務用品費等 35千円 ○都市監査委員会会費 46千円 ○全国26千円、近畿10千円、京都府10千円 ○北陸・東海・近畿三地区監査委員会研修会負担金（1人） 1千円 <p>実施した監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○例月出納検査 毎月下旬に前月分を検査 ○決算審査 平成25年6月27日～平成25年8月20日 ○財政健全化判断比率等審査 平成25年7月18日～平成25年8月20日 ○定期監査 平成25年11月25日～平成26年3月4日 ○財政援助団体等監査 <ul style="list-style-type: none"> ○財政援助団体監査 平成25年6月17日～平成25年7月16日 <ul style="list-style-type: none"> (公財)京都府丹後文化事業団 (公財)丹後地域地場産業振興センター ○公の施設の指定管理者監査 平成25年10月3日～平成25年12月9日 <ul style="list-style-type: none"> (株)せせらぎ（京丹後市網野山村体験交流センター『せせらぎ』） (株)風蘭（京丹後市風蘭の館） ○住民監査請求による監査（1件） 平成25年8月1日～平成25年9月10日 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理、その他事務事業の執行について適切な監査が実施でき、事務改善が図れた。</p> <p>○法令規則等を遵守し財務運用マニュアルや契約事務運用マニュアル等による適正な事務処理を求める必要がある。</p>			
事業所管課	監査委員事務局			